

## 大学一覧

《アイルランド》

リメリック大学

《アメリカ》

アーカンソー工科大学

アイオワ大学

ウェスタンカロライナ大学

ウェスタンワシントン大学

オザークス大学

オハイオ州立大学ヤングスタウン校

カリフォルニア大学サンディエゴ校

カリフォルニア大学リバーサイド校

カリフォルニア州立大学サンマルコス校

カリフォルニア州立大学スタニスロース校

カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校

カリフォルニア州立大学フンボルト校

カリフォルニア州立大学モントレイベイ校

カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校

カンザス州立大学

サザンオレゴン大学

ジョージアサザン大学

テキサス大学サンアントニオ校

デッキンソン州立大学

テネシー大学チャタヌーガ校

ニューメキシコ州立大学

ノースアラバマ大学

ノースイースタンイリノイ大学

ノースカロライナ大学グリーンズボロ校

ノースカロライナ大学シャーロット校

パイクビル大学

パシフィック大学

ハワイパシフィック大学

ペンシルバニア州立インディアナ大学

リンゼイウィルソン大学

南カリフォルニア大学

《イギリス》

ウィンチェスター大学

オックスフォードブルックス大学

キール大学

セントラルランカシャー大学

《イタリア》

トリノ大学

《オーストラリア》

グリフィス大学

サザンクロス大学

サンシャインコースト大学

セントラルクイーンズランド大学

タスマニア大学

ニューカッスル大学

《カナダ》

アルゴマ大学

オカナガンカレッジ

カルガリー大学

キャピラノ大学

クイーンズ大学

サイモンフレイザー大学

セネカカレッジ

セルカークカレッジ

センテニアルカレッジ

トロント大学

ノースアイランドカレッジ

ブリティッシュコロンビア大学

ヨーク大学

レイクヘッド大学

レスブリッジ大学

《スペイン》

ウエルバ大学

レイファンカルロス大学

《ニュージーランド》

オークランドインスティテュートオブスタディーズ

《フランス》

カーン大学

グルノーブルアルプ大学

ジャンムランリヨン第3大学

ストラスブール大学

トゥールーズカトリック大学

トゥールーズジャンジョレス大学

パリ第4大学

ブルゴーニュ大学附属語学学校

ミッシェルドゥモンテンニュボルドー第3大学  
リヨンカトリック大学

《ベルギー》

ブリュッセル自由大学  
リエージュ大学

《中国》

北京外国語大学  
復旦大学  
大連外国語大学  
天津外国語大学  
西安外国語大学

《台湾》

銘伝大学

《韓国》

釜山外国語大学校

留学種別	TESS II
留学先大学	リメリック大学
留学先国・地域名	アイルランド
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### ・ Speaking Reading Writing Listening

- ・ 全部で8人、日本人5人中国人2人オマーン人1人
- ・ 9:00~10:45 と 11:15~12:50 の授業が月曜日から金曜日まで
- ・ CUTTING EDGE THIRD EDITION
- ・ ゼミ形式

ディスカッションやアクティビティが多め、プレゼンテーションをすることもある

・ 留学生であっても図書室を利用することができるので、自習はそこで行う。図書室では学部生も勉強しているので、刺激され学習環境は良い。学校のパソコンは基本的に使うことができない。印刷も基本的にはできない。

### II. 生活状況

・ ベッドとダンスとスタンドライトが1つずつある部屋。机と椅子がないので、勉強するときは困るが、スーツケースを広げることができる且つ小さなヒーターで部屋が暖くなるので満足している。

・ ホストマザーは働いているが、夜ご飯も用意してくれている。洗濯の頻度というか洗い終わった後にアイロンをしてくれるのでそれに時間がかかり、服が足りなくなって購入した。わたし以外の留学生を受け入れたりすることもあるので、いろいろな人と話せるという面でホームステイはいい機会だと思う。

#### ・ 徒歩とバス

バスが時間通りに来なかったりするので、歩いて通っている。

最初は定期券の存在を知らされておらず、高い運賃を払っていたが、定期券を購入してからは、リメリック市内を自由に動けるようになった。

・ 私の家の場合は、料理が茹でただけだったりすることがあるので、マヨネーズは必須。

ただアイリッシュフードを食べれたり、ハロウィーンを経験できたりする。

買い物はシティセンターに行けば大抵なんでも売っている。学校から家に帰るのに必ずシティセンターを通らなければならないので買い物はいつでもすることができた。

・ 休日は友達と必ず外出している。基本ヒーターが付いていないと家は寒いので、シティセンターに行った方が体を冷やさなくて済む。友達のホストマザーがいろいろアイルランドのおすすめスポットを教えてくれるので、そこを回ったりしている。

留学種別	TESS II
留学先大学	リメリック大学
留学先国・地域名	アイルランド
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### ・授業形式

以下の3パターンの形式があり、各モジュールごとに週に数回、形式が違う授業がある。

**lecture** 大人数教室で聴く授業

**tutorial** 20人程度でグループワーク中心

**lab** 10人弱。スペイン語の授業では、リスニングを中心に行なった。

#### ・一週間の授業時間割

月曜日

Communication(lecture) 1時間

English (Tutorial) 2時間

火曜日

English (Tutorial) 2時間

Spanish(lecture) 1時間

Marketing Intelligence(Tutorial) 隔週 1時間

水曜日

Communication(Tutorial) 1時間

Spanish(Tutorial) 2時間

Irish music(Tutorial) 1時間

木曜日

Spanish(lab) 1時間

Irish music(lecture) 1時間

Communication(lecture) 1時間

Spanish(Tutorial) 2時間

Marketing Intelligence(lecture) 2時間

金曜日

Irish music(lecture) 1時間

#### ・授業概要

**English as a foreign language**

各授業 20人程度

教育実習生の授業、一般の先生の授業の週2回、各2時間

使用教科書 **New inside out**

フランス人、ドイツ人、日本人が多いクラスだった。

主に英文法について勉強した。課題として、レポート、プレゼン、テストがあった。

**Spanish**

**lecture**

数百人程度、週1時間

ラテンアメリカとスペインのスペイン語の違いなどについて学んだ。

**Tutorial**

週2回、各2時間

20人程度、文法中心の授業

留学生が多く、多様な国籍のクラス

使用教科書 **Hola! International 1**

**lab**

週 1 時間、10 数名

留学生が比較的多いクラス

主にリスニングを行なった

使用教科書 **Hola! International 1**

**Communication**

**lecture**

週 2 回、各 1 時間、数百人程度

現地学生の割合が高かった

グローバルに働く上での、マネジメント、マーケティングについて学んだ

**Tutorial**

週 1 時間、20 名程度

**lecture** で習った内容を生かし、プレゼンなどを行なった

**Marketing Intelligence**

**lecture**

週 2 時間、50 名程度

現地学生の割合が多かった

分析の方法などを学んだ。

**Tutorial**

各種 1 時間、20 名程度

**lecture** で習った方法を使い、分析を行なった

**Irish music**

**lecture**

週 2 回、各 1 時間

殆ど留学生で、アメリカ人が過半数を占めていた

アイルランドの歌、楽器、ダンスについて学んだ

**Tutorial**

週 1 時間

**Irish Dance** を習った。

・大学の学習環境、自習室、教室の設備

図書館に自習スペースや、グループワークができる部屋などが多数ある。また、休日も空いており、平日は 23 時頃まで空いている。

また、予約がなかなか取れず、実際に使ったことはないが、**writing** の添削をしてくれる部屋などもあり、留学生に優しい環境だと思う。

## II. 生活状況

・宿舎の設備、環境

フラットには 6 つ部屋があり、キッチンのみ共用。私は現地学生と共同の部屋に住んでいるが、あまりフラットメイトとは関わりがない。ほかの日本人は留学生のみの部屋に住んでおり、そちらの方が上手くやれているようなので、留学前の寮のアンケートでは、留学生のみの部屋を選択した方が良いように感じた。

・食事や買い物

大学の食堂が昼間しか空いてないので基本的に自炊している。大学の食堂で使えるミールプランを事前には買っていたが、必要無かったと感じた。買い物はバスに乗るか徒歩 30 分ほど歩いた場所へ行っている。

・休日の過ごし方

買い物、食事の作り置き、課題、授業の復習などを行なっている。

留学種別	TESS II
留学先大学	リメリック大学
留学先国・地域名	アイルランド
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

・主にスピーキングがメイン。先生によってはリーディングやライティングなどの文法の授業も普通にある。

宿題も、先生によるが、すごくハードなものではない。

・現在クラスは9人だが、新たに来る人や帰国する人などもいるので変動あり。

日本人は5人、オマーン人2人、中国人1人、ベトナム人1人

・約100分の授業が昼間であり、午後はプラスでスピーキングクラスをとることもできるが、基本的に自由

・cutting EDGE third edition

・授業形式は主に講義型だが、グループでディスカッションをする時間もある

・基本的に綺麗で整っている。留学生が使うランゲージセンターはメインの建物より新しいらしく綺麗。

また、図書館はとても広く、勉強できる環境が整っていて行くと勉強のモチベーションが上がる。

最近では留学生が多いからか、ランゲージセンターの教室がいっぱい、机付きの椅子しかない教室で勉強する日が多く、少しやりにくい。だが特に大きな支障はない。

### II. 生活状況

・わたしの滞在している家は、お婆ちゃん一人暮らしだが、部屋は多い。

しかしわたしの部屋はこじんまりしていて、ベッド、クローゼット、ダンス、机があり若干狭め。

お風呂はユニットバスなので、気温が低い日（10月以降特に）はお風呂中も部屋も寒い。

部屋もラジエーターがあるが、外が寒い日はラジエーターをつけていても部屋が冷えることが多い。

・わたしのホストマザーは料理上手で、食事に関しては問題ない。ランチも作って持たせてくれている。

気になることは、洗濯が週に一度であるということと、気温が低いとどうしても部屋が寒くなってしまうこと。

休日も、初めの頃は予定に干渉されたりもしたが、今は自由に行動できるし町や観光地など教えてくれたりする。

・通学はバス。家からシティーセンター、シティーセンターから大学、と二本のバスを使っている。

留学生専用の定期券を見つけたのでそれを購入した。毎回払っていると高額になってしまうのでバスで通うなら買うべき。

ただ、日本と違ってバスは時間通りに来ないことも多い。

・食事は基本ホストマザーの料理。土日はたまに外食をしたりもする。

買い物は初めの頃に生活して行く上で必要だと思ったものを買揃えたのと、寒くなって服を少し購入した。

・バスの定期券を持っているので基本はシティーセンターに行くことがほとんど。観光地に出かけることもある。

また、有料ではあるが、大学内のジムも利用している。

留学種別	TESS II
留学先大学	アーカンソー工科大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

CSP, English Composition, Personal Finance, Quantitative Business Analysis, Reading average 10 to 15 people in each class (almost American and few Japanese)

schedule

Mon, Wed, Fri (50 minutes class)

10:00~reading

11:00~CSP

13:00~composition

Tues, Thus (90 minutes class)

9:30~business analysis

11:00~finance

textbook

\* buying text book is very expensive and the financial support of nufs is not enough, so we didn't buy but rented. rental price is same as financial support money.

CSP college and beyond

composition nexus

reading structure of reading, the power of words

business

finance automobile millionaire

all class is lecture style

we can go tutoring center and get advice or help to study

and I usually use writing lab to fix my essay.

library open until 1:00 am

so everyday I go to library to do my homework until 12:00 pm, some international students help me a lot.

class room facility

projector, TV, air conditioner, monitor, chair, desk, whiteboard, computer

### II. 生活状況

Tuner dorm( in room )

bed, closet, desk air conditioner

not enough storage

( out side room)

2nd floor and 3rd floor have washing machines and dryers

but 2 and 3 floor is man's floor and 1 st floor is woman's floor, but there are no such machine.

lobby, billiards, table tennis court, TV, sofa, vending machine,

(out side dorm)

volleyball court, dump site

how to go to school

by walking(5 minute)

can eat in cafe and food-court using card which already pay or charge money

cafe time is limited but food-court open until 12:00 pm in weekday

shopping

we use shuttle bus to go Walmart or shopping mall, the departure time of bus is decided.

or my friend who has car can take me there

weekend

travel in America, watching movie, outdoor activity( hiking, canoeing, Frisbee, cycling, sleeping, doing homework, talking with my friend, organization activities(JSA), shopping

but we need to car to everywhere

留学種別	TESS II
留学先大学	アーカンソー工科大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

Introduction Mass Communication, Basic Digital Photography, Foundation Composition (writing), General Psychology, Orientation to University, Print Practicum

Monday: 9-9:50 Psychology, 13-13:50 Composition, 15-15:50 Print

Tuesday: 9:30-10:50 Mass Communication

Wednesday: 9-9:50 Psychology, 13-13:50 Composition

Thursday: 9:30-10:50 Mass Communication, 11-11:50 Orientation to University, 18-21 Photography

Friday: 9-9:50 Psychology, 13-13:50 Composition

Texts: The Light(Mass Communication)

The Science of Psychology (Psychology)

Nexus(Composition)

授業形式:

- Mass Communication, General Psychology 講義形式 (1 クラス 30~50 人)
  - Basic Digital Photography, Foundation Composition (writing), Orientation to University, Print Practicum 少人数で先生と会話したり少しプレゼンしたりと、ゼミ形式のような授業です
- 大学の学習環境等:

図書館は朝8時から土曜以外は夜1時まで空いているので、ほぼ毎日利用しています。適度に静かで、グループワークの際などに使用できる個室もあるのでとても良い環境だと思います。また、それぞれの建物に勉強できるような椅子と机があったりするので、図書館以外の建物でも勉強しやすいです。教室のに関して言えば、夏には冷房が寒すぎると感じました。クラスの温度は先生によるとと思いますが、ほとんどのクラスが寒くて上着は常備していました。また、それぞれの椅子に机が付いているスタイルのクラスがあるのですが、その机がとても小さいので、板書が取りづらいと感じました。

### II. 生活状況

宿舎の設備はいいと思います。部屋には、机・ベッド・クローゼットがもともと設置してありました。机も引き出しが付いていたり便利です。ただ、机のデザインは寮ごとに違うみたいなのでなんとも言えません。友人の寮には引き出しが付いてないと言っていました。ただ、冷暖房設備の音が大きいのが気になります。止めてからもう一度つけると焦げ臭い匂いがするので、止めないです。また窓が糊で開けられないようにされていて、換気ができないのが悩みです。私の住んでいる Tucker という寮はセミバスルームになっていて、トイレとシャワールームが一体となった個室を鍵をかけて使用できるので、いいと思っています。シャワーとトイレが空いてなくて困ったこともありません。また、毎日清掃員の人が掃除してくれるので清潔です。1フロアに洗濯機と乾燥機が2つずつ付いています。たまに空いていない時もありますが、ほとんど使いたい時に使えるのでそんなに困りません。

通学方法は、歩きです。一番遠い建物でも、15分前に出れば間に合います。

食事はほとんど大学のカフェテリアで食べています。朝7時~夜7時まで開いていて、IDカードで入れます。土日でも開いています。Meal plan で私は unlimited のコースにしたので、1セメスター中に何回でも利用可能です。また、BazTeck というところでも食事が取れます。ここには、サンドイッチ・タコス・ハンバーガー・チキンナゲット・スタバのお店が入っていて、日に2回までなら meal trade で使えます。それを越しても、DCB で支払いできます。スタバは

**DCB** でしか支払えません。カフェテリアが **7 時** に閉まりますが、ここは深夜 **1 2 時** まで営業しているので、カフェテリアで食べれなくてもここで食べれるの安心です。

買い物は、大学の無料シャトルに乗ってウォルマートに行くことがほとんどです。週に **3 回** ほど出ます。頼めば **TJMAX** にも連れて行ってくれます。それか、車を持っている現地の学生に連れて行ってもらったりします。また、インターネットで購入したものは、自分専用の郵便 **BOX** に届くので、時々利用します。

休日は、遊びに行ったり、スポーツ観戦をしたり、勉強したりしています。現地の学生の友人は車を持っているので、ハイキングやレストランなどに連れて行ってくれます。田舎で車がないと遠くに遊びに行くのは難しいです。大学にはいくつかのスポーツチームがあり、大学内のコートで試合をする際は見に行きます。バレーボールとフットボールの試合が今学期は行われているので、よく見に行っています。ただ、宿題やテストも多いので、土日のどちらかは図書館に行きます。

留学種別	TESS II
留学先大学	アイオワ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

今期履修している授業としては、**ESL** という英語学習のための授業が 4 つ(文法、リスニング、リーディング、オーラルスキル)、学部授業では、ソーシャルメディアの授業と現地のイベントに参加するアクティビティの授業を履修しています。**ESL** の授業では一般的な英語授業のスタイルを取っていますが、最終的には学部授業についていける英語力をゴールとしているので、それに伴ったレベルの授業が行われています。**ESL** の授業は 1 クラス 15 人程度の少人数で行われ、学生は中国人がほとんどを占めています。ソーシャルメディアのクラスでは、**SNS** をテーマとした講義とディスカッションの時間が設けられており、講義は大きな教室で一斉授業、ディスカッションは 20 人程度に分散され、アシスタントが授業を取り持っています。生徒のほとんどは現地のネイティブアメリカンなので、**ESL** の授業と比較すれば大変な面も多いですが、非常に勉強になる内容です。授業時間割としては、週 3 日は午後 2 時頃から夕方 4 時頃まで、週 2 日は朝 8 時頃から夕方 5 時頃までというスケジュールです。授業時間はそれほど長くはないですが、時間のかかる課題がほぼ毎回出されるので、毎日授業外でも勉強時間を確保する必要があります。教室などの設備は充実しており、キャンパス内で勉強に集中できるスペースが多くあるため、非常に良い学習環境だと感じています。

### II. 生活状況

滞在している寮では中国人のルームメイトと 2 人で部屋をシェアしています。部屋にはベッドと作業用の机と椅子、洗面台、衣服などを掛けることができる収納スペースがあります。トイレとシャワーは同じ階の学生とシェアする形になっています。エントランスのフロアには食堂もあり、基本的にはそこで食事を摂ることが多いです。小さな街の中に大学の建物が隣接しているので移動は徒歩です。寮からも 10 分程度で教室まで行くことができ、それぞれの授業の間にも、別の建物にある教室まで歩いていきます。買い物はほとんどしていませんが、キャンパス内に様々な店舗が立ち並んでいるので、洋服や雑貨なども簡単に買い揃えることができます。ただし、日本に比べて物価が高いので現地で多くの買い物をするのは控えています。留学先の街には特に出かけるような場所がないので、休日は基本的に寮の部屋にすることが多いです。授業の課題を進めたり、自分の好きなことをしたりするのに時間を使っています。

留学種別	TESS II
留学先大学	アイオワ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

前期の授業では、英語のコースである **ESL** を3つと学部授業を2つの計5つを受講しました。全ての英語のクラスは、少人数制をとっており、クラスメイトは13人から16人ぐらいで、そのほとんどが中国人でした。**Transitional Listening** では、私以外全て中国人で、月曜日と水曜日は8時30分から9時20分までで、火曜日と木曜日は8時から9時15分までの週4回の授業でした。主に授業では教科書を使って学び、宿題では **Serialpodcast** という実際にあった殺人事件の調査や詳細についての話を聞き、(約45分)先生から渡されたプリントの質問に答えるというものでした。またそのプリントにある単語や教科書の単語を覚え、毎週月曜日に小テストを受けました。**Academic Reading Skills** では、教科書や本などを読み、指定されたノートに感想や先生から与えられた質問の答えを書きました。**Academic Oral Skills** のクラスでは、録音ができる部屋を使って、自分の発音が正しいのかどうか確かめ、またクラスメイトで議論や討論をしました。学部授業の **International Business Environment** は、26人からなる授業で、アメリカ人の学生がほとんどでしたが、多くの学生が他の国で暮らしていた経験があったり、ハーフで英語以外の言語が話せるなど国際豊かでした。週二回75分の授業で、前半は講義で、後半はセネガルの生徒と一緒にセネガルのハイビスカス茶をアメリカにどのように輸入すべきかチームのみんなで考え、結果を **Word** でまとめてクラス内で発表し、提出しました。**Introduction to Marketing Strategy** では、およそ300人が受ける週二回の講義と30人からなる週一回のディスカッションでした。大学では、自習できる場所がたくさんあり、私はアクセルのしやすさと少しノイズがあって勉強しやすかったのでビジネス棟の3階でよく勉強しました。

### II. 生活状況

アイオワ大学には、宿舎がたくさんあり、私はメイフラワーという宿舎です。大学からは一番遠い宿舎ですが、大学の無料のバスが通っているので、通学には困りません。しかし、たまにフットボールなどの関係で休日寮までのバスがなく、30分ぐらい歩いて大学に行かなければならないので少し面倒でした。また、この寮にはキッチンがあるので自炊するのには便利ですが、寮にダイニングがないのでバスで約10分かけて食べに行かなければいけなく少し不便です。宿舎には、キッチンを含め専用のバスルームと1階にジムとコンビニとコンピュータ室などがあります。休日は、友達と一緒に出かけたり、部屋で勉強したりして過ごしています。たまに、1時間半かけて友達の家と一緒にのんびりサンクスギビングデイなどの祝日を過ごしました。また、アイオワはシカゴまでバス(\$1から\$40)で約4時間ぐらいで行けるので、観光しに行くにはとても良いです。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウェスタンカロライナ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

主にリスニング、リーディング、ライティングとアメリカの文化のクラスがあります。リスニングとライティングのクラスは週に2回3時間ずつあり、リーディングとアメリカ文化のクラスは週に1回3時間ずつあります。月曜日は2個クラスがあつてお昼ご飯を挟んで午後も授業がありますが、他の曜日は午前中で終わります。クラスには7人のクラスメートがいて、私たち日本人二人の他にサウジアラビア人二人、コンゴ人一人、ベトナム人一人、インド人が一人います。クラスメートはみんな英語を勉強することに対して意識が高く、とても良い人です。また、従業形式は基本的に講義形式ですが人数が少ないのでアクティビティーやディスカッションが多いです。

大学のインターネット設備も良くアクセスは良好です。図書館は広くて、平日は朝の7時半から深夜12時まで空いているので勉強の環境は整っていると思います。

### II. 生活状況

宿舎は基本的に留学生のための寮なのでたくさんの友達を作る良い機会となっています。また、部屋は二人部屋で広く、プライベートのシャワールームとトイレ、キッチン、冷蔵庫もあるのでとても過ごしやすい環境です。キャンパスまで徒歩で10分から15分程かかりますが無料のバスが定期的に利用出来るので心配ありません。食事は学期の初めにミールプランという回数券のような物を購入するのでカフェテリアでご飯を食べることができます。週末は車を持っている友達と出掛けたり勉強をしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウェスタンカロライナ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

前期は IEP という英語コースに所属し、英語の基本的なスキルについて学びました。クラスは7人と少人数ではありましたが、多国籍で先生のサポートもとてもよかったです。学部授業にはクラスを普通に受講し、ある程度の成績があれば上がれるのでそこまでストレスに感じることはありませんでした。

授業自体は一コマ 3 時間程度で月曜の 2 コマを除いて、残りの日は午前中のみでした。その分課題はたくさんありましたが、こなせる量だったと思います。また、図書館や寮の共有勉強部屋などもあり充実しています。

### II. 生活状況

わたしの住むロバートソン寮は一人のルームメイトとトイレお風呂、キッチンをシェアするのみなのでとても使い勝手がいいです。授業を受ける校舎からすこし離れているので、毎回歩くのは大変ですが、**cat train** という学校内を走るバスがあるのでそこまで困りません。

この大学は山の中にあるので車がないとどこへも行けませんが、その分みんなとても親切なのでなんとかなります。休日は友達と近くの町まで出かけたり、パーティに行ったりして過ごしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウェスタンワシントン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私はウェスタンワシントン大学の IEP の授業を受けています。授業内容は主に **Reading / Writing / Listening / Speaking / Grammar** の 4 つです。学期の最初にプレイスメントテストを受けて 1 - 6 のレベルに分けられました。クラスの人数は大体 5 人から 8 人ほどで今期は日本人が半数ほどいました。ほかにはサウジアラビア人、中国人、韓国人、ドイツ人など国籍は様々です。授業は毎日あり、一日 3 クラスありました。授業が終わる時間は曜日によって変わりますが、12 時から始まり 3 時から 5 時の間に終わります。授業形式は先生によって全く違い、レクチャー式もあればアクティブな時もあります。今期は実際に **WWU** の授業に参加する機会もありました。そして、大学には大きな図書館があり、平日は夜の 12 時まで空いているのでテスト勉強や宿題をするにはとてもいい環境だと思います。また、図書館にはアドバイザーの人が常備していて、何かわからないことがあれば宿題の内容などの質問にも答えてくれます。

### II. 生活状況

寮は全部で 7 か所ほどありますが、外大生は主にバーナムウッドという寮です。キャンパスからは一番離れていますが、近くにはスーパーやファストフードの店があり便利です。大学まではバスがあり、平日は朝の 6 時台から夜の 10 時台まで出ていて、土日も 1 時間に 1 - 2 本出ています。また、夜遅くまで勉強する学生のために例とバスという夜中中も動いているバスもあるので夜遅くなっても安心して帰れます。学生証を見せればバスは無料で、そのバスはベリンハム市内も走っているのでスーパーやモール、ダウンタウンも無料でいけます。大学へは徒歩でも行くことができ時間は大体 20 分ほどです。モールはバスだと少し遠いですが日本食やイタリアン、メキシカンなど種類はたくさんあり、服の店もあります。休日はパークやモールに行ったり、大学にあるジムに行ったり、車がある友達がいればシアトルやバンクーバーも 2 時間ほどで行けます。食事はミールプランもありますがバーナムはキッチンが大きいのでほとんどの人が自炊しています。私もノーミールで外食をたくさんしました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウェスタンワシントン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

僕は現在、アメリカのウェスタンワシントン大学に留学しており、TESOL(Teaching English to Speakers of Other Languages)に関連した授業を、秋学期(1学期目)に3科目履修しました。それら3科目は、TESOLのコースをとっており、将来、英語の非母語話者に英語を教える教員を目指している人に向けての授業で、一つ目は、言語学の授業で、主に、英語を中心とした言語学の基礎的な内容(音声学、音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論)をこの授業を通して学びました。二つ目は、第二言語習得論に関する授業で、第二言語を習得するための環境、言語を学習している際に、どのように脳が働くかなどを理論と研究を通して学びました。三つ目は、教材の作り方や教授法の授業で、教科書で学んだ理論を実際に英語学習者に対して授業をするということを通じて学ぶことが出来ました。それぞれの授業には、十人から十五人程度の生徒がおり、自分と他二人の日本人を除いて、ほとんど全員がアメリカ人の生徒でした。また、全ての授業で教科書を使い、課題として、教科書を読み、授業で、その教科書に書かれている内容の確認やその応用で理解を深めていきました。基本的に、全ての授業が生徒中心に進み、生徒の議論に先生が助言をしてより内容の濃い議論を作り上げていくような形式で授業が進んでいきました。学習環境としては、図書館をよく使用しており、必要であれば、図書館の職員に助言を求めることが出来ました。

### II. 生活状況

僕は、現在、寝室を二人、リビング等の共同スペースを自分含めて四人で共用しています。寮の部屋には、キッチン、バスルーム、冷蔵庫、その他家具などが装備されており、生活環境としては良いと自分は思います。また、部屋を共用している3人のルームメイトとも関係は良好で、楽しい生活を送ることが出来ています。寮から大学のキャンパスまでは歩いて20分程度、バスを利用すれば、8分ほどで着きます。食事は、自分で何かを作るか、クラスメイトなどと一緒に外食をしており、スーパーマーケットが寮から徒歩5分ほどのところにあるので、よく利用しています。学期中の休日は、授業の課題や、予習をするために終日図書館で勉強をしていました。また、ベリンガム全域で走っているバスは大学の学費等に含まれているため、定期的ように使うことができるため、そのバスを利用して、少し離れたショッピングセンターに出かけるということもありました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウェスタンワシントン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私が留学させていただいているウェスタンワシントン大学では、様々な学部の授業が開講されています。私が前期に受講した授業は、TESOL (Teaching English to Speakers of Other Language) 401、410、420 と Communication 101 の計4つです。TESOL では、主に英語教育に関する学びをディスカッション、デモ授業、プレゼンテーションなどの学生中心の形式で行いました。Communication では、パブリックスピーチを実践的に学ぶために、主に小グループでの授業が展開され、10週の中で4回のスピーチを行いました。TESOL では10~15人の学生が受講しており、様々なルーツを持つ学生が多く少人数にもかかわらず、国際色豊かなクラスでした。Communication では、それとはまた違い留学人は私を含めて2人のみという環境で授業を受講しました。

### II. 生活状況

私の住んでいる寮は、4人でリビングとバスルームを共有し、2人で寝室を共有する寮でした。私の場合、寝室をもう一人、フランスから来た留学生とアメリカのサウスカロライナ出身のアメリカ人との3人のみでの共有でした。洗濯物はコミュニティビルディングという寮生共有スペースの洗濯機と乾燥機を使用しました。学校までは、バスもしくは徒歩で通いました。私は、主に自炊をしていたため、近場のスーパーマーケットで食料を調達して、色々な料理に挑戦しました。その中でも、ラザニアはとても美味しく作ることができました。休日も含め、習慣的に設備のとても整ったジムに通いました。以前習っていた水泳を行ったり、新しくクライミングを始めたりととても充実した休日を過ごすことも多々ありました。しかしながら、毎週のように課題に追われていました。

留学種別	交換
留学先大学	ウェスタンワシントン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

コース内容

英語の基礎

クラス人数

8人、日本人3人中国人1韓国人1アメリカ人1台湾人1サウジアラビア人1

時間割

週5日、12時から3時ごろまで

使用教科書

grammar

授業

講義形式

学習環境

整っている

### II. 生活状況

宿舎の設備

防音設備は甘い、ほかは問題なし

通学方法

バス、または徒歩

食事

自炊

休日

睡眠

留学種別	TESS II
留学先大学	オザークス大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

週2回75分の授業を4つ、週3回50分の授業を1つの5つ、15単位を履修しました。平均の生徒数は15人ほどで、教授が生徒の名前と学力等を把握してくれるところが良いところだと感じます。自分の受けた全ての授業に留学生はI、2割いましたが特別な扱いは受けません。教科書はI冊100ドルをこえますが、あまり使用しませんでした。全ての授業において課題やプレゼンテーションが多いです。テストや課題は大変ですが2週間ほど前には予告されるのできちんと準備ができます。学期のはじめにiPadが支給され、授業にて使用することができます。自分の場合は配布されたプレゼンテーションのグラフ等に文字を書き入れるように活用しています。

### II. 生活状況

2人部屋の大学寮で生活をしています。2人で共用する部屋の他に個人の部屋が与えられており、不満はありません。大学の周辺にはほとんど何もないので友達が車を持っていると助かります。食事は大学内の学食を使うことができるので困りません。しかし小さな大学なので大きな食堂が一つとレストラン、スターバックスが一つずつしかキャンパス内にありません。食堂のご飯は個人的には悪くないと思います。ミールプランは週10回、15回、19回から選べ、自分は15回を選択しています。食事を逃すことや外食をすることが週に何度かあるので自分は15回で満足しています。休日は基本的に課題、睡眠、映画でたまに遠出をしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	オザークス大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

ELS の授業は 1 日 50 分、週 5 日。多くの留学生が通っているが、皆英語のレベルがかなり高く内容は少し物足りない。この他の学部授業は私にとって少しレベルの高いものではあるが丁寧に指導してくれる。クラス的人数はおよそ 20 人から 30 人程度。月、水、金は 3 限。火、木は 2 限。教科書は全部で 3 冊購入。中古のものを購入できたので費用はそこまで高くはならなかった。講義公式で授業によってはグループワークやプレゼンなどのスタイルを取ることもある。24 時間利用できるコンピュータールームと自習室があり自習環境はかなり整っている。

### II. 生活状況

宿舎は二人部屋だが寝室は扉で仕切られているため、一人の時間が確保することができる。Wifi を利用することができる。1 階には広場があり共用スペースがありソファや卓球台などが置かれておりくつろぐことができる。キッチンや冷蔵庫はいつでも使用可能。地下に洗濯機と乾燥機があり、これもいつでも使用可能。大学の敷地内に寮があるため通学は徒歩。歩いてすぐに小さなスーパーがあり最低の生活必需品を揃えることができるが、生鮮食品は販売されていない。徒歩圏内に買い物できる場所はないが週に 2 度ほど大型スーパー、ウォルマート行きのシャトルバスが運行されている。

留学種別	TESS II
留学先大学	オハイオ州立大学ヤングスタウン校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

留学生クラスで **grammar, writing, reading, listening, speaking** の授業を受講。人数は5~6人で国籍は日本・韓国・サウジアラビア・シリア・中国。月曜から木曜まで8時30分から3時まで授業があり、一教科が60分だった。金曜日は授業無し。使用していた教科書は、**Longman Academic Reading** や **Contemporary Topics** など。外大の授業で使ったことのある教科書が一冊あった。授業中は発言する機会が多く、**Speaking** の授業ではなくてもプレゼンテーションやスピーチなどを毎週行った。教室が図書館の地下だったので授業後はそのまま図書館で勉強することができ、学習環境は整っていた。テスト期間になると、大学の図書館が夜の12時まで開いているので集中して勉強することができる。

### II. 生活状況

学内にある寮で、基本的に二人部屋。シャワーとトイレは各フロアで共用。キッチンが地下に1つしかない。友達はやさしいが、夜中でもうるさいことが度々でなかなか眠れない時があった。寮が学内にあるので、どの建物も近く、最長でも徒歩で5分もあれば移動できる距離。ミールプランを買ったため、食事は学食か学内のファストフード、または近くのカフェを利用できた。学食は週に最大8回利用できるプランだった。日用雑貨や食材は、ウォルマートで購入。時々韓国人の友達が韓国料理を作ってくれていた。(週一で大学からの無料シャトルバス有り)休日は友達とカフェに行ったり図書館で勉強したりする。

留学種別	TESS II
留学先大学	オハイオ州立大学ヤングスタウン校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

- ・コース内容 (授業内容) ELI (ENGLISH LEARNING INSTITUTE) 月～木曜日、毎日5つのクラス (Reading, Listening, Grammar, Writing, Speaking) 8:30～3:00。  
**Reading** (教科書の精読がメイン毎週1回、内容理解に関するテスト) **Listening** (毎回ひとつのトピックについて)  
**Grammar** (1モジュールで一通りの文法、週の最後にその週に習った文法について復習のテスト)  
**Writing** (level 4 では MLA、 level 5 では APA の使い方を習う、教師によって課題の量が変わるが、だいたい週1でエッセイひとつ)  
**Speaking** (週1で5～7分程度のプレゼンテーション※CORE ENGLISH に似ている)
- ・クラス人数、国籍 5人程度、中東の生徒が多め (どこの語学学校もそうだと思うが、イスラム教の生徒が多いので、プレゼン内容、発言内容など、文化のちがいに気をつける。)
- ・使用教科書 ロングマン 学期の始まる1週間前ほどにリストが配られる。大学の最寄りの本屋で買えるが学期が始まると、なくなることもある。ネットでも買えるが、学期が始まる前に揃えるには、早めの購入が必須。支給される教科書代より高くなるので、ひとつ上の level の生徒に譲ってもらえると、安くすむ。
- ・授業形式 (講義形式) 講義形式だが人数が少ない、NUFS の READING のクラスとやり方は似ている。
- ・大学の学習環境、自習室、教室の設備 図書館に行けば自習室がある。(～午後10:30)

### II. 生活状況

#### ・宿舎の設備、環境

**Erie Terminal Place** に滞在しています。まず、**APPLY** が遅かったせいか、なぜか大学外の大学が所有する寮が割り当てられました。大学までは3分で着くので問題はありませんが、自炊が必須となってきます。自炊をするにあたって、調理器具を揃える必要があることや、食材も定期的に購入しなければならない点は短所と言えるでしょう。ですが、**mealplan** の方は **menu** があまり変わらないので飽きたり、自分が好きなものが食べれなかったり、食堂まで行かなければならない点を考えると、こちらの方がいいと思われます。

部屋は1つの部屋が二つに分けられており、それを二人で利用するタイプです。合計4人でキッチンシェアしなければならないので、ルームメイトとのコミュニケーションは必須です。

- ・通学方法 徒歩5分 キャンパスが大きいので場所によります。
- ・食事や買い物 車で10分圏内で大体の買い物は済ませれます。徒歩圏内にレストランはたくさんあります。
- ・休日の過ごし方 趣味をする。

留学種別	認定
留学先大学	カリフォルニア大学サンディエゴ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

- ・コース内容リーディング、ライティング、グラマー、リスニング、カンバゼーション
- ・クラス人数  
おおよそ15～20人前後。私の在籍していたクラスの日本人は私を含めて最大3人でした。
- ・時間割

月水金	12:30～14:10	Grammar core
	14:30～15:20	Reading skills
	15:30～16:20	Conversation
火木	8:30～10:20	Listening
	10:30～12:20	Writing Development

- ・使用教科書  
Grammar in context 2A, Read this! 2, Interactions 2, Longman Academic Writing Series 2

- ・授業形式

#### 講義形式

- ・学習環境、自習室、教室の設備

#### 自習室

特別に自習室が用意されているわけではありませんが、空いている教室を生徒が自由に使ってよかったため、空き教室を自習室として利用することができます。他にもパソコン室もあり、そちらの教室を利用している生徒もいました。またメインキャンパスへ行けば、勉強できるスペースは多く見られました。

#### 教室の設備

机、椅子、黒板、等

### II. 生活状況

#### ホームステイの設備・環境

ホームステイのため、一人部屋があり他に留学生もいないためバスルームも一人で使っています。家も部屋も全体的に綺麗で、週に一度ハウスキーパーが来て綺麗に掃除してくれます。食事はホストファミリーがほぼ毎日手作りでおいしい料理を用意してくれます。外食に行く時には行き先にかかわらず毎度誘ってもらっています。

#### 通学方法

徒歩2～3分の場所にバス停があり、一度乗り継ぎをして大学に向かいます。

だいたい一時間弱かかります。

#### 食事や買い物

朝食・夕食はホストが用意してくれるため、基本家で食べます。友人などと外食する際は基本的にモール内のレストランやフードコートで済ませます。

買い物は家から徒歩10分の距離にスーパーや様々な店のあるモールがあるためそこで買い物をするか、バスで20分のところに大きなショッピングモールがあるので服や雑貨はほとんどそこで買うことができます。

#### 休日の過ごし方

大学でできた友人と大学内のスタジオに行きドラムを練習したり、学外でできた友人とご飯やビーチに行ったりしています。また、ホストファミリーが外出に連れて行ってくださることもしばしばあります。

留学種別	認定
留学先大学	カリフォルニア大学サンディエゴ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

8月から12月までは英語コースを受講し、1月から3月まではビジネスについて学ぶコースを受講します。

英語コースは文法、ライティング、リスニング、TOEIC 対策、IELTS 対策の他に映画をみて英語を学ぶクラスなど受けたいクラスをいくつか選択することができます。クラスによって人数、国籍は異なります（クウェート、韓国、中国、台湾、タイ、ドイツ、チリなど）。

ビジネスコースでは主にマーケティングを学んでいます。クラスの人数は8人と少人数で日本人の他にメキシコ、韓国、ブラジル、台湾からの留学生と一緒に授業を受けています。授業内容は難しく、他のクラスメイトのほとんどは大学を卒業し社会経験があるため少し大変ですが、充実した日々を送っています。

大学の図書館が24時まで利用でき、wi-fi 環境も整っているのでよく利用しています。

### II. 生活状況

学校からバスで15分ほどの距離にある民間寮に住んでいます。現地の学生や他の留学生もたくさん住んでいます。寮の近くにスーパーや大きなショッピングモール、バス停がありとても住みやすいです。

多くの寮は食事もついていますますが、私の住んでいる寮は食事プランがないため、部屋についているキッチンで自炊をするか外食をします。

休日は友人と食事をしたり、買い物をしに行きます。ロサンゼルスまで電車か車で2時間で行けるので、ロサンゼルスにもよく観光をしに行きます。

留学種別	UCR 特別留学
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

授業は最初に受けるクラス分けテストの結果次第で変わります。私の場合は文法、リーディング&ライティング、異文化コミュニケーションでした。クラスは 15 人程で中国人、日本人、アラブ系で構成されていました。文法とリーディング&ライティングの授業は毎日あり、文法は 1 時間でリーディング&ライティングは 2 時間でした。異文化コミュニケーションの授業は週に 2 回で 2 時間半ほどの長さでした。授業形式は先生にもよりますが、クラスメートと話し合ったりする機会がとても多かったです。大学の環境は良いと思います。勉強ができるラウンジが朝から夜まで空いているので、よくそこで宿題をしていました。

### II. 生活状況

私のホームステイ先は学校から遠く、町からも遠いのでどこかに行きたいときはホストファミリーに頼んだり、バスで長い時間かけて出かけていました。車がないと行動できないので不便でした。

通学は毎日送り迎えでした。ホストファミリーが出してくれる食事は私には合わず、たまに自分でご飯を作ったり買いに行ったりしていました。休日は電車にのって、ロサンゼルスに行ったりビーチに行ったりしていました。

留学種別	UCR 特別留学
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

10 週間プログラムの最初にレベル別テスト実施され私はレベル 600 のクラスになりました。月曜～金曜 9:00-11:00 reading & writing 11:00-12:00 academic skills という時間割です。それぞれ教科書は **creating meaning(56 ドル)**, **contemporary topics2(51 ドル)** を使用しました。600 レベルのクラスは 2 つクラス実施されていましたが、先生によって宿題の量、小テストの頻度は異なりました。私のクラスの先生は明るく優しく特に課題も厳しいと感じたことはありませんでした。クラスは 15 人、そのうちの 8 人は日本人でほとんどが私と同じプログラムに参加する生徒でした。その他のクラスメイトは中国、台湾、サウジアラビア、クウェート、ベトナム出身でした。火曜・木曜日にはレベル 500 以上の生徒が受講する選択科目が行われました。私は **story to movie** という授業を受講しました。時間は 13:00-15:20 までで、教科書はありませんでした。2 週間プログラムは日本人とスペイン人で構成され、8:30-16:30 まで授業が行われました。毎回先生が変わり、トピックも様々でした。ほとんどの授業がグループワークを中心とした授業構成だったのできつく感じることはあまりありませんでした。最終日にはマークシートのテストと、各グループのプレゼンテーションが行われました。

### II. 生活状況

前半のホームステイは一人一室で快適に過ごせました。しかし部屋に机がなかったのが慣れるまで大変でした。ホームステイ先から学校までは片道約 25 分かかりました。休日はホストに大学近くの駅まで送迎してもらい電車にのってロサンゼルスに行きました。無料のバスカードももらえるのでホストの都合が悪い場合はバスにのって近くに買い物に行ったりしました。前半の授業が終わったあとの約 1 か月間の休みは TOIEC の勉強をしました。

2 週間プログラム中は学校の 5 階に住みました。私はスペイン人との 2 人部屋でした。ホテルのようで 2,3 日に一回ハウスキーピングサービスもあったので快適でした。しかしキッチンがなく、湯沸かし器と地下にある電子レンジしかなかったのが残念でした。平日はカフェテリアでパンやスクランブルエッグなどをもらえました。土日は水や果物のみの支給でした。日本からレトルト食品をもってきていたので良かったです。

留学種別	UCR 特別留学
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

- ・コース内容...十週間プログラム（語学学習）と二週間プログラム（マネジメントやホスピタリティについて）
- ・人数、国籍...十週間プログラムも二週間プログラムもクラスの人気は20人ほどで、十週間プログラムでは中国人、日本人、韓国人、インド人、サウジアラビア人、クウェート人がいた。十週間プログラムでは、ペルー人、コロンビア人、ヴェネズエラ人、日本人、スペイン人がいた。
- ・時間割...十週間プログラム...
  - 月・水：Grammar（9：00-10：00）、Writing&Reading（10：00-11：50）、Intercultural Communication（13：00-15：20）
  - 火・木・金：Grammar、Writing&Reading
- 二週間プログラム...8：30-16：30
- ・教科書...Grammar：Grammar and Beyond  
Writing&Reading：Island of the Blue Dolphins, Q-skills for success4
- ・授業形式...十週間プログラムは少人数講義形式で、参加型であった。二週間プログラムは、講義形式とグループワークを主にやった。
- ・学習環境...うるさすぎもなく、静かすぎでもなく、自習しやすい環境だった。ラウンジでよく勉強していたが周りに友達もいて、集中力が切れたときにリフレッシュすることができた。設備としてはNUFSのように無料でコピーができないことが不便であった。

### II. 生活状況

- ・二週間プログラム寮の設備...調理ができなかったのが不健康であった。土日の朝は特に軽食しかでなかった。実際に何人も体調を崩していた。部屋はとてもきれいで、週に何回もハウスキーピングしてくれるのもよかった。しかし部屋はとても寒く乾燥していた。また、友達がすぐ会える距離にいるのもとてもよかった。
- ・ホームステイ...ごはんがとてもおいしく健康的であった。しかし、私たちのことを信用してないんじゃないか、やお手伝いさんと思っているのではないかとおもうことがあった。家でのハロウィンパーティーの次の日とても体調が悪いにも関わらず強制的に片づけを手伝わされた。また、ルーミーの誕生日パーティー主催はマザーなのにルーミーにすら少しお金を払わされていた。いくらこっちが悪くなくても何かあるたびにこちらのせいにされ、何を言われても聞いてすらくれなかった。最後のほうは優しかったが、結構つらいことが四か月間でちょこちょこあった。
- ・通学方法...ピックアップ
- ・休日...課題をやるか、テーマパークや観光地巡り

留学種別	UCR 特別留学
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

10 週間プログラム (500 レベル)

- ・クラスの人数：17 (途中から：15)

日本：7 (途中から 5) 韓国：2 中国：2 インド：1 サウジアラビア：3 クウェート：2

- ・9:00~10:00 Grammar 関係代名詞,if など今までに習った内容 / 教科書+ワークブック

10:00~12:00 Writing&Reading エッセイの書き方・読み方, エッセイの種類 など / 教科書

13:00~15:20 Intercultural Communication 多文化共生 \*Elective の授業なので午前とはクラスメイトが変わる。

- ・狭い教室 (NUFS でいう K 館 1 階の教室)

### 2 週間プログラム

- ・クラスの人数：17

日本：8 スペイン：9

- ・8:30~12:00, 13:00~16:00 Introduction to global Hospitality Industry

一日ごとにトピックと先生が変わる。講義方式もあればグループディスカッションが多い場合もある。

- ・パソコンは使えるが印刷は有料
- ・自習室は無いので、人が集まるラウンジかメインキャンパスまで行って図書館などで自習したい場合は勉強する。
- ・私のクラスは宿題は大変ではなかった。

### II. 生活状況

ホームステイ

- ・大学から車で 15~20 分
- ・大学への送迎はカープール制度。同じようにマザーの家の近くにホームステイしていて UCR Extension に通っている生徒 2 人も同じ車に乗せて大学に通う。送り迎え担当は週交代。
- ・NUFS の人と二人一部屋
- ・朝はシリアル、昼は前日の晩御飯か自分でサンドイッチを作って持参、夜はマザーの手料理
- ・土日は昼前に朝昼兼用のご飯と夕方過ぎに晩御飯の 2 食
- ・シャワーは 20:00 まで (10 分以内)
- ・洗濯機、乾燥機は週に 1 回
- ・学校関連以外の交通手段はバスか Uber/Lyft か歩き (RTA のバスは無料)
- ・ホームパーティーが多い

### 寮 (UCR)

- ・ホテルと同じサービス・設備
- ・朝食付き
- ・キッチンがなく、料理禁止
- ・週 2, 3 でハウスキーピング
- ・食事は近くのレストランか、スーパーで食料を買いだめ
- ・スペイン人と二人一部屋

留学種別	UCR 特別留学
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私が履修した授業は **Grammar, Writing/Reading, Intercultural Communication** の三教科でした。**Grammar** は主に英文法を学習し、比較的簡単でした。**Writing/Reading** はエッセイを書いたり、テキストを使って長文の構成や読解の仕方を学習しました。プレゼンはありませんでしたが、グループセッションはありました。**Intercultural Communication** は異文化の中での行動心理を学習しました。先生によって異なりますが、私のクラスは課題がとて多かったです。クラスメイトは日本人、中国人、サウジアラビア人で約 20 人でした。朝の 9 時から 10 時が **Grammar**、10 時から 12 時が **Writing/Reading**、月曜日と水曜日は 1 時から 4 時 30 分まで **Intercultural Communication** でした。テキストは使用しない科目と使用した科目がありました。授業形式はゼミ形式に近く、生徒が発言したり、話し合ったりする場面が多かったです。施設は比較的きれいで特に不便さは感じませんでした。

### II. 生活状況

ホームステイでは、一つの家庭に私ともう一人日本人の生徒とステイしました。一人一部屋でバスルームは二人で共同でした。家がとても広く、掃除されていて常にきれいな状態でした。割と自由な環境で、私たちのことを信頼してくれているファミリーだと感じました。ご飯は全て準備され、ディナーの手伝いは毎日していました。通学はホストファザーとマザーが交代で、車で送迎してくれました。学校行事以外の送迎は基本的にファミリーがする必要はないのですが、私のファミリーはいつも送迎してくれました。休日はファミリーと映画を見に行ったり、買い物をしたり、課題をやったりして過ごしました。

留学種別	UCR 特別留学
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

λ コース内容: EAP(English for Academic Purpose)と Global Issues の 2 つの授業を受講し、EAP のクラス内容としては、リスニング、リーディング、スピーキング、ライティング、文法をバランス良く学んだ。日本の英語教育とは違った視点や方法での説明の方法で、グループディスカッションがかなり多く、TED Talk を視聴した後にグループで話し合ったり、グループプレゼンを何度か行ったりした。特に文法に関しては高レベルで、日本では教わらなかったネイティブの微妙な意味の違いなどを学んだ。

Global Issues では、地球規模で起こっている問題（地球温暖化、男女格差、世界的に流行した病気など）について教科書を読んだ後、インターネットの記事を読んだり、映像、映画などを見たりして、最後にレポートして自分の意見を述べたりした。

λ クラスの人数: 12~16 人

λ 国籍: クウェート、サウジアラビア、中国、韓国、ブラジル、インド、日本（クウェート人と日本人の割合が非常に高い）

λ 時間割: 月~金の午前は EAP、火・木の午後は Global Issue

λ 教科書: EAP は Keynote proficient、Global Issues は Thinking Critically world issues for reading, writing, and research

λ 授業形式: 少人数クラス

λ メインキャンパスから離れており、現地の学生との交流はほとんどなかった（クラブ活動に参加すると多少は可能）。ラウンジは夜遅くまで開放されていたので自習をする環境には困らなかった。

### II. 生活状況

λ ホームステイの環境: ホームステイ先の構成はマザー、ファザー、シスター、自分を含め 2 人の日本人留学生だった。ホストファミリーの方がとても良い人たちで、多くのところに連れて行ってくれ、私たちに「アメリカらしい」の経験ができるようにと色々と考えてくれた。とてもフレンドリーで笑いが絶えない家庭だったが、プライバシーはちゃんとしており、とても快適な生活を送ることができた。

λ 通学方法: ホストファミリーによる車での送迎

λ 食事や買い物: 食事は基本的にホストファミリーが作ってくれたもの、またはホストファミリーと一緒に外食に出た場合は全て彼らが払ってくれた。

λ 休日の過ごし方: 家でゆっくり過ごしたり、電車でロサンゼルスまで行き、買い物や観光をすることが多かった。

留学種別	UCR 特別留学
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

最初の 10 週間プログラムでは、600 レベルの授業を午前中に受けて、週 2 で選択授業を取っていました。午前の授業は 15 人ほどのクラスで、私のクラスは比較的日本人が少なく半分ほどが中国人、台湾人でそのほかにもクウェートや、ヨルダン、サウジアラビアなどから来た人たちがいました。午前の授業は 9 時から 12 時までの約三時間で、最初の 1 時間は **Academic Skills**、そのあとの 2 時間が **Reading/Writing** という時間割で 10 週間毎日同じ授業を受けました。教科書は授業によって違うものを使用しました。午後の授業は、週 2 で **Story to Movie** という授業を選択して取りました。15 人ほどのクラスで教科書は使用しませんでした。どのクラスも講義形式とディスカッション形式の中間な感じでした。

1 月からの 2 週間プログラムは、3 つの 18 人ほどのグループにわけられて、各グループ違うスケジュールで授業を受けました。朝の 8 時半から夕方 4 時半まで同じ 1 つの授業を日替わりで受け、ほとんどがアクティビティやディスカッションが多い授業でした。

自習室などはなかったですが、メインキャンパスの図書館や、ラウンジなどで勉強できます。また、パソコン室も使用可能なので調べ学習などもできますが、授業外での印刷はお金がかかります。

### II. 生活状況

まず、私がステイしたホームステイ先は一人一部屋提供してくれて、どちらの部屋にも勉強するためのデスクとダブルベッドがありました。バスルームは生徒専用のところを使用させてもらっていたので、とても楽でした。学校がある日は、朝は自分たちで好きなものを用意して食べて、それ以外のランチボックスやディナーはホストが作ってくれていました。土日は、私たちが家にいるときは朝昼夜三食作ってもらっていました。通学は行きかえりホストに送迎してもらって、出かけるときなども都合が合えば送って行ってもらえました。

休日は、家にいることがあまりなかったですが、友達と遊びに行ったり観光したりして過ごしました。

留学種別	UCR 特別留学
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### ・授業内容

#### <400 レベル>

主に教科書を使って授業を行う

9時から12時の間でライティング、文法、リーディング、リスニングを教科書に沿って全て行う（補足プリントあり）

難易度はリスニング以外は簡単に感じた

リスニングはTEDを用いているので難しい

授業内で完成させるエッセイが多い

授業形態はゼミ形式で発言する機会が多い

2週間に1度プロジェクトがあり、毎回内容は異なる（プレゼンの時もあればエッセイの時もある）

中間・期末テストなし。その代わりに頻繁にクイズがある。（単語、文法、リスニング）

課題は多いが、内容が簡単のため時間はかからなかった

#### <Intercultural Communication>

Cultural Value, Culture differences など主に文化を取り扱った授業

基本的にクラスメートと1対1でディスカッションをする

ケーススタディなども行う

課題は基本的に、ポータル上に提出する

課題の内容は先生からの質問が数問あるのでそれについて自分の意見を述べるものが多かった

#### ・クラス構成

<400 レベル>日本人6人、韓国人1人、クウェート人5人、中国人2人

<IC>日本人6人、クウェート人2人

#### ・時間割

月・水・金 9:00 - 12:00

火・木 9:00 - 12:00、13:00 - 15:20

（午後がICの授業）

### II. 生活状況

#### ・ホームステイ

一人でステイしていたためとても快適だった

昼と夜のご飯は提供され、朝は自分でシリアルやトーストを焼いて食べていた。しかし、ホストファミリーと食事をするのではなく、基本的に一人で食事をとった。

シャワーは制限はなく好きな時間に浴びていいと言われていた

家は静かなので勉強もしやすく、落ち着くことができた

#### ・通学方法

送り迎えは必ずホストがしてくれた

#### ・食事や買い物

ホストは基本、家にいるのでショッピングに出かけたい時は自分から言えば連れて行ってもらえた

・休日

土曜日はなるべく出かけるようにしていたため、LA 観光やディズニーに行っていた

日曜日は家でホストと映画をみたり、課題をしていた

大学までの送迎は契約上必ず行ってくれたが、それ以外にも土日に遊びに行く時も送迎してくれた

留学種別	UCR 特別留学
留学先大学	カリフォルニア大学リバーサイド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

〈コース内容〉

#### • Reading/ Writing 600

- －教科書を読み、問題に答えたりグループで話し合ったりする。
- －教科書の内容に沿ったエッセイを書く。
- －クラスメイト同士でエッセイを訂正しあう。
- －自分でニュースの記事を選択し、その内容をまとめることに加え、それに対する意見を書く。他のクラスメイトが書いたものを読み、レスポンスする。
- －中間、期末テストでは初見の短い記事を読み、その内容をまとめたりそれに対する意見を述べたりするエッセイを書く

#### • Academic Skills 600

- －あるトピックについて講義のビデオを見て、メモを取る練習をする。数回ミニテストも行った。
- －各 Unit が終わるごとにプレゼンテーションを行う。
- －毎回授業の後半は Vocabulary のゲームをした。(Unit ごとに出てくる Vocabulary が更新される。) Vocabulary のミニテストを行う。(1回のみ)
- －決められたトピックについて数分間話したものをアップロードする。
- －動画を選んで見て、その内容をまとめたりそれに対する意見を述べたりするレポートを書く。
- －中間、期末テストはなし。

#### • Intercultural Communication

- －文化ごとのコミュニケーションの取り方の違いについて学ぶ。数回ミニテストを行った。
- －グループ内でそれぞれ思ったことをディスカッションする。
- －決められたトピックについて数分間話して録画したものをアップロードし、他のクラスメイトの動画にリプライする。
- －ある人にインタビューをし、それから学んだことについてエッセイを書く。
- －ロールプレイをする。
- －中間、期末テストはなし。

〈クラス人数〉

#### • 17 人

〈国籍〉

- 日本、中国、台湾、サウジアラビア、クウェート、ベトナム

〈一週間の授業時間割〉

#### • 月、水

(午前) Reading/Writing, Academic Skills、(午後) Intercultural Communication

#### • 火、木、金

午前 2 つの授業のみ

〈使用教科書〉

#### • Reading/ Writing : Creating Meaning

#### • Academic Skills : Contemporary Topics

#### • Intercultural Communication : なし

〈授業形式〉

- ・ **Reading/ Writing** : 先生が中心となって授業が進められたが、先生の質問に答えるなど生徒が発言する機会も多かった。グループやペアでのディスカッションが多かった。
  - ・ **Academic Skills** : ビデオを見たりプレゼンテーションの準備をしたりと、先生による講義という感じではなかった。
  - ・ **Intercultural Communication : Reading/ Writing** と先生が同じだったため、授業形式が似ていた。
- 〈大学の学習環境、自習室、教室の設備〉
- ・ 授業以外で自由に使えるパソコン室があった
  - ・ 授業時間外はパソコンからの印刷ができなかった。必要な場合は、**Business Center** というところで1枚 **25** セントで印刷してもらった必要がある。
  - ・ アメリカ人に合わせて教室の温度設定が低かったり、暖房設備がない部屋があったりと、体温調整が大変だった。

## II. 生活状況

### 〈宿舎の設備、環境〉

・ 必要な設備はすべてそろっており、お風呂場や洗濯機などを使用する時間も決められなかったため、非常に快適かつ自分のペースで生活させていただくことができた。

### 〈ホームステイの環境〉

- ・ ホストファミリーはみな優しく、常に笑いが絶えなかった。
- ・ 1人1部屋ずつ使わせてもらっていたため、個人の時間も作ることができた。
- ・ 留学生の受け入れに慣れているようで、常に私たちのことを気にかけてくれていた。

### 〈通学方法〉

- ・ ホストマザーまたはファザーの運転で、行きも帰りも送り迎えしてくれた。

### 〈食事や買い物〉

- ・ 平日の朝食は自分で用意し、昼食と夕食は常に用意してくれた。
- ・ 休日は朝食と夕食を用意してくれた。昼食は自分で冷蔵庫にあるものを食べた。
- ・ ホストファミリーが私たちのことを気づかい、日本食を作ってくれることが何度かあった。
- ・ 近くのショッピングモールでよく買い物をした。

### 〈休日の過ごし方〉

- ・ 学校終わりや休日には、カリフォルニアならではの経験をさせてくれた。
- ・ サンクスギビングやクリスマスなどの行事にはパーティーを開く、またはパーティーに連れて行ってくれた。
- ・ 列車に乗ってロサンゼルスへ行ったり、ショッピングモールで買い物をしたりした。ホストファミリーが、列車の駅やショッピングモールまで送り迎えをしてくれた。
- ・ ホストマザーとファザーの孫と遊んだ。
- ・ 趣味の手芸に没頭した。

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学サンマルコス校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

- ・初めの4か月間は語学授業を履修しました。エッセイの書き方や文法など基礎的なことから応用まで幅広く学びました。
- ・クラスの人数は20人ほどかそれ以下でした。指定されるクラスによって様々です。国籍は日本人の割合が多く、中国人、韓国人、インド人など、アジアの国の留学生がいました。
- ・毎日授業があり、月水金は朝から夕方まで火木は午後からの授業でした。
- ・使用教科書は学校が用意してくれたので買う必要はありませんでした。内容は比較的簡単だった気がします。
- ・全ての授業、ゼミ形式でした。グループワークやペアワークが多かったです。
- ・図書館には自習スペースが整っておりとても集中しやすい環境でした。

### II. 生活状況

- ・学校の寮で生活しているのですが敷地面積が広くのびのびとした環境です。寮にも学習スペースがあります。
- ・学校の目の前に寮があるので毎日歩いて通学しています。
- ・近くのスーパーで商品を買って自炊しています。
- ・休日は買い物に行ったり、宿題をしたりして過ごしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学スタニスロース校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私が前期に受けたクラスはESLで主に、英語の4技能(Reading, Writing, Listening, Speaking)の従業やTOEFL、pronunciation、異文化理解の従業を行いました。クラス人数は8人で、国籍は日本、中国そしてブラジルです。また、異文化理解のクラスではアメリカ人のネイティブと合同で授業を行いました。少人数であったため、ネイティブとマンツーマンで英語のコミュニケーションが取れたのはとてもうれしかったです。授業時間は月、水が8時半から14時45分まで、火、木が10時から14時45分まで、そして金が8時半から12時15分までありました。授業形式は講義形式のものがほとんどでしたが、Speakingや異文化理解のクラスはチームやペアに分かれて話し合いなどをしました。大学の学習環境はとてもよく、先生方も教え方が丁寧で分かりやすかったです。クラスメイトも接しやすい子ばかりで、クラス環境には早く馴染めたと思います。教室の設備は冷房が効きすぎているかなと感じました。夏は暑いので問題ないのですが、冬は暖房がない教室であったため上着やブランケットなどが必須でした。自習の際は主に図書館を利用していました。予約をするとtutoring roomという分からないことをネイティブの方が教えてくれる塾のような部屋も利用できます。

### II. 生活状況

私は大学内の寮に住んでいますが、住み心地はとてもいいです。寮内はキッチン、テレビのついたリビングルーム、トイレ、洗面所が2つ、シャワー、個人の部屋があります。私は1人部屋を借りているので、ルームメイト3人と私でそれぞれの個人の部屋が4つあります。勉強に集中したい方は1人部屋を選ぶといいと思います。ルームメイトも接しやすく、はじめは寮の暮らしで困ったことも優しく教えてくれました。たまに、リビングで集まって何か困っていることはないか話し合い、私の意見も積極的に聞き入れてくれたので、よかったです。また、2か月に1度、避難訓練を行うので、非常時の対応もなされていると感じました。大学内が自然いっぱいの場所であるため、空いた時間にウォーキングするのが楽しいです。また、毎週日曜日は、寮に住む学生限定でハウジングツアーが行われます。寮のオフィスの人たちがアメリカの観光名所や季節のイベントに連れて行ってくれるというものです。予約が必要になりますが、基本、交通費や入館料、チケットなどはすべて無料です。私はそのツアーで水族館や遊園地に連れて行ってもらいました。通学方法は、大学内の寮であるため、徒歩です。食事は基本、IDカードがあり、事前に食事のプランを決め、カードにお金を入れておきます。そのカードで大学内にあるカフェや食堂、コンビニなどでご飯を買っています。朝と夜は基本、自炊をしています。また、寮の中にvillage cafeという食事のできる場所があり、夜遅くまで空いているためとても便利です。休日の過ごし方は、ハウジングツアーに参加したり、クラスメイトとご飯を食べたり、近くのスーパーへ買い物に行ったりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学スタニスローズ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

- ・ Reading, Writing, Listening, Speaking, TOEFL 対策, 異文化コミュニケーション, 発音
- ・ 8人 (日本3、中国4、ブラジル1)
- ・ 月水 (8:30~14:45) 火木 (10:00~14:45)  
金 (8:30~12:15)
- ・ それぞれの教科に1冊ずつ
- ・ 主に講義形式 (Speaking などの授業はディスカッションなども含む)
- ・ 図書館が週末を除いて深夜まで開館  
教室は冷房は完備、暖房はなし

### II. 生活状況

- ・ 洗濯機 (コインランドリー内) シャワー、トイレ、台所などは完備されている (共用スペース)
- 個人のリビングあり、食器や寝具などは個人で準備する必要あり
- ・ 学内に立地しているため徒歩で10分ほどで教室
- ・ 徒歩10~15分ほどにスーパーマーケットが数店舗あり  
衣服が買えるモールなどは市内にはなし
- ・ 寮が週末に開催する無料のツアーに参加する、友人の家へ遊びに行く、映画を見る、課題があれば授業の課題を行う、など。

留学種別	認定
留学先大学	カリフォルニア州立大学スタニスローズ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

コース名称 **American language and culture program**

中国人のクラスメイトが多い

参加型のクラス

### II. 生活状況

宿舎は最高、自習スペースや暖炉なんでもある

キャンパスまでは徒歩

休日は友達と外出

留学種別	認定
留学先大学	カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

コース名: American Language & Culture Program(ALCP)

: Conversation, Writing, Grammar, Reading の4つのクラスに分かれている。

**Conversation** は会話中心で提示されたトピックについてプレゼンやディスカッションを行う。**Writing** は1 Semesterで2つのエッセイを完成させるが、様々なフォーマットを使って形式の違うエッセイを書く。**Grammar** は教科書に沿って問題を解いていき、1チャプターが終わるごとにテストがある。**Reading** はひたすらエッセイを読んで問題を解いて行く。ひとクラス多くても8人くらいであるため、質問しやすい。**Writing** 以外は全部会話中心で授業を進めて行くことが多い。クラスにの国籍は中国人や韓国人などのアジア系が多い。私が滞在している期間では日本人は私以外に5人いたが、私が滞在する以前は2人だったらしい。他にはロシア、アラブ系の生徒がいる。

1週間の時間割: 月曜と水曜の午前に **Conversation**、午後に **Writing**。火曜と木曜の午前に **Grammar**、午後には **Reading**。午前の授業は9時から11時まで、午後は13時から15時までである。毎日11時から12時まで **Elective** という授業とは別で熟語を学んだり、ゲームをする時間がある。教科書は **Grammar** 以外は使用していない。授業後に教室や図書館、構内カフェで自習することが出来る。

### II. 生活状況

学校へは最初はバスで通っていたが、自転車で通える距離であることが分かったため現在は自転車で登校している。バスだと乗り換え無しで30分、自転車では40分ほどで着く。ホームステイ先では留学前に想像していたよりもかなり快適に生活できている。お風呂に入る時間帯や入浴時間は自由、洗濯は週2回のペースで回している。朝昼夜マザーが作ってくれるのでとても助かっている。マザーが料理好きであるのと、家にあるものは自由に食べていいと言われているので食事に関して不自由は一切ない。たまに食べたいお菓子などがあれば近くのスーパーに買いに行くくらいである。休日は大学の友人とダウンタウンやハリウッドに観光しに行ったり、スポーツ観戦などを行っている。ホストファミリーと買い物に行ったり、遊びに行くこともある。最初は誘われたらついて行くという受け身の態勢だったが、徐々に自分から誘ったりして積極的に行動できるようになっていった。

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学フンボルト校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### 学部授業

20人から70人までの授業があり、ほとんどが地元出身の生徒  
一週間に四つの授業が履修でき授業自体の時間は少なめ  
教科書を使わず講師が見せるスライドが主  
レクチャー方式での授業が主である  
図書館が充実しており、そこで課題や勉強を行っていた

### II. 生活状況

ホームステイ先には子供がおり、たまにうるさく感じることもあったがさほど気にならない  
バス  
基本的にはホームステイ先の家族が用意してくれる食事を食べていた  
友人と出かけるもしくは家族と過ごす

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学フンボルト校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

授業科目名 **World Religions** メジャーな宗教について幅広く学ぶ。

クラス構成 20～30人程度、基本的にアメリカ人の学生しかいない。少なくとも日本人は自分しかいなかった。

一週間の授業時間割 一回50分、週に3日

使用教科書 **God is not one**

授業形式 スライドを使ったレクチャー、定期的にオンラインのクイズに回答する課題がある。

授業科目名 **Accelerated Comp and Rhetoric** 主に英語でのライティングを重視したクラス。

学期の最後にポートフォリオを提出しなければいけない。

クラス構成 15~20人程度、アメリカ人がほとんど

一週間の授業時間割 一回80分、週に2日

使用教科書 **Writing about Writing**

授業形式 レクチャーと周りの人との話し合い

大学の学習環境、自習室、教室の設備について

図書館があるので、いつもそこで勉強していた。ライティングを助けてくれるライティングセンターがあるが利用したことはない。

### II. 生活状況

ホームステイの環境 70代の夫婦の家庭。私以外に韓国からの留学生がいた。ホストファミリーは、必要な時に必ず送り迎えをしてくれるだけでなく、勉強も教えてくれる。また、イベントごとに友達を呼んでパーティーを開くなど、とても社交的で優しい人柄だった。部屋は、一人部屋でベッド、学習机がある。また、キッチン、テレビ、シャワーなど時間に決まりはなく、いつでも自由に使える。

通学方法 バスで20分程。しかし、バスが1時間に1本。雨の日や、バスに乗り遅れた日は、ホストファミリーが送迎してくれる。歩くと、50分ほどかかる。

食事や買い物 ホストファミリーが夕飯は作ってくれる。朝、昼は自由。朝ごはんやおべんとうに必要な材料はホストファミリーが買ってくれる。基本的に家にある物は、なんでも使っていいと言われた。

休日の過ごし方 友達と外食したり、家で映画を見たりした。大学があるときは課題で週末が終わることもある。長期休みは、友達と旅行やキャンプに行った。田舎なのでショッピングする場所はあまりない。

留学種別	交換
留学先大学	カリフォルニア州立大学ベーカーズフィールド校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

授業内容は **listening, writing, reading, speaking, grammar** を受けています。  
クラス人数は今年から日本の他大学から多くの学生が留学に来ており、  
1つのクラス人数は **13** 人ほどでそのうち **3** 人が他国籍の留学生で中国、サウジアラビア、インドから来ています。  
一週間の時間割は月、水曜日が **8時45分** から **12時**、**1時** から **2時半** の授業を受けており、  
火、木、金曜日は **8時45分** から **12時** の授業を受けています。  
使用教科書は **Academic Encounter** の **Final Draft** と **Presentation Yourself** を使用しています。  
授業形式としては、名古屋外国語大学の **General English** に近いと思います。  
常に受け身の授業というわけではなく、生徒も協力して授業を作り上げる形式です。  
大学の学習環境については、日本人留学生が教室のほとんどを占めているため  
授業中にも日本語での会話が聞こえてくるため時折学習環境に不満を抱きます。  
自習室は図書館の設備が整っているのもとても快適に使わせていただいています。

### II. 生活状況

寮の設備に関しては自習室もあり充実していると思います。  
寮の環境については、日本語を話すことのできない状況であるので、  
自身の英語のスキルを向上させるにはうってつけの環境であると思います。  
また、留学生以外との関係構築もできるので  
多くの人と関わることのできる環境があります。  
また、二人部屋を使用しているのも  
人間関係の構築が必要とされます。  
文化や、人間性の違いという点から、私は部屋の環境、個人の所有物について  
ルームメイトとは話し合わなければならない状況が多々あります。  
なので、これから留学をする他学生には、  
寮生活で一人部屋以外を選ぶのであれば、生活の仕方について  
話し合わなければならない状況は避けられないということを伝えたいと思います。  
通学方法は学内に寮があるので徒歩で通学しています。5分ほどの距離です。  
食事はミールプランを使用しております。  
買い物は近くのスーパーが寮から徒歩15分ほどの距離にあるのでそこを使用しています。  
服などを買う際はバスを使用しています。  
休日の過ごし方は、寮での友達や車を持った友達と遠出したり、映画を見に行ったりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学モントレイ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

学部授業を受けていて1期は、副言語のスペイン語初級（NUFSでは既に履修済み）、日本文化、留学生向けのライティングの3つを履修しました。クラスの人数は大体30人前後で3つ目のライティングのクラス以外はアメリカ人のみです。ライティングのクラスはやはり留学生向けなので日本人の学生も多々いました。どのクラスも1回につき110分で週2回あります。使用教科書は授業によって大きく違います。スペイン語のクラスに関してはオンライン教材、日本文化のクラスに関しては教科書2冊を使用しました。ライティングのクラスでは毎回授業で配られるプリントを使用しました。授業形式は一般的な講義形式ですがNUFSと比べてやはりディスカッションの時間を多くとっている気がします。モントレイ校は比較的校内が広く学習室も充実しています。図書館の学習スペースはもちろん、その中にあるカフェでも多くの学生が学習用に使用しています。

### II. 生活状況

寮での生活について、6人部屋の2人部屋に1期も2期も過ごしていますが、バスタブとシャワーの2つ、学習机、ベッドの設備が必要最低限あるだけでトイレトペーパーやベッドシート、シャワーカーテン、テレビなどはなく自分で用意する感じでした。寮は大学内にあるので毎日徒歩で通学しています。食事については大学のミールプランを買い朝昼晩と食事を摂っています。バスで10分ほどいくとスーパーやレストランがあるのでそこでたまに外食をしたり買い物をしたりしています。休日は日本人以外の留学生や現地の学生と映画を観に行ったりご飯を食べに行ったり、時々大学で開かれるパーティーなどのイベントと一緒に参加したりしています。ちなみに交通手段については、モントレイ内のバスは学生証を持っていると無料で使えるので非常に便利です。

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学モントレイ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私が取っていた授業は、**JAPN** と呼ばれる日本についての授業二つと、**CAD** と呼ばれる学問的なプレゼンやスピーチ、レポートについて学ぶ授業一つ、計三つです。**JAPN** は、漫画やアニメ、日本のビジュアル文化の観点から日本を知るという授業で、日本という国を客観的に見ることが出来ます。**CAD** では、自らがプレゼンやスピーチ、レポートを行うので、少し大変ですが、とても為になります。**JAPN** は、30人規模の授業で主に現地の学生で占めています。**CAD** は15人程のもので、インドからの学生が多くいました。時間割は、どの授業も110分、週2回でした。本として教科書を使用したのは一つの授業しか無く、教科書を用いない授業と**E-book** と呼ばれるオンラインでのものを用いた授業とがありました。授業形式は講義形式が主でしたが、**CAD** に関しては個人での活動やグループワーク、ディスカッションなどが主でした。大学の学習環境はとても良く、平日の図書館は12amまで、テスト週間は4amまで開いているので、勉強しやすい環境です。

### II. 生活状況

私が住んでいる寮は、6人でシェアするもので、シングルルームが2つ、ダブルルームが2つという部屋割りです。寮によって異なりますが、私の寮にはキッチンが無いので、ミールプランを取って大学内で食事をとっています。自分の寮は大学のキャンパス内にあるので、通学、教室移動共に徒歩です。人によってはバスや自転車で通学している人もいます。食事は、先も述べたように、大学内にある食堂でとっています。自分の部屋に電子レンジがあるので、近くのスーパーで買った冷凍食品を食べるときもあります。休日は、出された宿題をするか、ダウンタウンに出る、ショッピングセンターに買い物に行くなど、週によって様々です。

留学種別	TESS II
留学先大学	カリフォルニア州立大学モントレイ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

留学先の大学では、現地の生徒と一緒に学部の授業を受けています。私が受けている授業は、日本語、映画、健康科学、リーディングライティングの4つです。週五日、月曜日から金曜日毎日学校に通っています。曜日によって、朝8時からの日もあれば、夕方の6時からしか授業がない日もあります。4つの授業のうち、教科書を使っているのは健康科学の授業とリーディングライティングの授業です。教科書というよりも、普通に読書として使うような文庫本を教科書として扱っています。健康科学の授業で使う本は三冊で、リーディングライティングで使う教科書は四冊です。私が受けている授業はどれも講義形式ですが、グループで話し合ったりすることが多いです。大学の図書館に **Cooperative Learning Center(CLC)** と呼ばれる機関があります。その機関では、数学や科学だけではなくスペイン語フランス語などを教えてくれるチューターの先生がいます。現役の生徒から専門の先生まで幅広い層の先生がいて、利用は無料です。私は、会話のクラスとライティングの指導を受けています。図書館は基本毎日開いていて、テスト期間になると午前4時まで開いているそうです。

### II. 生活状況

私が住んでいる寮は、学校指定の **North Quad** ではなく **Promontory** という寮です。**North Quad** は **meal plan** の購入が必須ですが、**Promontory** は部屋にキッチンがついているので **meal plan** の購入は自由です。私は基本毎日自炊しています。**double** と呼ばれる二人部屋に住んでいましたが、ルームメイトが「友達と同じ部屋にしてみよう」と言って違う部屋に移動したので今は一人で部屋を使っています。寮から学校までは徒歩10～15分ほどです。教室が多く、私が受けている授業は全部違う棟なので、家を出る時間にばらつきがあります。徒歩で通学していますが、最近学校に **Lime scooter** というものが導入されました。電動のキックボードのようなものです。アプリで会員登録をすると使えるようになり、走行距離と時間でお金を払うシステムの機械です。食事は基本毎日自炊しています。アメリカではジャスミン米が多く売られていますが、日本のお米のようなものも売っています。スーパーへ行くには30分歩くかバスに乗っていきます。休日は、食料品の買い物をしたり寮についているジムに通ったりして過ごしています。

留学種別	認定
留学先大学	カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校 English Language Program はレベル1－6まであり、授業の始まる1週間前にオリエンテーションを行い、その時にエッセイを書きレベル決めを行います。例外として進級したりもします。さらに、Session A が終了した時点の成績次第で進級するか否かが決まります。

コースの内容としては、主に、Reading(R), Writing(W), Grammar(G), Listening(L), Speaking(S), Communication(C)で構成されています。午前中授業の前半(9:00-10:50 or 9:00-10:20)は Reading, Writing, Grammar の授業で、後半(11:05-12:25 or 10:35-12:25)は Listening, Speaking, Communication です。後半の授業はレベル3クラスと合同で授業をしていました。レベル5はレベル6と合同で授業を行います。また、火曜日と木曜日は、午後の授業(AC)があり、レベル4－6の生徒は3つの選択肢(Life Skills, IELTS, TOEFL)があり、自由に選ぶことができます。授業後はクラスルームで自習したり、時折カンバセーションを設ける日があります。

クラスの人数としてはレベル4は3人で、レベル3の生徒を合計すると、10－13人でした。レベル5と6は合計で16人です。

日本10% 中国40－50% 台湾10% サウジアラビア、イラン、モンゴル、カタル 他

月曜日	(R)(W)(G) 9:00-10:50	(L)(S)(C) 11:05-12:25
火曜日	(R)(W)(G) 9:00-10:20	(L)(S)(C) 10:35-12:25 (AC) 1:15-2:35
水曜日	(R)(W)(G) 9:00-10:50	(L)(S)(C) 11:05-12:25
木曜日	(R)(W)(G) 9:00-10:20	(L)(S)(C) 10:35-12:25 (AC) 1:15-2:35
金曜日	(R)(W)(G) 9:00-10:50	(L)(S)(C) 11:05-12:25

### II. 生活状況

ホームステイ先の環境としては、プライベートルーム（ベッド、勉強机、テーブル、クローゼット）、プライベートバスルーム、インターネットがあります。さらに、周りにはマーケットやレストランがたくさんあるので、環境的には非常に良いです。通学方法としては、バスを使って大学まで行きます。所要時間は20－30分です。ダウンタウンまで直通で行くバスもあるため非常に良い環境です。食事に関しては、平日は朝食、夕食を提供、休日は3食提供してくれます。平日の買い物としては、お菓子や水程度しか買いません。休日の過ごし方は、土曜日、日曜日のいずれかの曜日に観光地やショッピングモールを訪れたりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	カンザス州立大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

秋セメスターは ELP の授業しかとっていませんでした。Writing, Listening, Speaking, Reading の四つです。どのクラスも 15 人前後の規模でした。Writing と Reading は毎日あり、月・水・金は 50 分授業、火・木は 75 分授業です。Writing は 50 分授業と 75 分授業で授業内容が変わり、50 分授業だと文法、75 分授業だとエッセイやリサーチペーパーを書くために必要なことを習う授業でした。Listening と Speaking は月・水・金の 50 分授業しかありませんでした。クラスメートは中国、サウジアラビア、パラグアイ、韓国、ベトナム、日本からの留学生でした。特に中国とサウジアラビアから来た生徒が多かったです。

授業形式としては基本的には講義なのですがグループでディスカッションをする時間もたくさんありました。

各クラスにそれぞれ教科書があり、Writing と Reading は二冊ずつありました。どの教科書もかなりボリュームのあるものでした。授業は科目にもよるのですが、基本的に先生の作ってきたプリントと教科書を中心に進められます。宿題はほぼ毎回出ました。毎日出るものなのでそれほど大変なものはありませんでした。教科書の問題演習や単語の意味調べ、リスニングですと、予習としてレクチャービデオを見てメモをとる、というものもありました。

大学の設備として、自習場所が少ないなと感じました。一番大きな大学図書館は私が到着する数カ月前に起きた火事の影響で来年の 12 月まで使えなくなってしまっていて、静かで夜中まで空いている自習場所がない状態です。そこで学生はみんな大学内にいくつかあるコーヒーショップで勉強したり、食堂でご飯を食べたあと長居をして勉強したりしています。私も夜 12 時まで空いていて自分の寮と隣接しているコーヒーショップや食堂でいつも課題を終わらせていました。

### II. 生活状況

私の寮はいくつかある寮の中でも二番目に古い寮で、一番古い寮は現在リノベーションを行っているので事実上一番古い寮です。設備は各フロアにバスルームがひとつあり、トイレが 4 つ、シャワーが 4 つ、水道が 8 つあります。またエレベーターもあります。洗濯は地下にランドリールームがあるのでそこまで洗濯物を持っていかなければなりません。洗濯機と乾燥機はたくさんあるのですが実際に使える台数は少ないと感じました。洗濯機も乾燥機も一台使うのに 1.5 ドルかかります。現金は使えず、学生証の中にお金をいれてビザカードのように使えます。共用のキッチンも地下に一室だけあります。キッチンを使うためにはフロントで鍵と自分の使いたい調理器具を借りる必要があります。冷蔵庫もそこにあるのですがあまり使われていません。

次に部屋の中の設備をまとめていきます。部屋には机・椅子・ベッド・クローゼット・ゴミ箱・冷暖房があります。シーツや枕などの寝具は自分で買う必要があります。ただ、買うまでは借りることができます。

通学方法は徒歩のみです。一番遠い教室でも歩いて 15 分～20 分程度でした。自転車での通学が一番多いように感じます。キャンパスの外に住んでいる人は車での通学をしている人もいますが大抵のひとは徒歩か自転車です。学生証を提示すると無料でのれるバスも走っていますが本数が少ないうえにいつも遅れてくるので通学に使う人はほぼいません。

食事は 1 週間で 14 回のミールプランをとっているのですが基本的に食堂で食べています。授業の間の時間が長いときなどは朝ごはんのあとに課題などをして食堂で過ごし、そのまま昼ご飯もミ

ールプラン一回分を消費することなく食べるが多かったです。ただ日曜の夜は全ての食堂が閉まるのでどこかに友達と食べにいたり、自分の部屋で簡単に済ましたりしていました。生活必需品などはバスで15分くらい行ったところにあるウォルマートで買っていました。あとは寮の目の前にあるコンビニもよく利用しています。服などは買えるお店が本当にないのでオンラインショッピングを利用していました。

休日はアメフトの試合を見に行ったり、部屋でゆっくりしたり、課題をしたりして過ごしていました。娯楽施設が何もなく、お金を無駄遣いすることがないのでその点は良かったなと思います。

留学種別	TESS II
留学先大学	カンザス州立大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

[コース内容 (授業内容)]

**ESL(本大学では English Language Program)**

[クラス人数、国籍]

15人ほどで国籍は、日本、中国、サウジアラビア、パラグアイの生徒がいます。

[一週間の授業時間割]

クラスによって違いますが、僕の振り分けられたクラスは月水金は50分の授業が4コマあり、火木は75分の授業が2コマあります。

[使用教科書]

Reading: Pathways4 ・ Excise Your Colledge English Skills

Listening: More of the real things

Writing: UNDERSTANDING AND USING ENGLISH AND GRAMMAR ・ UNDERSTANDING AND USING ENGLISH AND GRAMMAR WORKBOOK ・ Great writing from great essays to research

Speaking: Focus on pronunciation third edition

[授業形式]

講義形式ではなく、発言や発表などの多い授業形式です

[大学の学習環境、自習室、教室の設備]

大学のメインの図書館は閉鎖されていて使えませんが、学習をすることができる場所はありません。僕は基本的には寮の自分の部屋でしています。

### II. 生活状況

僕は **Marlatt Hall** という学生寮の2人部屋に住んでいます。特に快適な点は「ありませんが、食事をするダイニングセンターには外に出ることなくいくことができます。大学内に住んではいますが、敷地がとても広いです。僕は歩いて教室を移動していますが、自転車やスケートボードを移動手段にしている人も多くいます。近くのスーパーに行くにはバスを使うか、30分ぐらい歩きます。それか友達に車で乗せて行ってもらいます。休日は主に宿題に取り組むか、友達の家遊びに行ったり、ジムでスポーツをします。

留学種別	TESS II
留学先大学	カンザス州立大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

僕は **Writing Listening Speaking Reading** の四つの授業を受けていました。**Writing** は毎日月曜から金曜まで授業があり、月曜、水曜、金曜日は 50 分授業で文法を学びました。火曜と木曜日はエッセイの書き方や実際に書く練習しました。**Listening** と **Speaking** は月曜、水曜、金曜日にありました。**Listening** では実際の授業の録画を見て、メモを取り、それを見てクイズをやるという事を主にやっていました。**Speaking** では主にクラスメイトと先生が持ってきたトピックについて意見を言い合うという事をやりました。発音の練習をする教科書はあったのですが、ほとんど使いませんでした。**Reading** は **Writing** 同様、毎日授業があり、文章の読み方やそれを理解するために必要なスキルを学びました。クラスメイトの人数は授業によって多少は変わりますが、16 人から 19 人ほどでした。国籍は 4 つのクラスすべてで中国人が半数を占め、ほかにはサウジアラビア、韓国、パラグアイ、ベトナム、インドでした。教室の設備は建物によってかなり違いがあり、歩くと床が少し沈むような教室や、逆に、近代的で最新の設備を備えた建築の棟もあらましました。自習室は寮の各階にあり三人が並んで勉強することが限度の大きさでした。他には 24 時間空いているパソコン室があり、プリンターもありました。

### II. 生活状況

寮の部屋は一番費用の低い二人部屋に住んでいます。バスルームは共用でトイレとシャワー室は 4 つずつあります。各寮の 1 階には売店があり、24 時間いつでも利用することができます。地階にはビリヤード台と卓球台があります。通学方法は徒歩です。食事はミールプランを取っており、週 14 食寮の食堂で食べることが出来ます。食堂は三つあり、**Kramer** が一番新しく、きれいです。買い物はキャンパス内にストアがあり、食料品、電子機器類、教科書、服などを買う事が出来ます。休日は映画をパソコンで観たり、スポーツセンターで運動をしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	サザンオレゴン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### コース内容

IEP は英語が母国語ではない人のためのプログラムで、レベルは6段階あります。プログラム開始前にテストを受け、その結果によってレベル分けされます。レベル6をクリアすることともう一度テストを受けることで学部の授業に移ることができます。

#### クラス人数

自分を含めて4人でした。日本人3人とサウジアラビアから1人です。

#### 時間割

月曜 Reading と Writing 火曜 communication と grammar 水曜 Reading と Writing  
木曜 Communication と Grammar 金曜 Reading と Writing

#### 使用教科書

Q; Skills for success, Level 4 Reading + Writing

Q; Skills for success level 4 Listening + Speaking

レベル6では、この二つの教科書を使用しました。

#### 授業形式

授業は自分の時は人数が少なかったのでゼミ形式でした。少し教授が講義をしてからは自分たちで問題を解いたり、答えをこたえたりします。大体は宿題にされたものを授業で確認をするという形でした。

#### 大学の学習環境

Wi-Fi の設備も整っており、インターネットを使うことには問題はありません。図書館の設備はとてもよく、テスト週間になれば深夜まで使うことができます。通常は 11pm まで使うことができます。

### II. 生活状況

#### 宿舎の設備

自分は Greensprings という寮に住んでいます。ここは一番古く一番安い寮です。キッチン、トイレ、シャワーは同じフロアの人と共有です。すべてのフロアにはレジデントアシスタントの人がいるのでわからないことがあればなんでも聞くことができます。この寮では様々なイベント、例えばみんなでゲームをしたり、クッキーをつくったりといろいろな人と交流することができます。

#### 通学方法

徒歩 5-15 分にすべてのキャンパスがあるので徒歩で通学できます。

#### 食事、買い物

寮に入るとミールプランをとらなければいけません。なのでミールプランで過ごしています。レストランはすごく大きく様々な食事が用意されており、バイキング形式で好きなものを選ぶことが可能です。買い物は近くにスーパーマーケットやダウンタウンがあるので簡単にすることができます。

#### 休日の過ごし方

大学の周りには正直なものもないので、ジムでトレーニングをしたり、大学のスポーツチームの試合を見たりしています。宿題が多いので宿題だけで一日が終わることもあります。

留学種別	TESS II
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

回答が遅れてしまいすみません。

授業について。私は **ESL** 2つ、学部授業2つの計4つを履修中です。**ESL** は小規模のクラスでアジア人が大半を占めています。黒人も何人かいますが授業自体はそこまで活発的とは言えません。**NUFS** の英語の授業の延長上といった感じですがやはり使用単語の難しさ、南部特有第二言語としての英語話者特有のアクセントに苦しめられています。学部授業は人類学と世界史の基礎を学んでいます。どちらも一度も学んだことの無い分野で苦戦しています。講義形式なのであまり発言の機会はありません。パワーポイントを活用してくれる先生の場合、比較的簡単に授業に参加できますが、授業の75分間話し倒すタイプの先生に当たるとテスト前の復習に多大な時間を費やす必要があります。**ESL** も学部授業も教科書を買いましたが（世界史は追加教科書まで）学部授業ではあまり授業中には使用しません。

図書館の設備が整っていて、また現地の友人もサポートしてくれるのでテスト勉強で困ることはあまりありません。

### II. 生活状況

学生寮の立地は良いです(通学は徒歩です)が、部屋はあまり住み心地が良いとは言えないかもしれません。建物が古いのと、造り(ドアの下の空間が広い)などで騒音に悩まされることもあります。また、大学自体が田舎にあるため、車を待っている友人の存在が欠かせません。自転車も半期30ドルで大学から借りましたが、最寄りのスーパーに行くのも様々な危険(道の不整備、街灯がなく自転車にも電気がない、荷物が多い)が伴うため友人たちに頼りっぱなしです。休日は主に友人と買い物に行くか映画を見に行くかサバンナ(車で1時間ほどの比較的大きい街)に遊びに行くなどしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

授業の内容は、ESL の授業が 2 つで、学部授業が 2 つでした。学部授業は「Intro to International Studies」と「Global Sociology」という授業でした。ESL はもちろん留学生しかいなく、約 16 人が授業を受けていました。NUFS からの留学生が半分、そして多い順で中国人、アフリカ人、韓国人の留学生でした。学部授業は「Intro to Internacional Studies」は約 20 人の授業で、世界で起こった出来事、ブラジルの奴隷制度などや権利とは何か、国とは何かなどについてやりました。定期テストが 3 回、定期レポートが 4 回、Document Analysis という記事の一つを選び、分析してレポートを書く課題が 1 回ありました。「Global Sociology」では経済的、政治的観点から見て、世界の国際化についてやりました。授業の最初に毎回小テストがあり、ディベートが 3 回、レポートが 3 回でした。小テストはマーク式で、そのためのマークシートを買う必要がありました。「Global Sociology」は Intro ではないけれど、普通に取れる授業でしたが、わからない単語が多く、事前に記事や教科書を読まなくてはいけなかったのですが、そこですごく苦戦をしました。ESL は「Speaking & Listening」の授業が月曜日と水曜日の 17:30-18:45 で「Writing & Reading」の授業は火曜日と木曜日の 15:30-16:45 でした。学部授業は「Intro to International Studies」が月曜日、水曜日、金曜日の 10:10-11:00 で「Global Sociology」は火曜日と木曜日の 11:00-12:15 でした。ESL の「Writing&Reading」と「Global Sociology」は教科書を買う必要がありましたが、他の 2 つは先生がプリントして作ってくれたり、他のところからの記事を参考に授業をやりました。

課題の提出は folio という学校のサイトで提出することが多く、授業で使う教材も folio で見るものが多かったです。なので、学校でパソコンが使える場所を主に活用しました。学校の図書館や Russel Union という建物、寮の Clubhouse などです。授業は全部、講義形式でした。

### II. 生活状況

寮は一部屋に 4 人で住み、私のところはデンマーク人が一人、アメリカ人は二人でした。それぞれ自分の部屋と洗面所を持っていて、キッチン、トイレは共用でした。寮内にはプールやビリヤードができる Clubhouse がありました。半期で約 17 万のミールプランがあり、学校で食べることもできるのですが、私は自炊をしました。スーパーは寮から少し遠いので、学校から自転車を半期で 30 ドルで借りて、買い物に行っていました。水曜日にシャトルバスがあり、スーパーまで連れてもらえるのですが、授業とかぶっていたので、利用できませんでした。学校が広いので、自転車は通学にも使用しました。International Extended Family Club に所属し、現地に住む家族と交流をしたりして、日曜日の朝は大体その家族と教会へ行き、アメリカの宗教に少し触れました。学校にはジムもあったので、健康的に過ごすため、何回か行きました。卓球やバスケットボール、バレーボールなど、いろんなスポーツもできました。休日ではたまにアメリカ人の友達と出かけ、自分の住んでいるところやジョージア州がどんなところなのかを知ることができました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

英語のクラスを二つ、中国語のクラスを一つ、**American Government** という学部の授業を一つ、計4つの授業をとっています。英語のクラスは75分の授業が週二回ずつあり、**nufs** の **Core ENGLISH** や **Writing** とあまり変わりません。中国語のクラスは50分の授業が週三回あり、私は初級をとっており、時々簡単だと感じることもありますが、リスニングやスピーキングを重視した授業のため、ためになります。学部の授業は75分の授業が週二回あり、毎回約20ページ教科書を読んで質問に答えるという課題があります。また授業は先生の質問に生徒が手を挙げて、または先生が指名して答えていくような形式です。**PowerPoint** などスライドを使わないため、英語を聞き取るのがとても大変です。月曜日から木曜日までは授業が二つずつ、金曜日は一つだけ授業があります。学校の図書館は広く、**Quiet space** があるので学習しやすいです。

### II. 生活状況

寮は必要な家具がそろっています。また部屋には個別に洗面台があり便利です。私は二人のアメリカ人と一人のドイツ人のルームメイトと暮らしています。皆優しく、ルームメイトには恵まれたなと思います。私は自転車を借りたので教室までは自転車で行ってます。約5分で着きます。歩いても10分ほどで着きます。大学には小さなコンビニが二つほどありますが近くにスーパーなどはありません。スーパーに行くときは自転車で20分かけていくか、車を持っている友人に連れて行ってもらってます。大体週に一回のペースで行きます。休日はホストファミリーの家に行って一緒に映画を見たり料理をしたり、学校にイベントに参加したり、宿題をします。

留学種別	TESS II
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

前期は **ESL**、後期は学部を選択したのですがこちらではあまりそれを関係無く、最初の頃から学部授業が選択できます。**ESL** の授業ではみっちり英語の勉強をするのかと思ってたんですけど、授業数も少なくびっくりしました。

**ESL x 2 (reading & writing, speaking & listening)**

**English Composition class**

**Spanish class**

75分/中国、韓国、南米、北欧 20人程度

学期が始まる前に **replacement exam** をしてどのレベルの **ESL** か学部の授業を取るべきなのかなどアドバイザーと相談して履修します。

教科書等はネットなどで安く買ったりできます。

### II. 生活状況

寮は4人でアパートに住んでるが個室でプライバシーが結構あります。

クラブハウスという寮全体の共同スペースでパソコンが設置されていたり、楽しむためにビリヤードやビデオゲーム等やプールもあるので空いている時間に自由に遊べますし、水やコーヒーなども貰えたりします。

月に1度程度で様々なイベントのようなものがあって、だいたい **free food** が準備されているのでとてもお得だと思います。

オンキャンパスに住んでいて、横断するだけで学校に着きますのでとても快適です。

しかしキャンパス自体はとても広いので、大学の自転車をレンタルすることもできるし、キャンパス内にシャトルバスも利用することができます。

私は自炊してます。スーパーは少し遠いので(徒歩30分)車持ちの友達にお願いしたり、レンタルした自転車を使って買い物してます。残念ながら、寮にはキッチン器具が何もないので買う必要があります。私の場合はアメリカ人のルームメイトがキッチン器具など全部持ってきていたので、共同に使わせてもらってます。また寮のすぐ近くに **subway** や **domino pizza**、学堂でも食べるすることができます。

休日は教会に行ったり、学校のジム行ったり、友達と遊んで過ごしてます。

留学種別	TESS II
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

ESL×2 (ライティング&リーディング、スピーキング&リスニング) 中国人、韓国人、南米、アフリカ系/20人

Composition 中国、韓国、南米、北欧/20人程度

中国語 アメリカ、フランス/5人

登録方法：語学テスト後、アドバイザーと相談しスペースのある授業をとってもらう。

月 12:20-13:10 17:30-18:45

火 12:30-13:45 15:30-16:45

水 月曜と同様

木 火曜と同様

金 12:20-13:10

すべてゼミ形式

### II. 生活状況

寮は予想より綺麗で、入った時から破損などもなかった。ベッドの高さは勝手に自分で直すのが禁止されており、直したい人は業者に頼まなければならなかった。水、コーヒーなども貰えたり、イベントのようなものも月に一度以上あったり、プールの無料解放など、他の部屋に住む人達との交流もできた。

学期内は自転車を1 Semester 30ドルで借りて通学していた。校内が広いので自転車があると便利だと感じた。

買い物には借りた自転車で近くのスーパーに行っていた。食堂のミールプランが高かったため、そこで食料を買い、サンドウィッチなどを作って食べていた。たまに近くのファストフード店で食べたり食堂へ行って食べたりしていた。

休日は勉強やジム、友達と遊んで過ごした。

留学種別	TESS II
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

- ・授業内容は社会学と人類学、ESL94(Reading, Writing)、ESL95(Speaking, Listening)を履修しています。
- ・学部授業の人数は 50 人から 100 人程度で、生徒の大半はアメリカ人です。
- ・私の一週間の時間割は月曜日と水曜日、金曜日に社会学 (12:20~13:10) と月曜日と水曜日に ESL95 (17:30~18:45) と火曜日と木曜日に人類学 (9:30~10:45) と ESL94(12:30~13:45)を履修しています。
- ・社会学では Dalton Conley 著、"You May Ask Yourself"を、ESL94 では Trudy Smoke 著、"A Writer's Workbook - A Writing Text with Readings"、人類学では Raymond Scupin と Christopher R. DeCorse 著、"Anthropology - A Global Perspective Eight Edition"を使用しています。ESL95 に関しては、毎回の授業で先生がプリントを配布して下さいます。
- ・学部の授業形式は講義形式で、ESL の授業形式は発表の機会があったり話し合いの機会があったりします。
- ・大学の教室は基本的にどこにもスライドが用意してあり、ホワイトボードを使う機会はほとんどありません。図書館では全階飲食可能で、私語をしても良い階としてはいけない階は分けられています。さらに、図書館はとても広くソファやカフェ、PC が設置してある場所、議論できる部屋があるので充実しています。

### II. 生活状況

寮の共同スペースにはキッチン、冷蔵庫、オーブン、電子レンジ、洗濯機、乾燥機、リビングがあり充実しています。個人の部屋には机、ベッド、タンス、洗面所、バスルーム(共同)、トイレ(共同)が設置してあり不自由はないです。何か問題があった時はオフィスが寮にあるので、そこで相談できます。

通学方法は人それぞれですが、多くの生徒は徒歩通学です。私は自転車を借りたので、1 期の間は自転車通学ができます。自転車がないと生活が困難です。学期の初めにレンタルする機会があるので利用すべきです。

食事は朝はシリアルで昼はサンドイッチなど、夜は外食です。

休日は友達の家でどこか出かけたり、夜にはパーティやゲームをしたり、勉強や休息のために一人の時間を過ごしたりしています。

ジョージアサザン大学は北アメリカの南のほうに位置するため比較的気温が高く 10 月の半ばまで半袖で生活しています。しかし、ハリケーンが去ったあたりから急に寒くなるので気を付けたほうが良いと思います。

比較的大きく、元気なゴキブリも出るので殺虫剤は買うことをおすすめします。

留学種別	TESS II
留学先大学	ジョージアサザン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

ライティングクラス二つとスピーキングクラス一つと学部授業を一つ取っています。ライティングとスピーキングのクラスはどちらも15人以下の少人数のクラスで国籍はアジアが多いです。学部授業は40人くらいで人数が多いです。私たち nufs からの交換留学性が一番多いのでクラスには日本人が一番多くて、あとは中国・韓国・北アメリカ・南アメリカ・南アフリカ・ヨーロッパの人たちがいます。一週間の時間割は、月曜と水曜、火曜と木曜で同じ時間割で、月曜と水曜は5時半からの授業一コマ、火曜と木曜は9時半から一コマ、12時半から一コマ、15時半から一コマの計3コマの授業があります。私の時間割では金曜は授業がありません。教科書はかなり分厚くて白い紙でできたものを使用します。授業形式は授業によって異なりますが全体的に話し合いの時間が多かったり、プレゼンがあったり、ディベートがあったりします。一人で黙々と授業を受けるというイメージよりかはみんなが授業に参加しているという感じです。ディベートの際はみんな積極的に発言していて日本とは全然違うなと思いました。図書館にはスタディールームというものがあって、個室があります。その中であれば会話ができるのでグループで話し合いたいことがある時に便利です。またフロアは4階までありますが1、2階は話してもいいエリア、3、4階は静かに勉強するエリアになっています。

### II. 生活状況

4人部屋の寮暮らしです。トイレとバスは2人ずつでシェアします。これまでに部屋にゴミブリが2回出ました。全体的にはいい寮だと思います。通学には歩いたり自転車を使ったりします。自転車は学期の初めに大学でレンタルできて、学期の終わりまで借りれます。確か30ドルで借りました。食事や買い物はウォルマートへ買いに行きます。交通の便がないので現地の友達に車で連れて行ってもらいますが、たまに食料を切らしてしまった時は近くにあるファストフード店で食べたりします。お昼は大学内にあるファストフードを友達と食べることが多いです。休日は現地の友達と遊んだりします。予定が何もなければ寮にあるビリヤードをしたり部屋で宿題したりして過ごします。

留学種別	TESS II
留学先大学	テキサス大学サンアントニオ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

EIP という ESL に類似したコースでクラスは全部で 4 つあります。ライティング、リーディング、コミュニケーションと TOEFL の対策クラスです。履修登録は自動的に登録されており、クラスは 15 - 20 人ほどの生徒で構成されています。朝 8 時から 12 時までのクラスが月曜から金曜まで毎日あり、授業形式はほとんどが講義形式に近いですがグループディスカッションやプレゼンテーションも多く行いました。いろいろな国籍の方がいて年齢層も幅広いためいろいろな価値観を知ることができとても充実しています。月に一回ほど先生主催のご飯会があり、そこでは普段ゆっくり話せない先生方ともいろいろな話をする事ができてとても楽しかったです。

### II. 生活状況

私は寮で生活しており、ミールプランをとっているのですが毎日いろいろな料理を食べることができるので自炊に比べてバランスのとれた食事ができていると思います。寮には各階に寮長がおりにか困ったことがあればサポートしてくれるのでとても助かっています。また私は FSA というクラブに所属しており、そこでは私がやりたかったダンスをしていて 10 月には大会にも出場しました。初めは緊張してなかなか話せませんでしたがクラブ内の歓迎された雰囲気のおかげで積極的に話すことができ、今ではみんなでご飯を食べに行ったり勉強したりしてとても楽しい時間を過ごしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	テキサス大学サンアントニオ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

**Reading**, 教科書を二冊使用し、そのうちの一冊は **NUFS** で使用したのと同じ教科書だった。もう一冊は一般図書で、学校付近の本屋で購入した。

**Writing, Grammar** 一学期にエッセイを2つ書いた。月水が **Grammar** で、金曜が **Writing** の授業だった。一週間に一度、各チャプターの文法確認テストがあった。

**TOEFL**, 教科書に沿って、先生が内容を説明し、授業内で練習問題をする形式だった。

**Oral communication** スピーキングを主に鍛える内容だった。中間テストはプレゼン形式だった。各クラスとも、多くても10人、少ないクラスでは6人だった。わからないところがあればすぐに先生に聞ける環境だった。メキシコ出身の生徒が多く、スペイン語が多く聞こえてきた。サウジアラビアや韓国、中国、ベトナム、キューバ、など様々であった。

月水金と火木でそれぞれ同じであり、前者は **Reading, Writing/Grammar**、後者は **TOEFL, Oral Communication** だった。

### II. 生活状況

私は、プライベートルームのある部屋を選択したので、個人のベットルームとバスルームがあった。キッチンと冷蔵庫、リビングは共同だった。時々ルームメイトが夜にパーティーをしている時があり、それが気に入らない点だった。寮の近くに、キャンパスへ向かうシャトルバス乗り場があったので、雨の時に多く利用していた。普段はほとんど歩いて通っていた。学校から一番近いスーパーマーケットは、車が無いと行けないです（もしくはバス）。私は車を持った友人がいたので、毎回お願いして乗せてもらっていました。歩いてでは、とても無理な距離です。休日は友人宅に遊びに行ったり、家で課題をしたり、買い物に出かけたりしました。

留学種別	TESS II
留学先大学	デッキンソン州立大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### High Intermediate ELL

7:30-8:45 Mon. & Wed.

講義形式 English class 主に grammar, vocabulary, writing を勉強する。単語クイズ、中間テスト、期末テスト、ライティング課題あり。生徒数3人（日本2人、ウクライナ1人）

教科書 GRAMMAR AND BEYOND 3 CAMBRIDGE

Writers at Work CAMBRIDGE

Introduction To American Government

10:00-10:50 Mon. & Wed. & Fri.

講義形式 America の政治を勉強する。中間テスト、クイズ、期末テスト、リサーチプロジェクト(8ページ)あり。生徒数約15人（日本人1人、他アメリカ人）

教科書 American Government and Politics Today The Essentials 2017-2018 Education

College Writing

14:00-14:50 Mon. & Wed. & Fri.

講義形式 1セメスターで5つのエッセイを書く。生徒数約15人（日本人2人、ナイジェリア1人、他アメリカ人）

教科書 Diana Hacker and Nancy Sommer's Rules for Writers

Intercultural Communication

13:00-13:15 Tue. & Thu.

講義形式 ディスカッション、プレゼンテーション(2回)、ファイナルプロジェクト(6-7ページ)異なる文化を通してのコミュニケーションの違いを学ぶ。生徒数約15人（日本人1人、フィリピン1人、ケニア1人、他アメリカ人）

教科書 Intercultural Communication Seventh Edition by James W. Neuliep

University 109

17:00-18:30 Thu.

講義形式 全てのインターナショナル生(1年生)は受けなくてはならない。アメリカ、ノースダコタ州、または大学の制度を学ぶ。生徒数7人（日本人2人、ロシア1人、ウクライナ1人、ズンバブエ1人、ガーナ1人、カナダ1人）

教科書 なし

Flute Lesson

11:30-12:00 Tue.

フルートのレッスン 生徒1

Band Concert

15:00-15:50 Mon. & Tue. 18:00-19:30 Thu.

月に約1度あるコンサート、バレーボール、バスケットボールなどの試合で演奏する。

生徒数約20（日本人1人、ロシア1人、他アメリカ人）

図書館に自習室あり。教室は常に清潔適度な温度が保たれている。特に問題なし。

### II. 生活状況

2人部屋だが現在ルームメイトがいなかったため1人で使用している。トイレ、シャワーは4つの部屋で共有。

寮はキャンパス内のため教室まで徒歩3分程度である。

食事は meal plane を使用しカフェテリアである。主にピザ、パスタ、ハンバーガー、サラダなど。

車がないとどこにもいけない。

休日は主に課題と睡眠。

留学種別	TESS II
留学先大学	テネシー大学チャタヌーガ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### 授業内容

英語—論文など主にライティングの練習

地理学—国の特色、文化について。またグーグルアースを使用

心理学—心理学入門、基礎知識の習得

世界史—1400年から現代にかけて

クラス人数

英語、世界史 20名ほど

心理学、地理学 30~40名

一週間の時間割

月 地理学 9:00-9:50、英語 12:00-12:50、世界史 15:25-16:40

火 心理学 15:05-16:20

水 地理学 9:00-9:50、英語 12:00-12:50、世界史 15:25-16:40

木 心理学 15:05-16:20

金 地理学 9:00-9:50、英語 12:00-12:50

使用教科書

英語—"Immigration Essays" by Sybil Baker, "Navigating Rhetoric and Composition" by Lisa Ede  
(大学が出版したもの)

地理学—"Contemporary human geography" 4th edition by James M. Rubenstein

心理学—"Psychology" OpenStax

世界史—"The Essential World History - Volume 2 since 1500" by William J. Duiker and Jackson J. Spielvogel

授業形式

すべて講義型。英語の授業に関してはグループワークを行うこともある。

大学の学習環境

学習環境はとても良い。大学内にある図書館も24時間営業しているので夜遅くまで勉強することが可能。また、図書館の設備が整っており、個室の自習室の予約やパソコン、カメラ、充電器の貸し出しも行っている。またパソコンもたくさん設置しており様々なプログラムやアプリが導入されているのでわざわざ自分のパソコンで購入する必要がない。また、ライティングセンターという論文や様々な文章を添削してくれる場所があるのでとても便利である。

### II. 生活状況

#### 寮の設備

自分の部屋があるので一人に時間が確保できてよい。窓があけれないので換気ができないがキッチンも広くアパートみたいな感じで住みやすい。しかし必要最低限のものしかないのが最初に食器やフライパンなど生活必需品をそろえるのに予想以上の出費となった。

通学方法

キャンパス内に寮があるので徒歩通学

食事や買い物

ミールプランがあるのでできるだけそれを使い切るようにキャンパス内で買っている。しかしバリエーションがジャンクフードばかりなのでスーパーで野菜や果物を購入し、自炊もしてい

る。最寄りのスーパーが徒歩 30, 40 分なのでルームメイト、バディ、友達にクルマで連れて行ってもらっている。

#### 休日の過ごし方

大学主催の留学生向けのイベントがたまにあるのでそれに参加。友達やルームメイトと食事に出かけたり映画を見たりする。キャンパス内の事務で運動することも。基本的には部屋でゆっくりしたり宿題や家事をすることが多い。

留学種別	TESS II
留学先大学	テネシー大学チャタヌーガ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

**Cultural Geography** は大講義形式で週 3、月 2 程度で **Google Earth** を使った課題が 6 つと試験が 3 つあります。**Rhetoric and Composition I** は週 3 で、毎日ライティング又はリーディングの課題をこなしながら、3 つのエッセイプロジェクトを完成させます。授業は 20 人程度で、授業内でディスカッションや意見交換を行います。**World History** は週 2 で授業があり、2 回のオンライン試験と、期末はペーパー試験があります。更にエッセイとリサーチペーパーが課題として出ます。**Psychology** は週 2 回で、4 回の試験があります。**Rhetoric + Composition** 以外はすべてパワーポイントで授業が進められます。全授業教科書はありましたが、授業内では特に使っていません。試験もパワーポイントや授業内で口頭で伝えられた内容から出題されます。大学の図書館は 24 時間空いているので、寮で集中できないときはとても便利です。**WiFi** の繋がりも良く、飲食も可能なうえに、ソファもいくつかあるのでリラックスできます。

### II. 生活状況

**Stophel** という寮に滞在しています。大学まで徒歩 5 分ほどで、すぐ隣にコンビニとサブウェイがあります。寮は 4 人でシェアですが、各個人にベッドルームがあり、バスルームは 2 つついています。キッチンとランドリーは部屋に付いています。**Stophel** の **Go Global** コミュニティは留学生が多くいるので文化交流がとても盛んです。食事はミールプランを使って学内で食べたり、時々自炊したりしています。平日は学生証を見せれば無料でバスに乗ってショッピングモールやスーパーに行けるのでとても便利です。徒歩 20 分程度でダウンタウンへも行けます。クライミングクラブに所属しており、週 1 で集まりに参加したり、**UTC** のアウトドアトリップに参加して交流の輪を広げています。基本的に土日のどちらかは課題で潰れますが、金曜の授業後や休日は友達とよく遊びに行ったりもします。

留学種別	TESS II
留学先大学	テネシー大学チャタヌーガ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### ○コース

#### ESL 選考。

#### ○クラスの様子

帰国前に受けたテストによって6つのレベルに分かれており、わたしはレベル4。国籍は中国人2人、日本人私を含め3人、ブラジル人1人、ドイツ人1人、ベネズエラ人1人、インド人1人、ベトナム人1人の計10人の小人数クラス。発言がとてもしやすく、先生や生徒の仲が良い。午後の授業はレベル3の生徒3名と合同で行う。

中間テストで帰国前と同じテストを受けたら、点数が倍以上上がっており、余裕で上のレベルに上がる点数になっていてうれしかった。

#### ○授業

午前中は文法、リーディング&ライティングを中心に行い、午後はリスニング&スピーキングを行う。授業時間は9時～15時(間1時間昼休憩)を月曜～木曜まで同じスケジュールで行う。ユニットが終わるごとに小テストが行われる。

#### ○使用教科書

grammar

Reading & Writing

Listening & Speaking

Lecture Ready 1

IQ Online

Quiz let

#### ○授業形式

先生が授業を進行し、すべての問題を生徒に答えさせる。PUT 並みの距離感。

毎日課題がでる。

#### ○大学

わたしは勉強は家で行うのが好きなため、寮の1人部屋で勉強を行う。ライブラリーが24時間開いており、次週スペースがたくさんある。日本の図書館と同じくらい静かで空調も管理されているため、自習には最適。

教室は会議室のよう。大きな薄型テレビにパソコンを無線で飛ばし、ワードを黒板代わりに使っている。生徒はノートやテキストに書き込む生徒が多い。

### II. 生活状況

#### ○宿舎

Stophel という UTC 専用学生寮。4人共同リビングルーム、2人共用バスルーム、1人部屋という構図で、アメリカ人2人、日本人1人のルームメイト。ルームメイトには恵まれ、ルームメイトの家へお邪魔したり、一緒にパーティへ参加したりする仲。日本人の生徒とも一生の親友と呼べるほど仲が良い。しかし、ほかの日本人によれば、ルームメイトはその人の運しだい。薬物を行う生徒や、一晩中騒ぐ生徒、男を連れ込む生徒もいるよう。

比較的にきれいな寮で、音漏れのみ気になる。ただ火災のアラームが過敏で、よく追い出される。テロ防止のためか。

#### ○通学

徒歩10分ほど。

#### ○食事

基本的にミールプランを消費するため、学内のカフェテリアやコンビニ、フードコートで済ませる。わたしはもともと食事に変化を求めないので、ほぼ毎昼サブウェイのツナサンド。友達はベーグルやパンダエクスプレスを利用している。

朝ごはんや生活用品の調達のため、近くの大型スーパーのようなところへ買い物へ行く。足はパディや友達の家か、ウーバーを使用。歩いていける距離にもあるため、運動したいときは徒歩で移動。

#### ○休日

わたしは意外と暇な日がない毎日。美術館の日本のイベントのお手伝い、友達と買い物、UTC主催のグローバルイベント、マスコミ業界研究グループの企業と提携した番組作りでつぶれる。長期休暇はルームメイトの実家へ1人でお邪魔した。現地英語ガンガンでついていくのに必死だったが、それ以上にアメリカ文化を深く知り、自分のアイデンティティというものを再確認したとても貴重な経験だった。

留学種別	TESS II
留学先大学	ニューメキシコ州立大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

コース内容：CELP という英語プログラムを取ったため Reading & Vocabulary, Listening & Speaking, Writing, Grammar, Contemporary Topics の五つの授業を取り、週三回と週二回の周期で授業がありました。

クラス人数、国籍：NUFS の留学生二人（自分含む）、中国人三人、メキシコ人二人のクラスでした。

一週間の授業時間割：月水金 Reading & Vocabulary(13:00-14:20), Listening & Speaking (15:00-16:30)、火木 Writing(8:00-9:50), Grammar (10:00-11:50), Contemporary Topics (13:00- 14:50)

使用教科書： Reading & Vocabulary 「READING AND VOCABULARY 4 FOCUS」、Listening & Speaking 「Q:Skills for Success 5」、Grammar「ELEMENTS of SUCCESS」、Writing 「Longman Academic Writing Series 5」 Contemporary Topics 「American Ways」

授業形式：人数が少ないためアクティビティも多く参加型のものが多かったです。講義形式ではなく、ゼミ形式に近い形でした。

大学の学習環境：施設内部も綺麗であり教室の設備もなかなか良かったです。とくに図書館は大きく、一人で勉強するにはとても充実した場所だと感じました。

### II. 生活状況

宿舎の設備：4人2バスルーム、1キッチン、4個人部屋がある状態でした。Cervantes Village という宿舎でしたが古いため虫が入ってくることやシャワーが突然使えなくなることは多々ありました。しかし、Wi-Fi 設備等はあるため生活に十分なものはありました。

通学方法：無料の巡回バスがありますが、片道 15分程度ですので歩いていくことがほとんどでした。

食事や買い物：基本的にはキャンパス内のミールプランに入ったため三食欠けることなく食べることができました。買い物は近くにショッピングモールがあるためそちらに行くかアウトレットモールに行きました。

休日の過ごし方：土日に大学内でのイベントに参加したことや、友達と映画やどこか遊びに行くことが多かったです。

留学種別	TESS II
留学先大学	ニューメキシコ州立大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

ニューメキシコ州立大学の英語学習プログラムを提供する部署、通称 **CELP** においては、英語系が4科目(**Reading & Vocabulary, Writing, Grammar, Listening & Speaking**)、アメリカの文化に関する授業が1科目開講された。基本的にすべての授業は同じクラスメイト(メキシコ人2人、中国人3人、日本人2人、ただしメキシコ人2名ともにアメリカ市民権を保有)であり、このクラスはレベル3(最高レベル)であった。一週間のスケジュールは以下のとおりである(カッコ内は使用教科書名)。

月、水、金曜日

13:00~14:20 Reading & Vocabulary (Reading and Vocabulary Focus 4)

15:00~16:20 Listening & Speaking (Q Skills for Success 5)

火、木曜日

08:00~09:50 Writing (Longman Academic Writing Series 5)

10:00~11:50 Grammar (Elements of Success 2)

13:00~14:50 American Culture (American Ways)

前述のとおりクラスは7名という少人数であったため、クラス内で議論する機会は多かった。またペアワークも非常に多かった。使用した教室に関しては、ホワイトボード、教員用のパソコン、スクリーンなどが完備されており不自由はなかった。また必要に応じてパソコン教室も時折使用した。自習室も存在したようであったが、使い慣れたパソコンを使用したいという考えや、自室から離れた場所にあることから利用したことは一度もなかった。学習環境についても特に問題はなかった。今期は図書館を利用する機会はなかったが、来期からは学部の授業が始まるため利用する機会も増えるだろうと思われる。キャンパス内には少なくとも2つの図書館があり、そのうちの1つは外観から判断するにかなり大規模である。

### II. 生活状況

生活環境は「家賃の割にはそれほど良くはない」というのが正直な感想である。今期住んでいた **Cervantes Village** は全体として設備が比較的古く私の部屋は暖房がつかなかった。またキャンパス内の端に位置しており、学食まで徒歩20分、教室まで徒歩平均15分、洗濯所まで徒歩3分かかっていた。キャンパス内のバス(無料)も存在したが、時間が合わなかったため徒歩で通学していた。食事はミールプランを購入していたため基本的に大学が提供するレストランでとっていた。時折趣味のために寮で料理することもあった。買い物は車を所持している友人に頼み、近くの大型スーパー(片道15分)に連れて行ってもらっていた。また車で45分ほどの場所にアジアマーケットもあったため、たびたび連れて行ってもらっていた。休日は課題、映画鑑賞、趣味である料理のほか、友人たちと出かけたりにあてた。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースアラバマ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

1期は **ESL** を受けていたので、**ESL** の授業について報告します。**ESL** は半年で2セメスターに分かれています。

**ESL** のクラスは5教科（リーディング、ライティング、文法、リスニング、スピーキング）が5レベルに分かれています。最初にレベル分けテストを受けますが、ほぼ確実に日本人留学生はレベル4か5に振り分けられます。ここでレベル5に振り分けられ、1セメスター目で合格しても、2セメスター目にもう一度受ける必要がありました。これで授業料の変更が起き色々大変だったので、授業料をとクラスの数を最初にきちんと確認すると思います。

授業時間は朝9時からお昼を挟んで2時50分までです。毎日5クラスずつあります。

授業内容は、外大生にとっては簡単だと思います。中学高校の内容を復習しているような感じでした。が、基礎力を確実に身につけるという意味でも、真剣に取り組めばためになる授業だと思います。多くの日本人は、簡単でつまらないと発言していましたが、次の方たちには流されずに頑張ってもらいたいです。セメスターの最後に **TOEFL** の **ITP** を受けることができたのですが、スコアが大幅に上がっていて嬉しかったです。**ESL** のアドバイザーの先生が私よりも喜んでくださって、**ESL** を受けてよかったなと思いました。

教科書は1クラス1冊ごと購入する必要があります。新品をそろえると1セメスターで350ドルほどかかります。なので2セメスター目はルームメイトに全て貸してもらいました。全て新品を購入すると奨学金を**ESL** で使い切ってしまうことになるので、せめて2セメスター目は誰かに借りるのがいいと思います。

クラス人数はセメスターによって大きく変わります。夏の間はとても少なかったそうです。

私が受けていた間は、日本人が半分を占めていました。コンゴ共和国、中国、韓国、サウジアラビアの子たちと一緒に授業を受けました。

### II. 生活状況

奨学金が支給される寮は、**Rivers** と呼ばれています。他の寮と比べると狭く、綺麗とは言えませんが、普通に生活はできます。アメリカ人が多く住んでいますが、交流は少ないです。

私は1か月で **Rice** と呼ばれる寮に引っ越しました。**Rivers** の時のルームメイトが日本人だったのと、留学生の子と仲良くなりたかったからです。最初に受け取る案内にはなぜか **Rice** は載っていなかったのが、最初から **Rice** に住めるかは分かりません。寮費は **Rivers** とほぼ同じです。

**Rice** はインターナショナルの子がほとんどです。建物の形式は **Rivers** とほぼ同じですが、トイレとシャワーとキッチンが比較的汚いです。なので、綺麗好きな人には厳しいと思います。ただ私はこの生活が好きです。トイレ、キッチン、部屋から出るとほぼ必ず誰かと会って会話をします。寮の子たちとは大体友達になれます。

どちらも部屋に冷蔵庫などはないです。ついてすぐにシーツやゴミ箱などを買います。

**Rice** は自分から引っ越したので何とも言えませんが、**Rivers** も他の大学の子の話を聞くと少し環境は良くないのかなという印象です。

通学は寮から徒歩15分圏内ではぼどこの教室も到着します。

食事はミールプランの購入が義務付けられているので、自炊はあまり必要ありません。1セメスター過ごしてみて、多いし使い切れないというのが正直な印象です。バイキング形式の食堂、スターバックス、中華料理屋やハンバーガー屋、コンビニなど本屋を除いた校内全ての施設で使えます。

ただ長期休みは全ての施設が閉まるので注意が必要ですし、その間は自炊が必要になります。ウォルマートやターゲット（大型スーパー）への無料バスが毎週土曜日に出ますが、長期休暇中はありません。徒歩ではなかなか行けないので、ウーバーなどを使用することになります。ウーバーは普通に普及しているので大丈夫です。

休日はウォルマートや、アメフト観戦、初期の方は教会にも行っていました。夜は友達の家に行くことも多かったです。のんびり過ごせていたかなあとと思います。寮の五階に共有スペースがあって、そこで友達と朝までおしゃべりする時もありました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースアラバマ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

前期は **ESL** を中心に講義を受けました。**ESL** は1日5コマで月曜から金曜まで9時から3時まで英語を学びます。教科は、文法、スピーキング、リスニング、リーディング、そしてライティングです。毎日同じ授業なので宿題が出るとその日に済ませるのが必須となります。また、1日に3つなどテストの日がちが被るのも珍しくありませんでした。また、**ESL** は前期で2つに分かれており、レベル1からレベル5までクラス分けされていました。日本人留学生のほとんどはレベル4から始めレベル5を前期の後半で受けるパターンが多かったです。クラスメイトはレベルによりますが、今季は人数が多かったらしく、20人ほどいました。また、国籍は日本人を始め、韓国人、中国人、サウジアラビア人やコンゴ人など多国籍でした。授業形式は先生によりますが、クラスメイトとディスカッションするクラスやパソコンを使うクラスや、先生の話を聞く講義式のクラスなど様々な形式がありました。教科書は各授業に合わせた教科書を学内にあるブックストアで購入しました。私が住んでいる寮には自習室が6つ有り、テスト前よく利用していました。教室は少人数だったのでそこまで大きくなく、後ろの席でも授業に支障は出ませんでした。後期は学部の授業を受けており、現在社会学、アメリカ史、アメリカ政治、哲学を受講しています。どの科目も自分の興味があるものなのでとても楽しく、また、宿題や課題、テストが大変だと思う反面、自身が学びたかったことが学べているので勉強面でも充実しています。あと3ヶ月しかないと思うととても残念に思い、今後の生活で悔いのないように過ごしていきたいと思っています。

### II. 生活状況

寮は前期と変わらず、環境もほとんど変わっていません。校内ほとんどの教室は徒歩10分圏内にあるため、朝は時間に余裕があります。食事は学期初めに払うお金でほとんど賄え、外食する時のみのお金になります。休日は友達と遊んだり、課題をしたり、教会に行ったりと充実した日々を過ごせています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースイースタンイリノイ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

授業は、1期は英語の授業を2つ、シネマとジェンダーの授業を1つずつとっていました。そして今期は、言語学の授業を2つ、スパニッシュダンスクラス、現地の生徒がどのように日本を学んでいるか興味を持ち日本文化のクラスをとっています。クラス人数はそれぞれですが、基本的にそんなに多くないです。一番少ないクラスでは5人というクラスもありました。国籍は、本当に様々でそのおかげで慣れない新しい授業で日本人でもうまく馴染むことができているように思います。1週間に私の場合、授業は月曜から木曜までで、金曜はクラスがないです。75分×週2回か、もしくは2時間40分×週1回のクラススケジュールです。教科書は日本に比べてどれもとても高いので、多くはアマゾンで1セメスターレンタルをしています。授業形式は、ただ聞いているだけというよりはむしろ、突然教授から意見を求められたり、パートナーやグループで話し合いを求められることが多いように感じます。その分よく集中して話を聞いている必要があります。大学の図書館は平日は夜10時45分まで空いていて、4階には様々な分野に特化したチューターがいるので、そこでよく勉強しています。また、リーディングラウンジという勉強スペースも学内にあります。図書館が閉まった後は寮内のスタディールームは24時間使用可能なのでそこへ行って勉強しています。

### II. 生活状況

大学の寮は大学のすぐ隣なのでとても寒いシカゴの冬でも通学に不便もなく快適です。2、3年前にできたばかりで部屋も設備も新しく綺麗です。寮内にはジムやスタディールーム、みんなで遊べるビリードや卓球、ゲームなどができるスペースもあり時々色々な国の友人と集まってプレイしています。食事は基本的に自炊しています。大学にカフェテリアがありますが、ピザやハンバーガーばかりなのでできるだけ自分で作るように意識しています。買い物は、大学から一番近くに **Jewel-Osco** があり、徒歩で10分程度です。**ALDI** も付近にありとても安く野菜やお肉乳製品などが手に入ります。日本の100円均一のような **Dollar Tree** もその近くにあるので寮に移ってからすぐは生活用品をたくさん手に入れるためによく行っていました。大学からバスに乗って15分程度のところにアジアンスーパーもあるので、日本食をゲットするのもそんなに困らないです。金曜日にも私は授業がないので、休日は毎週3日あります。友人とダウンタウンへ遊びに出かけたり、勉強をしたり、寮のなかでも楽しめるので、友人と一緒に食事をしたり映画をみてゆっくりすることも多いです。休日やホリデーには不定期に、ダウンタウンにある美術館や博物館、水族館や観光地として有名な様々な場所の入場料がフリーになったりするので、ネットで定期的にチェックするといいいと思います。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースイースタンイリノイ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

現地大学では3単位の授業を4つ受講するのが条件で、自分の場合は、Developmental Writing Workshop III(英語), Principles Of Microeconomics(経済), Social Inequalities And Social Changes(社会), Music Concept(音楽)の授業を取りました。時間割は一つの授業が週に二回1時間15分程度か週に一回で3時間で、月曜と水曜日に社会の授業、火曜日と木曜に音楽と英語の授業、金曜日に経済の授業でした。同じ授業が複数開講されるので、自分の取りやすい時間を選ぶことができます。ただし、現地に到着して最初の履修登録は現地についてからするので、もう現地の学生が履修登録を済ませた後で取れないこともあります。授業内容は英語は主に文法についてとエッセイの書き方について、音楽はリコーダーの吹き方と楽譜の読み方、また、楽器の種類について、経済は、基礎的な需要と供給についてを学んだあと、状況の変化による需要と供給の変化、社会はアメリカのいろいろな社会格差、貧富、ジェンダー、女性差別などです。テストは、中間と期末か授業によっては両方ないものもあります。自分の場合は英語以外中間があり、社会だけは中間が二つ、理由は、二つに分けることにより一回の中間の内容を減らすこと。社会は、おもに毎回授業の前に教科書20ページほどの読んでそれについて授業で話し合うものだったのでテスト一回の内容を減らすという先生の考えでテストがほかのものとは比べると不規則でした。英語はエッセイを四つ提出するので中間がありませんでした。期末はすべての授業ありました。中間も期末もほとんどがマークシートか選択問題だったので留学生でも勉強すれば解けるものが多かったです。TOEFLと変わらないぐらいだと思います。人数は一つのクラスにつき15-人から30+人でした。国籍は、シカゴ自体が多民族な町なのでいろいろな国の人がいました。中米、南米の人が多かったので生徒がスペイン語で会話しているクラスもありました。アジア人は少数で学校の隣に韓国コミュニティーはありますが、授業で一緒になったのは音楽の授業の一人だけでした。授業場所はNUFSと同じで授業によってことなるので、建物の名前と場所を覚えるととても便利です。主に勉強は自分の部屋か寮にある自習室、あとは学校の図書館を使っていました。寮の自習室は、3~5階に5-6人程が勉強できる部屋が2部屋ずつ、6階(最上階)にレクでつかえるような少し大きめ(他の階の自習室二つを合わせた程度)の部屋がありそこで勉強できます。教科書はレンタルできますが、自分は壊してしまっただけで返却できなくなるのが怖かったので中古品をアマゾンで買いました。

### II. 生活状況

寮は学校の敷地内にあり、建ててから3年なのでとてもきれいです。ただエレベータがよく止まり、6階まで階段を使って上がらなければいけなかったことが何回かありました。部屋には、ベッドフレームとベッドマット、勉強用テーブル、クローゼット、洗面台(シャアルーム、2人部屋で1人に1つ)、トイレとお風呂、二つ引き出しがあるドロワー(大体でDxWxH: 45x60x45)が二つありますが、ベッドシーツも何もないので最初行ったその日にある程度そろえなければいけなかったのが大変でした。コモンルームには海外のフルキッチン、複数のシェルフ、電子レンジ、フルサイズの冷蔵庫、丸テーブル、ソファとテーブル、テレビなどが置ける二段の棚があります。部屋はコモンルームともに広めです。食堂や食べる場所はないので自分で作る事がほとんどでした。買い物などはバスや電車が乗り放題のパスを最初にお金を払ってもらったのでそれを使うか(ダウンタウンに行くときにはとても便利)、車を持っている寮に住んでいる友達と一緒に連れて行ってもらっていました。休日はホリデイ期間以外は部屋で課題をしたりゆっくりしたり、留学生や現地の友達と過ごしたりしていました。ダウンタウンに行くこともたま

にありました。ほとんどの留学生が 1 セメスターだけなので留学生のみんなと出かけることが多かったです。上で述べた 6 階にあるレクルームでは、大きなテレビがあり、誰も使っていなければ HDMI ケーブルをつなげてラップトップなどから映画を見たりできます。現に留学生複数人とそこでムービーナイトをしていました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースカロライナ大学グリーンズボロ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私は全ての授業が現地学生に混じっての学部の授業でした。少なくとも NUFSS から UNCG に留学した場合は ESL がないので全て学部の授業を受けることになるのですが、TOEFL の最高スコアが 550 点以上無いと最初の 1 セメスターは大学側から提示されたリストの中から履修することになります。私はスコアの条件を満たしていたのでほぼ全ての授業を自由に履修することができました。私は月曜日と水曜日にコミュニケーション、火曜日と木曜日に社会学と心理学とライティングの授業を履修しました。授業形式は授業によりけりだとは思いますが、私が履修した授業は基本的には講義形式でした。学部の授業なので、当然、現地の学生がほとんどでした。また、大学の図書館が毎日割と遅くまで開いていますし、授業についていける自信がなくても教授に質問すればサポートしてもらえるので学習環境は整っていると思います。

### II. 生活状況

寮の部屋は生活スペースとトイレとシャワールームと洗面所が共用でそれとは別に一人一つ個室があります。寮全体で共用のランドリールームがあるので、洗濯は寮でできます(無料)。ただ、寮そのものは古いのでエレベーターがなかなか動かなかったり、火災報知器がしょっちゅう誤作動を起こしたりします。寮はキャンパス内にあるので授業に行くときは基本徒歩です。自転車やスクーターがレンタルできるので、どうしても歩きたくない人は利用してみるのもいいと思います。食事はキャンパス内のカフェテリアやレストランで摂ることができる他、バス(学生証を使えば無料)に乗ればショッピングモールに行くこともできます。また、キャンパス内のポストオフィスを利用すれば郵便物を送ったり受け取ったりもできます。休日は課題をしたり友達とショッピングモールに行ったりしてました。気力があればキャンパス内のジムを利用するのもいいと思います。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースカロライナ大学グリーンズボロ校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

今期は① Fundamentals of Drawing (Art), ② Contemporary Non-Western Cultures (Anthropology), ③ Introduction to Communication Studies (Communication Studies), ④ College Writing 1 (English)の計4科目を履修しました。私の時間割は月曜日と水曜日、火曜日と木曜日に2科目ずつ、週に2回の授業で、金曜日は休みでした。授業内容について、①は絵を描いて、話し合ったりし、②は講義形式で、何度かテーマに沿った映画を見ました。③は教科書の内容をやったり、グループワーク、スピーチがありました。④は主にエッセイに関するタスクをペア、またはグループで行いました。クラス人数は講義形式だと70人ほどで、④の授業の場合は10人でした。現地の学生との授業がほとんどで、唯一④の授業だけ、日本、中国、サウジアラビア、インドの学生がいました。図書館には学習するスペースが十分あり、学習環境に困ったことはありませんでした。

### II. 生活状況

私の住む寮は4-5人でのシェアルームですが、その中に各個人の部屋があります。私のルームメイトは中国からの留学生、現地の学生2人の計4人部屋で、これまでにキッチン、バスルームなどの共有スペースで大きな問題はありませんでしたが、唯一困った点は、温度調整装置が一つしかないことです。そのため、各部屋で温度調整することはできません。洗濯機、乾燥機ともに無料なのはありがたい点です。ほぼ毎週何かしらのイベントが開かれていて、学生同士での交流の場があります。全体的に整っていますが、騒音や火災報知器の誤作動は気になる点です。通学方法はキャンパス内の寮なので、教室までは遠くても徒歩15分ほどです。食事に関して、私は無制限のミールプランを取っていたので、カフェでほぼ済ませていました。休日は課題をしたり、友達とショッピングセンターへ買い物に出かけたりして過ごしていました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースカロライナ大学シャーロット校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

コース内容は主に英米の学科のクラスとジェンダーのクラス、インターナショナルのを履修しています。

クラス構成は様々大きいクラスから少人数のクラスもありますが今期はレクチャースタイルのクラスを履修しました。

国籍も様々ですがアジアは本当に少ないように感じます。クラスの2%程度です。

1週間に計2時間45分あり、一気にやる長いクラスもあれば、2回、3回と分けて1週間以内にやるものがあります。大体3時間クラスの時は夕方5時頃から8時頃までかかることが多いです。

使用教科書は大体1冊70\$-110\$くらいしました。少し高めですが、中古のものにすれば少しだけ安いです。大学内はとて広く色々なところにいすや机があり、あったかい日は外で遊んだり、昼寝したり、芝生でランチをしたりしています。学生の学習姿勢は日本と比べると大きく違い、居眠りをせず、質問があればすかさず先生の話の割っても聞きます。それから授業内でのディスカッションでもみんな協力し合いながら取り組みます。

私が勉強するときに使う施設はもちろん図書館です。名古屋外国語大学と違い、食べ物、飲み物持ち込み可能ですから、長いこと滞在して、お腹が空いたら友達と買いに行ってもまた戻ってきて食べることができますし、24時間利用可能なので寮の中で勉強できない私からしたら、本当にありがたく勉学に励むことができます。図書館も10階まであり場所がたくさんあります。私のお気に入りのは8階です。人が少ないので静かに綺麗な夜景を眺めながら勉強することができるからです。

### II. 生活状況

宿舎の設備はとても綺麗です。毎朝掃除をしている清掃員の方がいるので綺麗に保たれているのだと思います。友達に会いに行くにも不便がないので凄鬼いいですし、キッチンがあるのでみんなで料理をして一緒にご飯を食べたりしてとても充実しています。通学方法は歩きです。日本にいた頃は授業が始まる1時間半前には家を出ていたのですが、今は授業の30分前に起きれば間に合うのでとてもいいです。買い物に関しては気が向いたときや何か食べたいものがあるときに行きます。基本的に大学内の店でカードを使って食べて、お菓子や飲み物や日用品を買うときに近くのスーパーに行きます。球児エウは友達の家でパーティーをすることが多いです。また近くのショッピングモールに出かけたり外食しに行きます。休日が忙しい毎日の心の癒しです。テスト期間になると図書館で勉強します。

留学種別	認定
留学先大学	ノースカロライナ大学シャーロット校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私は **ELTI** という **ELS** の授業コースを受けています。毎日平日朝 **9** 時からリーディングライティング、10時半からアカデミックグラマー、13時からリスニングスピーキングの授業をそれぞれ1時間半ずつ受けています。金曜日のみリスニングスピーキングクラスはないです。私のクラスは21人でクウェート人の方々が最も多いです。そのほかにもサウジアラビアの方々が多く、アラブ系の方々がほとんどです。日本人は私を含めて3人です。高校生から40代の方まで年齢層は幅広いです。使用教科書は、**Q:skills for success** と **FINAL DRAFT** というものでとても分かりやすい教科書だと思います。パソコンのサイトと連動している教科書なので、クイズに答えて単語を覚えられたりできて便利です。授業は、ペアやグループを作って話し合うことが多いです。講義形式ではなくてみんなで丸を作って話したり、とにかく自分の意見を授業中に言っていくという感じです。特にアラブ系の方々は自分の意見を積極的に言うし自分の意見が必ず正しいと思っているので、初めのほうは自分の意見が言えずやりにくかったのですが今では慣れてきて楽しく授業を受けれています。私はいつも課題を自分の部屋でやるので、自習室や図書室を利用していませんが、周りはよく図書室を夜中まで使用して勉強しています。

### II. 生活状況

私は **Witherspoon Hall** という寮に住んでいます。その寮のなかの一人部屋付きの部屋にしたかったので、少し値段は高くなりましたが、一人部屋付きにしてよかったなと思います。リビングやラウンジに行けばルームメイトや寮生とたくさん英語で話せます。キッチンも備わっているので、自分でスーパーで買ってきたものを保存し料理したりもできるので、この寮の一人部屋付きの部屋がおすすめです。寮自体も清潔に保たれており、寮長や寮生がいい人達ばかりなのでとても住みやすく大満足です。通学は私の教室まで10分で着くので便利です。食事は基本学食で済ませています。バイキング形式なので、自分で健康管理をしながら毎日おいしいご飯を食べています。無料で乗れる電車に乗ればスーパーに行けるので、安く食材を買って作って食べることもあります。休日はお友達と出かけます。車を持っているお友達を作ればいろんなところに連れて行ってくれます。また、自分で電車で最寄り駅まで乗ってウーバーを使うこともあります。基本的には私は毎週遊びに連れて行ってもらって、充実したアメリカ留學生活を送っています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースカロライナ大学シャーロット校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私の留学形態は前半語学学校、後半学部授業です。現在、語学学校を卒業し、次の学期で学部授業に移ると言う状況です。UNCCの語学学校は毎日3つのクラス(Reading&Writing, Academic Language, Listening&Speaking)をこなします。クラスの人数はだいたい10人程度ですが、レベルによって異なります。学期の最初にクラス分けの授業を行い、クラスが決められるので、多いところは20人ほどいましたが、通常は10人前後です。授業の形式は講義形式ですが、クラスメイトのほとんどが発言をするので、とてもアクティブなクラスでした。教科書の使用頻度はクラスによって異なりました。教科書中心で授業を進めるクラスもあれば、先生が資料を用意するクラスもありました。大学の学習環境は非常に整っていると思います。テスト期間や夕方の混み合う時間等は勉強場所を見つけるのに苦労しますが、図書館やカフェテリアなど勉強スペースは豊富にあります。

### II. 生活状況

私は学校内にある寮に滞在してします。四人部屋のなかに部屋が二つあり、二人ずつで部屋をシェアし、四人でトイレ、シャワーを共有しています。ルームメイトは個人によって異なりますが、いまの私のルームメイトは音楽を大音量で聞いたり、友達と電話したり、部屋を片付けなかったりするので、なかなかシェアルームは大変です。個人部屋もありますが、それだと少し費用が高くなります。シェアルームが好きでない人は、少し費用を払って一人部屋を選ぶといいと思います。食事はダイニングルームを利用しています。ビュフェ形式で自分の好きなものを好きなだけ選べます。休日は部屋でゆっくり過ごすかパーティーに行ったりしています。アメリカ人の友達はキリスト教が多いので毎週日曜日に教会に連れて行ってもらってキリスト教文化を学んだりしています。英語の勉強にもなるのでオススメです。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースカロライナ大学シャーロット校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私は、ELTIに通っていました。授業は、Reading & Listening、Academic Language、Listening & Speaking の3つありました。Reading & Listening は、テキストを使って文章題を解いたり、小説を読んで要約したり、クラスの子とグループになって、その小説のトレーラーを作ったりしました。Academic Language は、エッセイや要約の書き方を教わりました。それから、週に一度、記事を読んで、その要約と自分の意見を書いて提出しました。Listening & Speaking は、リスニング中のノートの取り方や大事なポイントを教わりました。それから、食べ物に関する実験をして、その結果をプレゼンしました。最後のテストはディベートで違うクラスの人とディベートをしました。クラスの人気は、10人程度で、トルコ人、サウジアラビア人、マレーシア人が一人ずつとクウェート人が4人と日本人が3人でした。授業の時間割は、月曜日から木曜日が9:00から10:15、10:30から12:00、1:00から2:30で、金曜日が9:00から10:15、10:30から12:00でした。授業形式は、少人数だったので、ゼミ形式に近かったと思います。大学の学習環境はとてもよく、図書館は平日24時間空いていました。そのほかにも、それぞれの建物にもて机や椅子があってどこでも勉強できます。

### II. 生活状況

私は、寮に住んでいます。4人部屋に3人で住んでいて、シャワーとトイレは3人で共有しています。ルームメイトはすごくいい人で不自由はしていません。通学方法は、徒歩です。バスが使いたかったら、無料でバスも使えます。食事は、ミールプランに入っているので、学校の食堂か、学校内のファストフード店で食べることが多いです。しかし、基本的に日本より高い気がします。買い物は、学校のすぐ近くにスーパーがあるので、バスで行きます。休日は、宿題をしたり、友達と遊びに行ったり、学校内に無料の映画館があるので映画を見たり、UNCCのスポーツの試合を見たりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースカロライナ大学シャーロット校
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

\* International Studies 約 30 人 (月水金 10:10~11:00)

\* LGBT Studies 約 30 人 (月 17:30~20:15)

\* Child Lit and Culture 約 100 人 (火木 13:00~14:15)

\* LA(Japanese) 15 人 (月水金 12:20~13:10)

全て講義形式

自室での学習、図書館での学習が基本

図書館は 24 時間空いている

### II. 生活状況

NUFS の奨学金で賄える部屋にはキッチンが無いため不便。共同のキッチンあり。食事は校内の学食(バイキング形式)か、校内にあるファストフード。または電子レンジでできるもの。

キャンパス内の寮のため基本徒歩。

買い物に行く時は、Light Rail があるが、モールなどに行きたい時は車を持っている友人を見つければいい。Uber は高い。

休日は友達と買い物に行ったり、テーマパークに行く。

長期休みには旅行にも行く。

留学種別	TESS II
留学先大学	パイクビル大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

ESL はライティングとリーディングの 2 科目ありました。留学生は少なく、オランダ人 1 人、ペルー人 1 人、台湾人 2 人、外大生 4 人の 8 人クラスでした。ライティングは、エッセイが課題でした。リーディングは、テキストを使用し、課題で読んできた文章を授業で解説する授業でした。この 2 科目以外は学部の授業でした。音楽の授業は歴史上の有名な作家などについて勉強しました。月曜、水曜、金曜が同じ時間割、火曜、木曜が同じ時間割です。学部の授業は、講義形式でした。図書館に学習スペースがあるので、課題はそこでできます。スポーツで奨学金をもらって来ている学生が大半なので、勉強に重きを置いている学生はあまりいません。なので図書館もすすめています。

### II. 生活状況

寮はきれいです。ルームメイトがいれば 2 人 1 部屋で、トイレ、シャワーは隣の部屋とも共同なので 4 人で使用します。テレビや冷蔵庫はルームメイトが持参すれば使わせてもらうことが可能です。学園内の寮なので校舎まで 1 分で行きます。毎食、食堂でバイキング形式のご飯を食べます。徒歩圏内に買い物できるお店はなく、バスや電車などの移動手段がないため、休日はほぼ学園内で過ごします。毎週月曜日にスーパーまでのシャトルバスが出るので買い物はそれを利用します。近くに映画館があります。バスケットのシーズン（10 月～3 月）は週末に試合があるので、応援に行きました。週に何度か学園内でイベントがあるので積極的に参加しました。

留学種別	TESS II
留学先大学	パイクビル大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### 中間報告書

?ESL (ライティング、リーディング)

約8人、日中台蘭ペルー

50分\*2 (W&R)\*週3

Practice Makes Perfect Intermediate English

Great American Stories 3/E

Watershed Down

The Coffin Quilt: The Feud between the Hatfield and MaCoy

意見交換ディスカッションベースの円卓授業

?アメリカ学 (地理、文化等)

約10人 日中台蘭ペルーコロンビア英

75分\*週2

テキストなし (ハンドアウト)

講義形式、フィールドトリップ有

?大学数学 (実用的な数学) — 担保や利子、年金等

約40人 多国籍

75分\*週2

A survey of Mathematics with Applications

講義形式

?FYS (ディスカッション)

約20人 多国籍

50分\*週2

Ascension99

各週様々なトピックのディスカッション

?コミュニケーション学 (入門)

約30人 多国籍

50分\*週3

Let's Communicate!

講義形式

### II. 生活状況

寮の学習環境は壁越しのノイズが大きくて集中できません。図書館の上階にある自習室はかなり静かで効率の良い勉強時間を確保できます。教室の設備に関しては、大学側として授業にテクノロジーを使うことを勧めていると感じます。

宿舎の設備—かなり広い1人部屋、スイートメイト2人バスルームキッチン共有

通学方法—徒歩1分

食事—大学にあるカフェテリアや付近のショップ

買い物—週1でWalmart (ショッピングセンター) へのバスがあります。

休日の過ごし方

金曜夜はバスケットやサッカーをしています。徒歩で出かけられる圏内のアミューズメント施設は

映画館くらいです。月 1 程度の感覚でフリームービーナイトがあります。土日は図書館で予習復讐など勉強をしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	パイクビル大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

1学期に **ESL** の授業と学部授業を受けました。ESL では **writing** と **reading** の授業が2つあり、今期に一緒に入ってきた留学生たちと一緒に授業を受けます。どちらの授業も週に3回あり、どちらかという **writing** は講義形式、**reading** は皆でテーブルを囲み意見を言っていくディスカッション形式でした。国籍は日本、中国、台湾、オランダ、ペルーの合計8人の少人数教室です。

**writing** では3つのエッセイに取り組みました。毎回下書きを提出し、先生に何度かチェックしてもらいながら完成させました。**reading** では毎回1つの記事や物語についてみんなで話し合いました。

また、学部授業では音楽と美術を取っていました。音楽は週に3回、美術は週に2回ありました。どちらのクラスも学部授業なのでほとんどの人が現地の人たちです。音楽は30人程、美術は15人程いました。音楽では主に音楽史について勉強し、美術では様々な絵を描く方法を実践しました。

**First-Year-Seminar** という授業は週2回ありました。人数は25人ほどで、生徒はほぼ現地の人たちです。グループに分かれて毎回あるトピックについてディスカッションをしました。

**Americana** という授業は講義形式で、主にアメリカについての歴史や文化、ニュースを学びました。生徒は全員留学生で10人ほどです。

一週間の時間割は、月、火、水に **writing**, 音楽, **reading** があり、火、木に **Americana**, **First Year Seminar**, 美術がありました。

2学期からはすべて学部授業を取りました。

クラスは、宗教、演劇、スピーキング、メディア授業、ライティングの5つです。

どのクラスも大体講義形式ですが、演劇やスピーキングは時々グループになって授業を取り組んだりします。演劇では中間・期末テスト時にグループになって実際に演劇をし、スピーキングではスピーチの基礎を学んで何回かクラスで発表します。

宗教では主に新約聖書について学び、メディアでは映画産業やテレビ、インターネットについて学びます。すべて学部授業なのでどのクラスもほとんどの生徒が現地の人たちです。人数は宗教が30人程、演劇が20人程、スピーキングとメディアが15人程、ライティングが大体10人くらいです。

一週間の時間割は、月火が宗教、演劇、メディア、スピーキング、火木がライティング、金が宗教、演劇、スピーキングです。

履修の登録方法は生徒一人にクラスアドバイザーがついていて、その人と話し合いながら授業を選択しました。

図書館の地下と二階に席は少なめですが自習室があります。静かなので学習しやすいです。どの教室にもエアコンがついているので室温はちょうどいい状態で授業を受けることができます。

### II. 生活状況

寮は **Derriana** という女子寮で **meal plan** 付きです。二人一部屋でベッド、クローゼット、机、イスがそれぞれ置いてあります。トイレとバスは隣の部屋と共同です。洗濯機と乾燥機は全員共用で一階に三台ずつ置いてあります。電気ケトルを購入してカップラーメンなどの簡単な食べ物は作れますが、キッチンがないので一から料理するのは難しいです。

部屋は綺麗で教室からも近かったのが通いやすかったです。

台所はありませんが食堂があるので朝、昼、夜はそこに行って食べます。学内には学食のほかにベーグルショップ、コンビニ、ファストフード店があるので時々そこで食べる時もありました。最初着いたとき、掛け布団と枕がなかったので最初にウォルマートというスーパーマーケットで購入しました。部屋が少し暗めなので電気スタンド、そして電気ケトルも購入しました。車で10分くらいのところにウォルマートという大型ショッピングセンターがあります。大体そこでなんでも揃います。毎週月曜にウォルマートへのシャトルバスも出ているので食料や電化製品、生活必需品などはそこで購入しました。

周りには何もないのでほとんど自室で課題をしたり、大学のサイトで映画を見たりしていました。スポーツが強い大学なので時々みんなでバスケやバレーの試合を見に行ったりしました。

留学種別	TESS II
留学先大学	パイクビル大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

ESL のクラスは私たちを含めた 8 人のクラスでした。(中国、台湾、オランダ、ペルー出身) Reading と Writing の授業に分かれており、週三回(月水金)ありました。Writing の授業では基本的な作文の書き方、フォーマットを学びました。書いた作文をクラスで添削し合ったり先生が一对一で作文を見てくれたりする時間がありました。また作文の授業と同時進行で Watership Down という小説も読んでいました。一学期通してこの本を読み終わりました。サマリーの宿題があったり、最後の期末試験もこの小説に関するものでした。Reading の授業は、前半は ESL 用のテキストを中心でした。テキスト内のテーマから一つ選んでプレゼンもしました。そのテキストが終わった後は、GREAT AMERICAN STORIES というテキストを使って短編の物語をいくつか読みました。テキスト内の問題を解いたり、話に関する動画をみたりしました。そのテキストが終わった後は、The Coffin Quilt というケンタッキー州で実際にあった話の小説を読みました。期末試験はこれに関するテストでした。少人数クラスだったので皆で話し合ったりする時間も多かったです。

新一年生の為の授業 (First Year Seminar) (月金) は 15 人ほどの少人数授業でした。この授業用のテキストがあって、その内容について話し合ったり、動画を見たりしました。たまに小テストやグループディスカッションもありました。またこの授業では、学校のイベントやボランティアに参加して、それについてのリフレクション提出がこの授業の成績の大部分を占めています。音楽の授業 (月水金) では音楽の歴史を学びました。大人数授業で講義形式でした。週末にはオンラインでの小テストがありました。

美術の授業 (火木) は少人数でした。基本的な物のデッサンなどを学びました。試験は美術に関する単語を答えるテストでした。

Americana (週 2、火木) はアメリカの歴史や制度などを学びました。留学生を担当している MS.Diann Whittier が先生でした。授業の一環でコーヒーを廊下でふるまったり、自分の国の料理を作ってみんなで食べるイベントもありました。

キャンパス内の図書館は夜遅くまで開いているのでよく利用しています。

### II. 生活状況

私が住んでいる寮 (Derriana) では一部屋を二人でシェア、トイレとシャワールームは二部屋でシェアしています。階ごとにアシスタントがいて部屋の修理が必要な時や困ったときは彼女が助けになってくれます。食事はキャンパス内の食堂で三食食べられます。他にもコンビニのようなスーパーがキャンパス内にはあります。学校の周りにもファストフード店が何件かあるのでたまに利用します。買い物は車がないと難しいです。学校の近くにスーパーが一つありますが、私たちは週に一回学校から Walmart への無料のバスが出てるのでそれをよく利用しています。基本的に学校周辺には買い物できる場所がほとんどありません。休日はキャンパス内で過ごすことがほとんどです。たまに映画を見に行ったり、部活の応援に行ったりしますが、それくらいです。課題をする時間は十分あります。平日が祝日で休みが長いときは留学生で旅行に行ったりしました。

留学種別	TESS II
留学先大学	パシフィック大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

月、水、金 : 10:30-11:35 Economics of Social issues(学部、講義形式、現地人 50 人ほど)  
1:00-2:50 Listening and Speaking(ESL、参加型、日本人 3, 中国人

1)

火、木 : 9:30-12:30 Academic and Research Writing(学部兼 ESL、参加型、日本人 5, 中国人 1)

TOEFL 500 以上で学部授業 1 つ(決められている)、525 以上で何個でも取れます。

しかし、私は講義型の学部授業よりも、少人数の ESL の授業の方が躊躇することなく何でも発言できたので、参加型の ESL でのほうが英語力は上がった気がします。講義型はスピードラニングをやっている気分でした。

24 時間空いている学習室があります。

### II. 生活状況

寮は6つあって新しいのも古いのもある。私は初め MAC(古い)だったが、ミールプランが高く(1 セメスター30 万ほど)、毎日食べ物が一緒なので寮変更可能期間に Gilbert(最新)に移動。通常自分で入りたい部屋に入れてくれと頼みに行き全員に許可してもらえたら移動。私は入りたい部屋に移動できなかったため、直接学校の housingoffice に交渉しに行った。

現在 Gilbert で男子 2 人女子 4 人の 6 人で生活中。シャワートイレ 2 つ、キッチン、リビングを共有。寝室は女子 2 人部屋。アパートメント型。快適。

Mac は 2 人部屋。シャワートイレ室寮全員でシェア。キッチンなし(ミールプラン強制)。部屋にはベッドと机のみ。快適でない。

キャンパスはそこまで大きくないのでどの寮からも教室までだいたい徒歩 5 分。

徒歩圏内にスーパーあり。

休日はポートランドに遊びに行く。バス電車往復\$5 で片道 1.5 時間ほど。

学校の近くにはレストランがたくさん。田舎だけど田舎すぎはしない。

宿題はあるが効率よくやれば大変ではない。

留学種別	TESS II
留学先大学	パシフィック大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

-ELI-

- ELITR-103-01
- Academic and Research Writing
- 現地アドバイザーが登録
- 全体で 6 人の学生（うち 5 人日本人、1 人中国人）
- 火木の週二回、午前 9 時半から 12 時 20 分まで
- ゼミ形式

-学部授業-

- ECON-101-02
- Economic of Social Issues
- 現地アドバイザーが登録
- 全体で 40 人ほどの学生（うち日本人留学生 4 人と中国人留学生 1 人）
- 月水金の週 3 回、午前 10 時半から 11 時 35 分まで
- パワーポイントを使った講義

### II. 生活状況

- 寮は 4 人部屋で個室が 4 つ、バスルームが 2 つ（2 人で 1 つのバスルームを共用）あり、リビングには家具や家電、共用キッチンがあります。
- 調理器具や食器類は自分で購入する必要がありますが、私の場合ほとんどルームメイトに貸してもらっています。
- ルームメイトは日本人とアメリカ人の 2 人しかいないので、私はバスルームを一人で使っています。
- 一番近いスーパーが徒歩 20 分のところにあるので週一回まとめて買ってほぼ自炊をしています。細かい買い物は学校の中にあるコンビニを使い、食料品以外の買い物は大きいグロサリーストアで済ませます（バスで 20 分ほど）
- 休日は課題をしたり、時間があるときはポートランドに行って買い物をしたりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	パシフィック大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

TOEFL 525 点以上の場合、ESL の授業 1 つと、ESL の先生が付き添う学部授業 1 つ、自分 1 人で現地の学生と同じように受ける学部授業を 1 つ、計 3 つの授業を受けることができました。ESL の授業はレベル別クラスで、日本人 5 人中国人 1 人でした。学部授業には現地学生と数人の留学生在がいました。時間割は、学部授業 2 つが月水金に開講、ESL クラスは火木に開講でした。ESL に授業では先生が配るプリントを使用しました。学部授業では教科書を購入しましたが、本を使うものとオンラインタイプのテキストがありました。ESL クラスは少人数なのでディスカッションを沢山しましたが、学部授業は講義形式でした。大学には図書館も PC 教室もあり静かなので自習するには良い環境が整っています。

### II. 生活状況

自分の部屋には学習机とタンスとベッド、マットレスは備え付けられていました。バスルームにはトイレとシャワーが有り、ルームメイトと共用です。バスタブはありません。別棟のランドリールームには洗濯機と乾燥機があり、無料でいつでも何度でも使うことができます。全ての寮は学校の敷地内にあり、校舎まで歩いて 5 分もあれば着くのでとても便利です。キッチン付きの寮になった場合はミールプランを取らなくてよいので自炊ができます。その場合でも、都度払いで学校の食堂を利用することもできます。休日は近くのスーパー（徒歩 15 分）まで買い物に行ったり、ポートランドのダウンタウンに遊びに行ったりしました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ハワイパシフィック大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

コース内容 (授業内容) : ①TESOL (Teaching English to Speakers of Other Languages)  
将来国内、海外で英語教師として活躍したい人にお勧めのプログラムです。

クラス人数は5人～12人程度の少人数制で行われます。

学部生だけの授業を2つ、大学院生と合同の授業を1つ受講しています。

学部生のための授業では私のみ日本人です。大学院生との合同授業では日本、韓国、イタリア、ブラジルなど様々な国出身の人と授業を受けています。

私の受講している TESOL プログラムの授業は The English Sound System (月・水・金、各1時間)、Teaching Listening & Speaking (火・木、各85分)、Intro to Discourse Analysis (火・木、各85分) の3つです。授業スタイルは講義形式ですが、教授が一方向的に話すのではなく、学生も積極的に質問し、教授と学生と一緒に授業をつくっていくという感じです。

授業スピードが速いので、予習をしないとペースについていくのが大変です。

使用教科書は次の通りです。

The English Sound System : Teaching American English Pronunciation、補助プリント、Teaching Listening & Speaking : Simple Listening Activities、Simple Speaking Activities、Practical English Language Teaching Listening、Practical English Language Teaching Speaking、補助プリント  
Intro to Discourse Analysis : Conversation Analysis and Second Language Pedagogy、補助プリント

#### ②Writing

Anlyzg & Wrtg Argmts-ESL (月・水・金、各55分) と Analyzing & Writing Argumt Lab (月・水各55分) の授業を受講しています。前者は大学レベルのライティングタスクの書き方を学びます。使用教科書は Longman Academic Writing Series 5: Essays to Research Papers と補助プリントです。クラスメイトは全員ノンネイティブです。授業形式はグループでリーディングタスクに取り組むなど、グループワークが多いです。

後者は学生2人～数人程度につき1人のチューターがつき、前者のエッセイ課題にアドバイスをもらいます。前者の授業のサポートのための授業という形なので、教科書は特にありません。大学の学習環境は学習スペースが多く、パソコンも図書館等で自由に使えます。休日にも開館していたりするので便利です。大学内は冷房がとても効いているので上着必須です。

### II. 生活状況

私はダウンタウンキャンパスからスクールバス (無料) で 15分～20分ほど離れた Hawaii Loa Campus 内の自然に囲まれた寮にステイしています。ハワイは常夏ですが、クーラー要らずで夜は逆に肌寒いぐらいです。

寮にステイしている学生はほぼアメリカ人です。私は2人部屋でバスルームは隣の部屋の3人ともシェアしています。ロアキャンパスには図書館やアカデミックサポート、ジム、卓球やビリヤードなどができるスペースなどがあります。洗濯機と乾燥機は寮内にあり自由にできますが、洗濯カードにお金をチャージしてカードを使用しないと洗濯できません。

食事は寮にステイするのであれば必ず食事プランをつけなくてはなりません。週に10食または14食選べ、ブッフスタイルです。高カロリーのものが多いですが、様々な種類の野菜やフルーツも用意されています。

休日は平日の学業の忙しさの疲れを癒すため、部屋でのんびりしていることも多いです。課題が

たくさんあるのでなかなか遊びに出かけようという気持ちにはなれませんが、ワイキキなど日本人観光客が多く集まるところに行くのもリフレッシュになります。

留学種別	TESS II
留学先大学	ペンシルバニア州立インディアナ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私が履修している授業は4科目です。まず、English Compositionのクラスについて、留学生向けのコースとなっているため、受講している生徒は日本人の私をはじめ、台湾、サウジアラビア、フランスなど様々な国籍を持つ留学生たち20人程度が集まっている授業です。この授業では主にWritingについてですが、NUFSのライティングの授業とはまた違って、「言葉の表現の仕方」に重点を置いた文章の作成について学んでいます。指定された教科書はなく、プロフェッサーによるスライドやこのコース専用のウェブサイトを使用して、学生たちの自由な発言やグループワークなどを多く取り入れた授業形式となっています。

Introduction to Film Studiesでは授業内と授業外で映画をそれぞれ1本ずつ見て、映画に隠された意味やそれを示す撮影法、さらに編集技術、音や色の効果等について授業内ではディスカッション、授業外ではレポートとして毎週提出するという形式です。この授業では私を含め留学生は3人、他の学生は全員アメリカ人で、計15人程度のクラスで学習しています。授業自体は指定教科書がなく、毎回映画の鑑賞と、その後にクラス全体でのディスカッションを行うという形式で行われています。

Public Speakingの授業については、大勢の前で堂々と自分の意見が言える、スピーチができるということが最終目標とされている授業です。この授業も指定された教科書はなく、通常は口頭で、教授の話に対して学生が自由に発言し合って授業が進められていますが、スピーチというものについてその種類やスタイルなど、板書をもとに行われるときもあります。このコースの学生については私と台湾からの留学生2人以外すべてネイティブの学生たちで、人数は約20人です。

Chineseの授業での人数は私を含め5人と超少数で、私以外の4人は全員アメリカ人の学生です。教科書は『Integrated Chinese Level 1・Part 2 Textbook』というものを使用して、中国人のプロフェッサーによる英語での中国語指導が行われています。予習・復習の自主学習を前提に、中国語を用いて「話す」ことを重視とした授業形式で、2單元ごとの試験や既習内容を用いたロールプレイやプレゼンテーションなど、様々な取り組みを交えて学習が進められています。

1週間の授業時間割については以下のようになっています。

月/水/金・・・Public Speaking [10:10-11:00] / Chinese [14:30-15:20]

火・・・English Composition [12:30-13:45] / Chinese [14:00-14:50]

木・・・English Composition [12:30-13:45] / Film Studies [18:00-20:30]

### II. 生活状況

私は大学キャンパス内にある学生寮に住んでいます。寮の中は部屋の種類が様々ですが、私は2 person shared semi suiteという、2人で1部屋というタイプのところに住んでいます。はじめはルームシェアに対して少し抵抗があり、不安もありましたが、ルームメイトと部屋の中で色々な会話ができるし、授業外でも英語を使う機会ができて英語力向上に繋がるので、今ではとてもいい環境だなと感じています。私のルームメイトは台湾から来た留学生で、日常会話は英語ですが、時々中国語を教えてもらったり、簡単な会話を中国語でし

てみたりと、楽しく勉強に励むことができます。寮自体はとても綺麗で、住みやすいです。洗濯機のみ部屋に備え付けがされておらず、共同のランドリールームで洗濯、乾燥をするという形ですが、各階にいくつも洗濯室があるため、不便さは感じません。また、この寮は学生証で玄関や自分たちの部屋のドアが開けられるようになっているので、セキュリティー面でも安心です。上でも述べたように学校のキャンパス内にある寮なので教室へ行くのも近く、また食堂も歩いてすぐのところにあるので、普段の学校生活での不便さについてもあまり感じません。休日はネイティブの友達やルームメイトと買い物に行ったり、スポーツをしたり、一緒に料理を作ったりと、学校がある日にはできないことをしてリラックスするようにしています。食事について、はじめは日本にいる時とは全く違ったものを主食として食べることが新鮮でしたが、毎回食堂で食べられるものが同じようなものしかなく、気分を変えたいときには外食をしたり、スーパーで食材を買って調理をしたりと工夫して食事を摂るようにしています。またミールプランといって、学校内の食堂で1週間に14食の食事ができるプランを申し込んでいるのですが、学校内にあるベーグルのお店やパスタのお店、コンビニなどで、1回分の食事とある一定範囲の食べ物を交換できるシステムもあり、もし食堂で食べる機会がなくてもミールプランを無駄なく使うことができる点はとても助かっています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ペンシルバニア州立インディアナ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

授業は5つ選択しており、そのうちの4つがESL、1つが学部授業でした。ESLの授業内容はWriting, American culture, Presentation,そしてほかの授業で出た課題などの相談に乗ってもらえるAce tutoring というクラスでした。ESLのクラス人数は多すぎず、各クラスおおむね10人未満でした。国籍はアジア（中国、台湾）が多く、次いでサウジアラビアなどの中東から来た生徒が多かったです。それぞれの授業は週に二回あり、金曜日は休みでした。私がとったクラスでは教科書は必要なく、プリントか、授業で使ったプレゼンを学習のために使うという流れでした。授業形式は講義形式のものが多かったですがディベートや話し合いの時間が設けられることも多かったです。学部授業のほうは留学生向けのWriting クラスを取っていました。クラスは15人ほどで、アジア系、中東系、ヨーロッパ系、アフリカ系と様々な国籍の生徒が集まっていました。クラスは週に二回で教科書は使いませんでした。授業は講義形式でしたが、よくグループワークが出されました。ESLは特定の校舎で行われており、そこでは常時自習ができる環境でした。また授業がない金曜日には、無料でTOEFLやIELTSの対策講座が開かれていました。

### II. 生活状況

私が滞在しているWallwork Hallの各部屋にはシャワー、トイレ、洗面、そして簡易的なキッチン（コンロなし）があり、寮には共用キッチン、自習室、自販機がありました。この寮には大学の人文学部の生徒と、留学生が滞在しており、冬休み中に住みことができる唯一の寮です。大学内にある寮なので通学は徒歩でした。食事はミールプランを使って週に14回食堂で食べることができたのでそれを利用していました。食堂はビュフツェ形式で、出てくるメニューはほぼ毎日違うものでした。買い物には大学内を通過しているバスでWalmartなどのお店に行くことができました。バスは学生証を見せれば無料で乗ることができました。休日は友人とご飯を食べに行ったり、課題をするため図書館に行ったりしていました。

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	ペンシルバニア州立インディアナ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

今期私はフランス語、ホスピタリティ科目3コース、美術のコースを履修しました。人数編成はクラスによって様々でしたが、多くても5~60名ほどのクラスでした。自分以外の留学生は1クラスに多くて2名ほどしかおらず、現地学生に囲まれながら授業を受けました。教科書は、現物の購入が必要なクラス、オンラインテキストを使用するクラスなどと様々で、購入してもしなくても良いと指示されたクラスもありました。教科書を購入したクラスでは基本的にその教科書に沿って授業が進められました。様々な種類のコースを履修しましたが、ほぼ全てのクラスで、グループでの課題が出されました。また、授業外の活動が必要な課題も多く、日本の大学ではなかなか味わえない授業内容でした。グループワークは現地の学生と関わる良い機会でしたし、自分の英語能力やチームワーク力を磨く機会にもなるので良い経験でした。

### II. 生活状況

宿舎の設備は充実していると思います。入居してすぐも不自由なく過ごせました。また、近くにスーパーマーケットがあり、必要なものはほぼ全て簡単に手に入ります。欲を言えば、ランドリーが無料になればさらに便利になると思います。食堂にも満足しています。出国前は1週間14食のミールプランに不安がありましたが、バイキング形式の食堂のため、自分が食べられる量を好きなだけ食べることができます。また寮内にミールプランを使用して食品を購入できる売店があったり、学内にも食堂以外にミールプランを使って食事ができるカフェテリアがいくつかあったりするので便利です。学生のほとんどがキャンパス内や近辺に住んでいるので、週末に集まって食事に出かけたり料理をしたりすることも簡単にできます。しかし、交通手段が車以外にないので、遠出をしようと思うと車が出せる友人が必要です。

留学種別	TESS II
留学先大学	ペンシルバニア州立インディアナ大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私は半年間 **ALI** という英語を学ぶためだけのコースに通っていました。そのコースでは英語に関する全ての技術を学ぶことができ、先生も全員優しく、英語のことでも生活に関することでも分からないことがあれば、なんでも丁寧に対応してくれます。エッセイとプレゼンテーションが多く、準備も大変でしたが、どのスキルも満遍なく向上した気がしました。国籍や人数はクラスごとに違いましたが、中国籍の生徒が多く、生徒数は多くて15人くらいでした。**ALI** のクラスは、毎週月曜日から木曜日の朝 **9** 時半から夕方の **4** 時 **45** 分まで授業があり、課題も多く忙しいです。設備などは整っていて、文章の校閲をしてくれる場所や **skill zone** という誰でも自由に勉強ができて、先生に質問ができる場所もあります。

### II. 生活状況

私は留学生が全員滞在している **Wallwark** という寮に住んでいます。キャンパス内にあるので通学にはバスなどは必要なく、徒歩で授業へ向かうことができます。部屋は色々なタイプがありますが、私は **2** 人で一部屋をシェアするタイプです。部屋はベッドとダンスとデスクとロッカーが **1** 人ずつにあり、特に生活に困ることはありませんでした。冷蔵庫と電子レンジもあります。買い物は大学内の店ですか、ここの大学生なら無料で乗ることができるバスで大きいスーパーやお店へ行くことができます。休日は買い物をしたり、課題をこなしたりしていました。また、大学側が企画してくれた旅行にも参加し、ニューヨークやワシントン **D.C** にも行くことができました。大都市ではないので、他の場所へ遊びに出かけるには車があれば、便利だとは感じました。

留学種別	TESS II
留学先大学	リンゼイウィルソン大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

今学期は、ESL の授業を 2 つ、Reading、コミュニケーション、観光の授業をそれぞれ一つずつ履修している。ESL の授業は、日本人や韓国人留学生だけが履修しており、Reading の授業は、日本人とヨーロッパの留学生が履修している。その他の授業に関しては、アメリカ人の学生やその他様々な国の学生と共に学んでいる。私が居る **Lindsey Wilson College** では、多くの学生がスポーツの為に海外から留学しに来ており、欧州や南米出身の学生も在学している。そのため、私が履修しているほとんどの授業に、留学生が必ず一人は存在する。一週間の時間割は、月、金曜に 2 教科、火、木曜に 4 教科、水曜に 1 教科となっている。最も早く始まる授業は、午前 8 時からあり、毎日、午後 1 時過ぎには全ての授業を受け終わる。授業形式は、講義形式である。学習環境に関しては、図書館や自習室等様々な場所で勉強でき、しっかりとした設備がなされていると感じる。

### II. 生活状況

私の住んでいるアパートは、とても古く、トイレ、シャワー、キッチン、冷蔵庫はあるものの、部屋のいたるところに隙間や穴が点在する。そのため、部屋の中に多くの害虫が存在しており、良い住環境とはとても言えない。その上、時々停電になったり、ある時は、どこからか水が漏れだし、帰宅すると部屋の床の大部分が浸水していたりした日もあった。しかし、自身で部屋の空調を調整できたりするため、家の状態以外に関しては、満足している。アパート自体は、キャンパス内にあるため、食堂や教室等に行くためにはとても便利である。食事に関しては、平日は毎日 3 食食べることができるが、週末は昼食と夕食しか食べることができない。祝日になると、食堂は閉まっているため食べることができない。しかし、軽食が購入できるカフェもあるため、食べることができなかった場合、カフェで食べている。休日は、友達と遊んだり、ホストファミリーに会ったり、課題をしたりして過ごしている。

留学種別	認定
留学先大学	南カリフォルニア大学
留学先国・地域名	アメリカ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

- ・授業は主に3つあります。RWG クラスと Oral クラス、Focus クラスの3つです。RWG ではリーディングとライティング、文法を、Oral クラスではリスニングとスピーキング、そして Focus クラスでは TOEFL や IELTS といった資格勉強やビジネス、アカデミックボキャブラリーを用いた実践的な会話クラス、さらには音楽を用いて英語を学習するクラスなどの、数ある項目から1科目選択し学びます。課題も毎日のようにあります。
- ・クラス人数は大体15人~20人ほどで、国籍は中国や韓国、サウジアラビアといったアジアの学生が9割を占めています。ヨーロッパからの学生は全くいません。日本人は1割にも満たない程度です。
- ・授業は午後から始まり、大体夕方5時には終わります。その後、課題に大体2~3時間費やします。RWG クラスと Oral クラスは毎日ある為、課題の提出も基本は翌日になります。
- ・教科書は、RWG クラスでは「Q:Skills for Success」、Oral クラスでは「21st Century Communication」を使用しています。
- ・大学附属の語学学校である為、名古屋外大のリーディングやスピーキングのクラスと大差ありません。
- ・南カリフォルニア大学には、名古屋外大の Moodle のような学習用サイトがあり全ての授業で用いられます。

### II. 生活状況

- ・宿舎はホームステイと学生寮の2種類から選択でき、私はホームステイを選びました。ホームステイ先のホストファミリーは男性一人でした。彼は中学校の教師をしており、そのため朝は早く家を出ていき夜は遅く帰宅します。ホストファミリーとの会話はほとんど無く、宿舎を基本的には洗濯や食事、睡眠の為にしか利用しません。
- ・基本的にはバスと電車で通学します。帰宅時間が夜遅くなる時は Uber や Lyft を使って帰宅します。
- ・週に一回ほど外食をしますが、基本的には毎日友人と共に自炊します。学校の近くにスーパーも数軒あり、薬局もある為、買い物には困りません。その他の洋服などの買い物も学校から遠くない為買い物には困りません。
- ・休日は毎回外出するように心がけており、ロサンゼルス市内の観光だけでなく、日本では見られないような雄大な景色を目指し大自然へ行くときもあります。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウィンチェスター大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

コース内容 : International foundation programme / 1 semester は Art, General English, EAP, Tutorial の 4 教科、2semester は Art の代わりに Applied Business を受講しています。(その他は 1 semester と同様) 一番授業数の多い EAP に関して言うと、1 semester は、主に Essay や Presentation の書き方を教わったり、参考文献の書き方や引用の仕方を教わりました。2 semester は、1 semester の応用として自分自身で essay や presentation を進める機会が増えました。General English に関して言うと、主に文法や語彙力を高めるための授業、TED Talk や新聞などの資料を通してリスニングや読解力を上げる授業など、英語の基礎力を上げるための講座が多かったです。Art の授業に関して言うと、イギリス文化を学ぶために様々な本を読んだり、映画、音楽鑑賞、さらに自分の選んだイギリス文学界で有名な人物に関する研究を通して Essay と Presentation が最終課題として出されました。Applied Business に関して言うと、グループに分かれて一つのレストランを経営するために様々なタスクをこなしていくというのが主なテーマで、グループで活動したり、一つのレストランを経営するために使える様々な知識を講義の中で教わりました。Tutorial に関して言うと、主に日ごろの生活で困ったことやサークル、ボランティア活動など英語学習以外のことに関する相談ができる時間が設けられたり、コミュニケーション能力、リスニング、リーディング力を高めるための授業をしました。

・クラス人数

1 semester : 日本 10 人、ネパール 1 人、パキスタン 1 人、インド 1 人、イエメン 1 人、フィリピン 1 人

2semester : 日本 7 人、ネパール 1 人、パキスタン 1 人、インド 1 人、イエメン 1 人、フィリピン 1 人

・1 週間の授業時間割

1 semester :

月 EAP(9:00~10:30) GE (11:00~12:30) ART(15:00~16:30)

火 EAP(9:00~10:30) TUT(11:00~12:30) EAP(13:00~14:30) GE(15:30~17:00)

水 EAP(9:00~10:30) ART(11:00~12:30)

木 EAP(11:00~12:30) TUT(13:30~15:00)

EAP(15:30~15:00)

金 休講

2semester :

月 EAP(9:00~10:30) GE (11:00~12:30) EAP(13:30~15:00)

火 TUT(9:00~10:30) EAP(11:00~12:30) EAP(13:30~15:00) GE(15:30~17:00)

水 EAP(9:00~10:30) BUS(11:00~12:30)

木 BUS(9:00~10:30) EAP(13:00~14:30) TUT(15:00~16:30)

金 休講

使用教科書 : Oxford EAP Intermediate B1+/de Chazal&Rogers、授業で配られるプリントが主

・授業形式 : ゼミ形式

・大学の学習環境 : 図書館、寮、寮から歩いて 2 分ほどの自習室、Learning caf?(computer room) など。すべて Wi-Fi が使える。寮以外はコピー機も、パソコンもある。1 期は移動教室の時にたくさん歩かなければならなかったが、2 期はすべて近くの教室。

## II. 生活状況

### ・ 宿舎の設備、環境

#### 寮 (West downs)

ルームメイトは基本的にイギリス人です。私の寮は珍しく多国籍でしたが、日本人は私だけでした。キッチンとトイレ、シャワールームをシェアし、一人部屋には学習机、シンク（棚付き）、ベッド、クローゼットがあります。調理器具セット（包丁、まな板、コップ、皿など）、ベッドマットセット（枕、掛布団付き）は寮の申し込みの時に注文しました。到着時すぐに必要となるので注文しておくことをおすすめします。部屋にはオイルヒーター、Wi-Fi もあり、快適な生活を送ることが出来ます。寮は **West downs** の他にも種類がありますが、基本的にどの寮も一人部屋です。トイレとシャワールームが部屋についているところもあります。冬（11月～2月にかけて）はとても冷え込むので、街で毛布や、湯たんぽを買って防寒対策していました。寮で何か問題があったときは、**Student Service** という学校のサービスを使ってすぐに解決できます。（ネットでメールを送るだけで数日後に修理されます）また、寮を途中で代えることも可能です。（手数料がかかります。）また、何か問題があったときはいつでも先生が相談に乗ってくれます。（実際に何度か面談も設けてくれますし、私の先生はメールや SNS を通して、気軽に相談に乗ってくださる先生でした。）洗濯は1回の洗浄、乾燥に500円ほどかかるので、まとめてかけることをお勧めします。トイレトーパー、洗剤などは各自で購入して使っています。

### ・ 通学方法

#### 徒歩（10～15分）

### ・ 食事や買い物

街（徒歩15分ほど）に週に1回買い出しに行って自炊。ケータリングサービスも使えます。重い物を買いたいときは友達と一緒に配達サービスも利用していました。意外に安くお米が手に入りますし、街には日本食の調味料がそろうお店もありますので私はよく日本食を作っています。学校の食堂でもお昼ご飯を食べたりしています。たまに街に出て外食もします。

### ・ 休日の過ごし方

勉強、食材を買いに行く、観光、ルームメイトと映画鑑賞、サウサンプトン（近くの街）へ行くなど

留学種別	TESS II
留学先大学	ウィンチェスター大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

・学部生になるための英語準備コースで、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4つの分野からアカデミックな言語能力とコミュニケーション能力を養う。セメスターの最後に行うエッセイとプレゼンテーションの準備を中心に授業を行う。

・15人（日本人10人、ネパール1人、フィリピン人1人、インド人1人、パキスタン人1人、イエメン1人）

・月曜日 EAP(English for Academic Purposes)、GE(General English)、Arts

火曜日 EAP、Tutorial、EAP、GE

水曜日 EAP、Arts

木曜日 EAP、Tutorial、EAP

(全授業1コマ90分)

・Oxford EAP

・ゼミ形式

・大学24時間利用可能。

図書館の自習スペースは比較的きれいで、数も多く、パソコン利用可能。

少人数教室。教室数は多い。

### II. 生活状況

・宿舎

West Downs Student Village という大学既定の寮で、フラットメイト8人でシェアキッチン・社エアバスルーム。

キッチンは共同だが、ご飯食べる時間やタイミングは人それぞれ。

宿舎が一番古く、安価なため、フラットメイトの騒音には悩まされるが、部屋は広い。

比較的フラットメイトはイギリス人しかいないので、日本人としては仲良くなるのが難しい。

・通学方法

徒歩10分程度の通学。

キャンパスは宿舎のすぐ近くにあるが、一般道路の坂道があるため、多少は時間かかる。

・食事や買い物

徒歩20分の距離にスーパーマーケットがあるので、週に1回買い物をして自炊していた。

1週間£10前後で十分生活できていた。

・休日の過ごし方

金曜日は全休だったので、金土は旅行してリフレッシュしていた。

日曜日は課題と買い物する時間に充てていた。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウィンチェスター大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

コース内容 (4科目):

#### 1. English Academic Purposes (EAP)

テキストを使って Reading, listening、 Summary writing, Speaking を行う、また評価対象になる最終プレゼンテーションと最終エッセイのためにアカデミックの英語、引用の仕方、参考文献などを教わる。プレゼンテーションとエッセイは、Week1 から 1 ステップごとに、テーマ決め、参考資料紹介、プレゼンテーションプランの発表、エッセイパラグラフプランの提出、ドラフトプレゼンテーション、ドラフトエッセイのように 12 週かけて徐々に完成させていく。

#### 2. General English (GE)

Reading 強化、Discussion の実施、BBC4 を使った Listening とノートテイキングスキルを身につける。日によってやることは変わるが、全体的に満遍なく実施している。

#### 3. Arts in Britain (選択授業)

ビジネスとの選択で履修している授業。イギリス出身の作家、イギリス出身の画家、イギリスの音楽家、(クラシック、ロックなど古代から現代まで)、イギリスのミュージカルなど、イギリスの Arts に関するトピックを基本的に毎回違うものにフォーカスして教わる。ディスカッションや listening、映像を見るなどをする。1 つのトピックが終わるごとに大学の canvas ページで決められた語数の Writing essay を提出する。また、授業の一環として先生を含めた全員で Tate Britain というロンドンの美術館に訪れ、授業で学んだことを目で見て感じる。

#### 4. Tutorial (TUT)

履修プログラムの International Foundation Programme のチューターによって行われる授業で、学部に向けての準備をする授業。将来のプランについて発表したり、ほかの学部の先生を招いて授業をしてもらったり、これといった科目はないが、幅広く活動する授業。

クラス人数、国籍:

15 人 (香港人 1 人、フィリピン人 1 人、パキスタン人 1 人、インド人 1 人、イエメン人 1 人、日本人 10 人)

一週間の授業時間割:

月曜日

9:00~10:30 EAP

11:00~12:30 GE

15:00~16:30 ARTS

火曜日

9:00~10:30 EAP

10:30~12:00 TUT

13:00~14:30 EAP

15:30~17:00 GE

水曜日

9:00~10:30 EAP

11:00~12:30 ARTS

木曜日

11:00~12:30 EAP

13:30~15:00 TUT

16:00~17:30 EAP

金曜日 全休

使用教科書：

**Oxford EAP (A course in English for Academic Purposes)**

授業形式: ゼミ形式

大学の学習環境、自習室、教室の設備:

学部生と同じ教室を使うために、毎授業キャンパスの中の違う教室で授業をしている (常に山登りのような大変な坂を登って教室移動をしています) 自習室は基本的に図書館で、年 2 日を除く 24 時間 363 日空いているので、いつでも行きたい時にいつでも勉強することができる。昼の時間は混んでいるが、3 階建てで全ての階にたくさんの自習席が用意されているので朝と夕方ほとんど確率で確保することができる。パソコンも借りることができる。授業する教室の設備は場所によって変わるが、全ての教室、全ての授業でプロジェクターのタッチ式スクリーンを使用している。

## II. 生活状況

### 宿舎の設備、環境

宿舎は **village** になっており、一つのエリアにおよそ 50 以上の建物が建っている。私達 **NUFS** 生が推奨されている **WestDownsStudentVillage** は、1 つ 1 つの寮は基本 2 階建てで、8 人分の 8 個室(1 階 4 2 階 4)、1 階に 1 つの共同キッチン、各階に共同トイレ、共同シャワーが備わっている。キッチンには 2 つの冷蔵庫冷凍庫、4 つの IH 式のコンロ、レンジ、トースター、2 つのシンク、1 つの大きいテーブル、8 個の椅子、ソファが備わっている。フライパンやお皿、洗剤、包丁などはすべて自分で用意しなければいけない。(私は追加料金でセットのプランで頼みました) 寮によって男女の比率が違い、私が最初に決められた寮は男 5 人女 3 人であったが、**WestDowns** は基本的に遊びが好きな男女が多く、どこの寮も基本的に深夜にとてもうるさい。しかし、私の最初の寮は深夜 3 時ごろに一番うるさくなり、毎日違う寮の人が遊びに来たりで寝れない日々が続いたため耐えられず、ハウジングオフィスに相談したが、それが通常なので特別な対応はなく、住み始めて一週間の時に自分で 40 ポンドもの追加料金を払って引っ越しをした。引っ越し先も **WestDowns** になってしまったが、今のルームメイトは運良く女 5 人、男 3 人でみんな人柄が良くてうるさくもないので、それからは快適に過ごせている。寮によってかなり差がある **village** だが、私たち以外はみんな新入生なので基本的に夜中はうるさく、毎日のようにお酒を飲んで騒いでいる。アジア人は滅多に見かけず、ほとんどイギリス人や、ヨーロッパのほかの国から来た人たちで、私のクラスの **NUFS** の日本人含めアジア人の何人かが **WestDowns** の寮でいじめにあったり、現在もあっているのを聞いているので、できれば推奨をここから変えた方がいいと思う。

### 通学方法

1 限目の教室によってかかる時間は異なるが、寮が坂の上にあり、大学は坂の下にあるので毎日徒歩 15 分ほどで通学している。

### 食事や買い物

買い物は坂を 20 分ほどかなりの距離降りないと、寮の周りや大学の周りには何もないので少し大変。寮の **village** に簡易的なコンビニはあるが、基本的にサンドイッチなどしか売ってなく、食材を買うスーパーは下まで降りないといけない。朝と夜は寮で自分で作って食べ、昼は作って持っていくか、大学の学食を利用している。しかし学食とは言えど値段が高いので、最初はかなり利用していたが途中からなるべく自炊して持参するようにしている。

### 休日の過ごし方

休日はシティで買い物をしたり、図書館で勉強をしたり、電車で近くの **southampton** に行ったり、バスを使ってロンドンに行ったりなど、いろいろなことができる。金土日が休みなので、平日に勉強を頑張るって休日 3 日間泊まりで旅行をしたりもする。

シティもある程度のものは揃っているので楽しむことができる。ロンドンもウィンチェスターからは電車でダイレクト 1 時間、バスだとダイレクト 2 時間など、簡単にアクセスすることができるので便利。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウィンチェスター大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

コース内容：**English for Academic Purposes(EAP)**→英語で決められた話題について文章を作成する能力・英語でフリーテーマのプレゼンテーションする能力を養う授業。**General English(GE)**→文法的に正しい話し方を教わったり、文章を読んだり、ニュースを聞いたりする。**Group Tutorial(GT)**→クラスメイトと話す。**Introduction to Business Studies(Business)**→ビジネスについて学びそれについて英語でプレゼンテーションしたり、英語で文章を作成したりする。クラス人数、国籍：15人の少人数生。パキスタン1、インド1、フィリピン1、香港1、日本10、不明1。

一週間の時間割：**EAP9**時間、**GE3**時間、**GT3**時間、**Business3**時間。

使用教科書：**EAP**の授業では、**EAP**専門の教科書を使い、その他の授業では先生が配布したプリントを使用する。

授業形式：参加型で、先生と生徒の距離が近い。

大学の学習環境、自習室、教室の設備：クラスが広すぎないため、先生との距離が近く接しやすく良い。自習室は静か集中しやすい。パソコン室はカフェの中にあるため非常に静かとは言えないが集中できる。キャンパスがやや広く坂が急なため、授業移動が大変。

### II. 生活状況

宿舎の設備、環境：ウエストダウنز→暖房がしっかり働かないため寒い。シャワールームに着替える場所がなく、シャワーが壊れているため不便。非常に乾燥する。クイーンロード→暖房が働くので暖かい。エンスイートのためごはん意外外に出る必要がなくリラックス出来る。そこそこ乾燥する。

通学方法：徒歩。

食事や買い物：基本自炊で徒歩20分程度のハイストリーとで購入。衣服もそこで購入。

休日の過ごし方：宿題。買い物。

留学種別	TESS II
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

- ・ **Research, Academic writing, Academic listening and speaking, Academic reading, lecture**  
全てブルックスのハーバードリファレンススタイルの引用や参考の仕方を学んで、それに基づき進める。
- ・ 日本人とサウジアラビアが1番多い、その他、タイ、トルコ、イスラエル、中国など 20人ほど
- ・ 月曜から木曜 9:00~1:00、金曜 9:00~11:00 レクチャー
- ・ ブルックスオリジナルの教材

### II. 生活状況

夜がかなりうるさすぎる。こちらの文化なのかもしれないけれど、夜中の3時から5時までクラブミュージックが鳴り響いたり、とにかく夜遊びが多い国なので、日本人の生活スタイルとは違うように感じる。

ナフスがオススメする **Clive booth** のノンエンスイートは、シャワーが数日間使えなかったり、フラット全体の電気が動かなくなったり、暖かい水が使えなかったりして、設備が悪いほうだと思った。しかし、その分の費用は戻ってきた。

オックスフォードは基本的にとっても住みやすい町だと思う。無料でシティーセンターまでいけるし、学校から1時間半でつくロンドンへのバスもある。

ただ、冬に近づくにつれ、日が落ちるのが早くなり、早い時間でも、帰り道が真っ暗になる。夜暗い中、**Clive booth** の自分のフラットまで電灯が薄暗く、人気のない森を通らなければならなかったりして、少し怖いと思っている。

留学種別	TESS II
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

コース内容

#### University English

listening, speaking, writing, reading の4分野を中心に、アカデミックな英語について学びます。主な目的は、アカデミックレポートの書き方、それに伴った英語でのプレゼンテーションを習得することです。

クラス人数 20人

国籍 サウジアラビア (education program で来ている学校の先生たち)、中国、タイ、トルコ、シリア、日本

授業時間

月一木 9:00~13:00

金 9:00~11:00 (毎週講師が変わる lecture のため、時間変更あり)

教科書は、学校から支給されます。

授業形式: 日本同様、ゼミ形式

大学の学習環境: 24時間空いている図書館があるので、好きな時に利用できます。また、寮の office にも、学習用コンピュータールームあり。

### II. 生活状況

寮: 各自部屋があるので、勉強したいときは部屋でゆっくり過ごせます。清潔面も問題なし。キッチンが共用ですが、フラットメイトと仲良くなれば、話しながらご飯を食べられるので、とてもいいです。ただ、周りの中には、部屋からほとんど出てこないほとがいるフラットや、キッチンに人が集まらないフラットもあるので、フラットのメンバーによって差がある。

通学方法: 徒歩 15分程度

食事: 基本自炊 週に1、2度ほど外食をします。(予算一回あたり 1500~2000円)

スーパーは、寮から歩いて 20分ほどのTescoか、バスに乗って city centre のスーパーに行きます。

物価はそこまで日本と変わりません。むしろ、パンや牛乳は安いです。

日本食や調味料は、アジアンマーケットで手に入ります。

休日は、ロンドンに行ったり、友達と city centre に行ってお買い物をしたり、society のイベントに行ったりします。

なので、宿題はできるだけ平日に終わらせるようにしています。

留学種別	認定
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

- ・英語の四技能を中心に月曜日から金曜日まで学習。内容は中学や高校でやった内容＋アカデミックな英語。
- ・全体で大体20人程度で、コースのレベルによって人数は変わってくるが、大体同じくらい。国籍に関して、アジア系が多くみられる。特に中国や日本。また、中東系の人も多く、私のクラスの半分はサウジアラビア人が占めていた。
- ・月曜日から木曜日までは、9－13時の途中休憩あり。金曜日は、9－11時で毎回先生が変わり、様々なジャンルの話を聴講。
- ・配布された特別な冊子や教科書を使い学習。
- ・聞いて、考えて、答える。一般的な中学、高校の授業と同じ。
- ・OBUは生徒が多いので、教室の前や共同スペース、図書館に自習するスペースが多々あり、勉強しやすい環境。また、会話が許される所とそうでないところがあるので、自分に合った環境で勉強に集中できる。

### II. 生活状況

- ・共同部屋で基本食事をしたり、くつろぐことができる。自分の部屋には、ベッド、トイレそしてシャワーがある。しかし、寮によって設備が違うので、選ぶときは自分に合ったところを選ぶといいと思う。
- ・OBUのバスは、寮生であれば無料で乗れる。乗車時間は10－15分程度。
- ・Tescoというスーパーマーケットで、食材を買い自炊がメイン。外食は友達と外にいるときだけ。
- ・課題が大変な時は、図書館に行く。そうでないときは、友達と遊ぶ。

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

今期私が受講したのは **University English** コース（英語コース）のレベル3（学部に上がる直前のレベル）です。

まず、一週間の時間割としては、月曜にリサーチ、火曜にリスニング・スピーキング、水曜にライティング、木曜にリーディング、金曜は毎週違う先生によって教養を深めるような内容の授業が行われました。月曜から木曜は9時から13時（休憩は20分から30分ほど）、金曜のみ短く、9時から11時まで（休憩なし）でした。1日に授業は1科目、その分宿題が1科目あたり毎週3～4時間ほどかかるように出されていると説明を受けました。

レベル3はセット1とセット2という2クラスに分かれており、私はセット1に振り分けられました。セット1は18人（日本人5人、中国人5人、サウジアラビア人5人、アルジェリア人1人、シリア人1人、フランス人1人）です。日本、中国、フランスの生徒は交換留学生やイギリスの大学へ入学する準備としてこのコースを受講しているのに対し、サウジアラビア、アルジェリア、シリアの生徒は既に働いており、多くは結婚・出産も経験していました。

次に、使用教科書については、購入する必要は無く各授業の初めに1教科1冊ずつ配布されました。これは市販の教科書ではなく、オックスフォードブルックス大学ビジネススクールによって作られたものです。また、金曜日のレクチャーは教科書が無く、先生によってはプリントが1枚配られる程度でした。

授業はもちろん教科書をメインに進められましたが、ムードルに毎日のパワーポイントが載せられており、それを見て復習することが求められました。ムードルには他にも宿題の英語長文やリスニングのウェブサイト、アサインメントの提出フォームなどがあり、毎日ムードルを確認することが必須でした。金曜のレクチャーは講義を聞くことが主な受け身の授業でしたが、月曜から木曜は生徒も積極的に参加する形式の授業でした。授業の初めに宿題の答え合わせと前週の内容の振り返りをした後、その日のテーマの確認、単語学習をして本題に入っていくという流れでした。

最後に大学の学習環境としては、静かに学習できる環境とグループワークができる環境が明確に分けられているという印象を受けました。図書館には普通の学習スペースの他に **quiet room** という部屋があり、そこは特に静かに勉強ができるようになっています。また、外大で言うコミュニケーションプラザのような場所がいくつもあり、円卓でグループワークを行っている生徒が多くみられます。環境が非常に良い分、大学で勉強したいと思う生徒が多いのか、机と椅子の数は不足しているように思われます。

特筆すべき点としては、盗作に非常に厳しいと感じました。**Plagiarism** に関する知識を何度も繰り返し学び、このレベルのアサインメントでも **turnitin** を使ったチェックを行っているのが印象的でした。なぜ盗作がいけないのか、どのように避けることができるのかを学ぶことができたのは大きな収穫だと思っています。

### II. 生活状況

生活状況については、寮、食事・買い物、休日の過ごし方の三点に分けてご報告いたします。まず、私はオックスフォードブルックス大学から歩いて10分ほどの **Clive Booth Student Village(Non en-suite)** に住んでいます。**Non en-suite** では1つの建物が1つのブロックになっており、ブロックの中に1つ6人ほどのフラットがあります。私はCブロックのフラット7です。キッチン、トイレ、シャワー（バスタブ無し）は共用スペースとなっており、部屋にはベッド、

机、クローゼット、ダンス、カーテン、洗面台、ヒーター（自動オンオフ）が備え付けられていました。

マイナス面としては、私が到着した9月15日以降、この寮では問題が多く起きています。例えば、2週間ほどお湯が出なくなりシャワーと洗面台が使えない、自動でつくはずのヒーターがつかなくなる状態が続くなどです。友人はシャワールームの天井から水漏れしたり、トイレの水が流れっぱなしで止まらなくなったりしていましたが、なかなか修理に来てもらえず困っていました。修理はオンラインで申し込むのですが、確認に時間がかかるようです。また、女性のみフラットを希望したにもかかわらず男女混合になっているケースは少なくないようです。

次に食事と買い物については、大学とシティセンター（無料大学バスで10～15分ほど）ですべて済ませることができます。まず大学にはコンビニエンスストア、スターバックスコーヒー二軒、カフェがあり、簡単な食事はとることができます。また、大学バスを使ってレストランやスーパーマーケットなどにも行くことができます。私の場合、朝は授業前に簡単な食事（パンとコーヒーなど）をとり、授業後にクラスメイトとバスでどこかに食べに行くことが多いです。私のフラットのキッチンはとても汚く使いたくないため自炊はしていませんが、友人のキッチンを借りて料理をすることは頻繁にあります。

最後に休日の過ごし方としては、1人でいることはほとんどありません。授業がある間は友人と大学の図書館で宿題に取り組んだり、食事のために出かけたり、イギリス国内で旅行に出かけたりしていました。冬休みはコースの復習をしたり、友人と会ったりしています。現在は1月にヨーロッパ旅行に行く予定を立てている最中です。

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私の履修しているコースは **university English** という留学生向けのコースで、月曜から木曜までの9時から13時の授業（間に20分の休憩あり）と、金曜日に2時間のレクチャーがあります。クラスは20人くらいで、サウジアラビア、中国、タイ、トルコ、日本からの生徒がいます。年齢はばらばらです。大抵の人がこのコースを終えた後、学部授業や大学院コースへ行くそうです。時間割は、**research, listening & speaking, writing, reading** で、この4つのモジュールを12週間受けます。どの授業でも冊子が配られ、それを使って進めていきます。教科書や本を買う必要はありませんが、**writing** など、ノートが必要になるときが時々あります。課題としてエッセイなどの提出をすることがありますが、学校のコピー機を使って印刷することができます。ただ、コピー機を使うのにお金がかかるので、学生証にお金をチャージして使用します。金曜日のレクチャー以外は、小さな教室で授業を行います。席は決まっていないので、毎回異なるメンバーとグループディスカッションをすることができます。

### II. 生活状況

**Clive booth** という学生寮で暮らしています。**Clive booth** はフラットがたくさん集まった **student village** にあって、キャンパスから徒歩10分くらいです。私のフラットはオランダ人、アメリカ人オーストラリア人の男女5人で、キッチンシャワー、トイレをシェアしています。電子レンジ、冷蔵庫、電気ケトルは各寮に支給されますが、料理道具や食器、トイレトペーパーや洗剤などは自分たちで用意する必要があります。私の寮では、お金を出し合って、料理道具や食器などをみんなでシェアしています。共用スペースは週1回業者の人に掃除してもらえます。各自の部屋には、ベッド、机、クロゼットがあります。**Wi-Fi** も使えます。ただ、壁が薄く、電話の話し声や音楽、目覚ましの音などがそれぞれの部屋から漏れ出ています。寮のすぐ近くにはお店などありませんが、キャンパス内にスーパーが1つあり、すぐ近くのバス停からバスに乗り10分くらいでオックスフォードの街に出られるので、とても便利です。バスは、学校から渡されるカードを使って特定のバスを使えば無料なので、授業終わりや休みの日など、簡単に買い物に出ることができます。大きなショッピングセンターなので、スーパーで食料品を買ったり、服や雑貨を買うこともできます。

留学種別	TESS II
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### ・コース内容

授業は単位変換できるようなもの（日本の講義と似ているもの）をこちらで履修しています。

**Understanding Media (メディア論)**

**Social Differences and Divisions (ジェンダー論)**

**Europe and the World 1450-1750 (ヨーロッパ研究)**

**Investigating Communication, Media and Culture (カルチュラルスタディー)等**

#### ・クラス人数、国籍

クラスによって様々ですが、小さな教室で行われる7人程度のものから大ホールで行われる100人単位のものまで

国籍は全世界から集まっています

#### ・一週間の時間割

月曜日：メディア論

火曜日：カルチュラルスタディー

水曜日：ジェンダー論・ヨーロッパ研究

木曜日：自学自習

金曜日：自学自習

・使用教科者は主に **amazon** で本を購入するか、図書館のものを借りる（教授によってはスライド形式のものも有）

・講義形式・ゼミ形式 両方有り、大講義の後にグループに分かれセミナーを行うことでより理解を深めたり、質問・発言する場を設ける

・学習環境 図書館が24時間体制でとても整っている

### II. 生活状況

#### ・宿舎の設備、環境

シェアするものが多く、ストレスになりやすい

週に一回クリーナーが来るが、掃除が行き届いていないことが多い

壁も薄く音の問題有り

異文化理解ではあるが、食料の匂や生活習慣の違いが問題となることも多々

・ホームステイ先の環境 無回答（ホームステイではないため）

・通学方法 バス

イギリスの交通網環境は最悪で、バスは絶対と言っていいほど時間通りには来ない  
 気候がもう少し暖かければ、自転車通学も良い手段となることが推測される

・食事や買い物 毎日自炊 物価が高く、外食はできない

買い物は、必要があれば近くのスーパーへ二週間に一回のペースで行く

・休日の過ごし方 主に勉強

イギリスの文化として、お酒をたくさん飲む習慣があり（イギリス人はみんなお酒大好き）、週末はみんなパブへ行くことが多い

留学種別	TESS II
留学先大学	オックスフォードブルックス大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私が受講したコースは、IELTS5.0が必要な University English Level2 です。Academic English を学びます。クラスは、18人いて、サウジアラビア人10人、中国人2人、日本人2人、タイ人1人、スペイン人1人、アルジェリア人1人、イラン人1人でした。Level3のクラスは、比較的日本人が多いようで、休み時間も日本人と話している姿をみかけました。一週間の時間割は、月曜 Academic Writing、火曜 Academic Listening & Speaking、水曜 Academic Language Development、木曜 Academic Reading それぞれ9時から13時までで、休憩時間は先生によって異なりますが大体30分ほどです。金曜に Level2 も3も合同の Lecture があります。使用教科書は、月曜から木曜まで1冊ずつあり、書き込み式のテキストブックです。授業形式は、月曜から木曜までゼミ形式でグループディスカッションが多く、金曜のみ大人数なので講義形式です。大学の学習環境はかなり良く、図書館も広く自習できるスペースはとても静かで集中できます。また、コミプラのようなにぎやかなスペースもあり、パソコンがたくさんあります。

### II. 生活状況

す。

私は Lady Spencer Churchill に滞在しています。宿舎は、Wheatly campus という別のキャンパス内に位置しており、パソコン室や少し小さいですが図書館もあり、その中に自習室があります。フラットには、狭いですが共同のキッチンと、トイレと、シャワールームが3つずつあります。このトイレとシャワールームは、もう一つのフラットと繋がっており、12人とシェアしていますが、問題が生じたことはありません。授業がある Headington campus からはバスで20分ほどかかります。時間通りにはこないのので何回か遅刻したことはありますが、バスが遅延することは当たり前なので大丈夫です。Oxford Brookes Key というカードが寮から支給され、大学までと City 行きのバスは無料です。食事は月曜から金曜まで朝食と夕食、土曜は朝食のみ、日曜は昼食のみカフェテリアでいただけます。料金は寮費に含まれています。(ちなみに電気と水道代も) 買い物はバスで30分ほどの City で済みますか、食料品は大学までの途中のバス停にスーパーの通りがあり、15分ほどで行けるので大学から帰るときに寄っています。特に不便はしていません。休日は旅行をするか寮の近くのパソコン室で課題をしています。ロンドンには学生割で往復10ポンドで行けますし、パリやブリュッセルはユーロスターで行けます。金曜が11時に終わるので、授業後から二泊三日でも十分どこでも旅行できます。

留学種別	TESS II
留学先大学	キール大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

一学期では4つの授業を履修した。**English for Academic Purposes 4**では、大学で必要となるアカデミックな英語能力を伸ばすための授業であった。留学生だけで構成されているので、国際色が豊であった。留学生だけという環境が互いに安心感を与え、アットホームな雰囲気の授業であった。授業形式は、先生がスライドを使って説明し、数人で与えられた質問に対して話し合い、個人で読み書きする時間もあった。先生と学生の距離はこの授業が最も近く、何でも気軽に相談することができた。授業は週に一回、授業時間は二時間であった。**Marketing Principle**は学部授業で、週に講義形式の授業が一回（一時間）、少人数のチュートリアル形式のクラスが一回（一時間）の計二回で構成されていた。授業内容は主にマーケティングの基礎であり、マーケティングはどのように成り立っているのかなどであった。基礎とはいえ、毎回非常に勉強になる授業であった。講義は150人ほどの学生がいたと思われる。チュートリアルは主に与えられた質問に対してペアで話し合うことが多かった。**Social Inequalities in the Contemporary World**は社会学部の授業で、講義形式の授業が一回（一時間）、少人数のチュートリアル形式のクラスが一回（一時間）の計二回で構成されていた。授業内容は現代社会で起こりうる不平等な行為や考えについての授業であった。様々な分野において生じる差別や不平等な環境を学ぶことができた。講義は毎回異なる先生によって行われた。講義を受ける学生の人数は100人程度と推測する。チュートリアルの授業は全体で意見を出し合うということが多かった。**Family and Households: Diversity and Change**は社会学部の授業で、講義形式の授業が一回（一時間）、少人数のチュートリアル形式のクラスが一回（一時間）で構成されていた。講義の人数は50人程で、チュートリアルは15人弱で構成されていた。家族を社会的に学び家族内のそれぞれの関係がどのような役割を果たしているのかを学習した。二年生向けの授業だけあり、理解するのに相当時間がかかった。しかし、非常に興味のある分野であった。授業を通して学んだことは多いが、反省点もある。難しくても頑張ってみようという思いで、留学生向けではない学部授業を三つも履修したため、現地の学生と同じ環境で学ぶ上に、専門的な予備知識がないまま履修することは大変であった。図書館は24時間空いているため、毎日明け方まで勉強に励んだが、追いつくことが難しかった。キール大学の多くの学生は、夜遅くまで勉強しており、その姿には刺激を受けた。このような環境下で勉強できる機会はなかなかないだろうと思う。このような機会をいただいた以上、二学期はさらに努力を重ね、納得のいく留學生活を送りたい。

### II. 生活状況

寮生活は、ひとりひとりの部屋があり、快適に過ごすことができた。掃除担当の方が二週間に一度部屋を掃除してくれ、キッチンには16人で共有であったが、十分に寮の設備を利用することができた。大学の敷地内に寮があるため、寮から5分から10分程で教室に着くことができた。食事は主に自炊であった。バスで15分程のところスーパーがあり、に行くことができるので、一週間に一度、まとめ買いしていた。しかし、一学期間は体調を崩しがちであった。バランスの良い食事をとることは、健康な体をつくるために重要なので、二学期は健康的な生活を心掛けたい。個人的な買い物は、主にバスを利用して行っていた。キール大学の周りには、商業施設はあまりないが、自然に溢れているため、疲れている時には、大学内を散歩してリフレッシュしていた。休日で余裕がある際には、電車に乗って小旅行に出かけたりもした。沢山の良い友人に囲まれ、非常に充実した留學生活を送ることができた。

留学種別	TESS II
留学先大学	キール大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

コース内容について：主に心理学の授業をとっていて、内容として一つは主に発達心理学、社会心理学、個人心理学についての講義を週に二回各一時間、約 100 人で受け、ゼミ形式が週に一回一時間、約 20 人で受ける。2 つ目はカルトや催眠、ゾンビなどの異常現象や超常現象について、週に一回二時間異なったトピックについての講義を受ける。3 つ目はイギリスの歴史や特徴について、各週異なった題材について講義を一回二時間。約 20 人で受ける。4 つ目は学術的な **essay** の書き方について学ぶ。週に一回二時間、約 10 人ほどで受ける。**writing** のクラスと酷似しているが内容の質自体は高い。

使用教科書について：心理学では二冊の教科書を購入したが、使用頻度は極めて低い。すべての授業に共通してスライドを用いている。また、学校独自のサイトから使用されたスライド各コースの内容欄からインストールすることができる。

学習環境：多くの生徒が図書館を使用している。24 時間毎日開いていて、飲食は基本的に許されている。各教室も広く、清潔に保たれている。また、いくつかの学科について、専用の棟が存在している。

### II. 生活状況

宿舎について：自身の棟は約 30 人男女半々で生活している。四階建てで、各階には約 8 人が住んでいる。トイレは各階一つ、シャワーが二つ設備されている。キッチンは二つで男子用、女子用となっていてお互いに鍵があり、お互いに勝手に入ることはできない。また、他の宿舎では自室にトイレ、シャワーがついているものもある。また、数人で一つの建物に住むとゆうものもあった。これもまた各個人に部屋がある。通学は徒歩で、どの建物に住んでいるかまた授業を受ける場所によるが、自身の住むところからは約 5-8 分で行くことができる。

食事や買い物について：食事は学食のようなどころがある。朝と夜で異なり、9-19.30 開いていて、一食約 450 円で食べることができる。ほかにはコンビニのようなものがあり主に生活用品を買うことができる。ほかにはパブが 4 つあり、飲食が可能である。カフェも二つほどある。薬局もあり、薬を購入することも可能である。買い物はバスで町までいかなければオンラインで買わない限り、基本的に不可能である。片道約 40 分 300 円ほどかかる。二つほど大きな町があり、服や食材、日用品などを購入することができる。

休日の過ごし方：主に友人と過ごしている。町まで行き、買い物や映画を見たりしている。課題などもあるが、大きく時間を取られるものは少ないので平日の夜などに終わらせることが可能。敷地内にパブがあるので飲食をしたり、会話をしたりしている。または、自身の部屋で映画を見たり、学術本が豊富にあるので、日本にはなかなか難しい学問の本を読んで自主学习している。

留学種別	TESS II
留学先大学	セントラルランカシャー大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

一年間語学コースの授業となり前期は **Listening・Speaking、Writing・Reading** 授業、後期は **EAP、Port** と呼ばれる授業に分かれます。クラスは2つあり、人クラスで20人ほどになります。主に日本人、中国人で構成されていますが、多数のフランス人が二週間ほどプログラムでクラスに来ました。現在では授業は一週間に17時間あり、ゼミ形式ですが教科書はほとんど使うことはなく、主にエッセイの書き方やスピーチテストの対策などをします。学習環境は私的にはとてもよく、図書館も24時間いつでも入れます。

### II. 生活状況

私はイギリス人のフラットメイト6人で **IQ KOPA** という寮に住んでいますが、何の問題もなく暮らせています。キッチンもみんな管理しシティセンターや大学からも近く徒歩で十分な距離にあるので困ることはありません。寮で食事は出ないので週に1、2回、近くの **Aldi** というスーパーマーケットに行き自炊していますが食費は外食をしなければそんなにかかることはないと思います。休日は、プレストンだとマンチェスターやリバプールなどに近かったりレイルカードを使えば安く行けたりするので国内旅行をしたり、友達とショッピングをしたりして過ごしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	セントラルランカシャー大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

IELTS および英語能力の向上を目的として、リスニング、ライティング、リーディング、スピーキング、文法をバランス良くおこなう。

週8授業、計20時間。

約20人、主に日本人と中国人。

使用教科書、現地で手渡しされる。リスニング&スピーキング、ライティング&リーディングの二つに分かれる。二期からは教科書がレベルアップ。

授業形式、先生が解説しつつ、生徒に発言機会を与えつつ、教科書に沿っていく。

図書館24時間使用可能

### II. 生活状況

共用シャワー以外は十分良い。

フラットメイトと交流の機会があって、一緒にご飯作ったり、サッカー観たり楽しく過ごせた。フラットメイトは全員いい人で、気軽に会話も交わせた。食器類はフラットメイトとシェアした。

通学方法、徒歩

食事や買い物、主に自炊、買い物はALDIという安いスーパーへ。

休日はほとんど友達と過ごす。特に、**Japanese society** というサークルみたいなもので、出会った友達やフラットメイトと過ごした。学校の敷地内にあるパブでサッカーを観たり、サッカーを現地まで観に行ったり、友達の家に行ったり、イギリス内の街を観光したりした。

留学種別	TESS II
留学先大学	セントラルランカシャー大学
留学先国・地域名	イギリス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

学部授業を履修してみて私が思ったことは、大きく分けて3つあります。1つは授業の内容がとても実践的で活動的であるということです。日本の大学のように一方的に講義を聴く授業は少なく、多かれ少なかれ発言やグループディスカッションを求められる授業がほとんどでした。2つ目はクラス内にいろいろな国の人があったということです。もちろん自分しだいですが、たくさんの国の人と話せることができると思いました。3つ目は英語で学ぶということはとても難しいということです。日本でも学んだことないことを英語で勉強するのはとても時間がかかり大変でした。レポートの書き方などもいちから英語で学びました。でも、分からないことがあれば先生が教えてくれたり、サポートがあったのでなんとかやりきることができました。

### II. 生活状況

まず、イギリスに着いてから大変だったのは日用を集めるのに時間がかかったことです。物の買い方やどこに何が売っているのかがわからなくて困ることがよくありました。でも、そんなときは現地でできた友達や英語が母国語の友達に助けをもらったりしながら生活に順応できるようになっていったと思います。また、イギリスの硬水と乾燥のせいで肌がひりひりすることがあったので出発前にちゃんとスキンケア方法を調べておけばよかったと思いました。

留学種別	TESS II
留学先大学	トリノ大学
留学先国・地域名	イタリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

トリノ市を中心に複数のキャンパスが学部ごとに点在している。それぞれのキャンパスには、図書館や自習室が備わっている。授業は基本的に講義形式である。イタリア語開講の授業が主だが、英語開講のものも多くある。また、スペイン語やフランス語などのヨーロッパ系の言語、中国や日本などのアジア系の言語に至るまで幅広い言語で開講された授業が存在する。生徒は大半がイタリア人学生だがヨーロッパを中心とした学生も多くみられる。アジア人やアフリカ人の学生は非常に少ない。

前期は英語開講の学部授業「アメリカ史」と「ヨーロッパ地域研究」の計 2 コマを取っていた。「アメリカ史」は一コマ 2 時間で週 2 日あった。「ヨーロッパ研究」は全部で 66 時間ほどあり、出席率に応じてもらえる単位が異なるという仕組みだった。例えば、30 時間出席で 3 単位、45 時間で 6 単位、60 時間で 9 単位分に相当する。授業は 1 コマ 2 時間だが、曜日が定まっておらず、不定期に開講される。毎回いろんな国や地域から教授が来て、それぞれの専門分野についてヨーロッパで現代起きている問題を争点に講義が行われる。テストはないが、その代わりに授業で取り扱った内容に関するレポートを英語で 13 ページ提出しなければならなかった。外国人留学生向けのイタリア語講座も受けた。1 コマ 2 時間、週 2 日あった。内容はイタリア語の基本的な文法に関してで、英語で行われた。また、イタリア語開講の「ファッション史」についての授業も時間があるときに聴講していた。

### II. 生活状況

現在はトリノ大学の学生寮「オリンピア」に住んでいる。自習室、プレイルーム、サッカー場、テレビルーム、大衆食堂、ジム、ヨガルームなどの公共設備が整っている。1 人部屋と 2 人部屋がある。2 人部屋はキッチンが付属しており、寝室、リビング、ユニットバスで構成されている。また、各部屋には暖房、ソファ、テーブルなどが備え付けられている。洗濯は予約制で、地下にある洗濯専用の部屋でできる。洗濯機と乾燥機の使用はそれぞれ 1.5 ユーロからである。月に二回掃除サービスがあり、タオルの交換、ベッドメイキング、トイレ掃除、キッチン掃除、床掃除、ごみの処理等を行ってくれる。一番近いキャンパスまでは徒歩 2 分で、遠いところだと徒歩 20 分ほどである。基本的に自炊で、近くのディスカウントスーパーで週 2 回ほど買い物している。休日はここで会った日本人の友達や、イタリア人の友達を中心にカフェに行ったり、ショッピングをしたりして過ごしている。

留学種別	認定
留学先大学	グリフィス大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### ・ESL

- ・14人 コロンビア、中国、日本、ベトナム、フランス
- ・毎週月曜日から金曜日まで四時間授業 (Reading, Listening, Writing, Speaking)
- ・使用教科書なし
- ・ゼミ形式
- ・自習室あり

### II. 生活状況

#### ・ホームステイ

留学での一番の思い出はホームステイ先での生活だと思います。家族との団らんの時間がその日のうちで一番の心が安らぐ時間です。

- ・バス
- ・三食ホストマザーが作ってくれます。いつもとてもおいしい料理で大好きです。
- ・休暇はよく友達と出かけます。ホストの家族行事にも参加します。

留学種別	認定
留学先大学	グリフィス大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

この2か月で **Griffith University** の大学付属機関である **Griffith English Language Institute(GELI)**では、**Direct English Program(DEP)**と**English Test Preparation(ETP)**の2つのコースを受講しました。5週間で1学期とされており、15週間の3学期間を現地で受講します。**DEP**にはレベル1から7まで開講されており、入学前にレベル分けテストがオリエンテーション日に行われました。私は**IELTS**のスコアを持っていたので、その日にテストを受けずに、最初の学期は**DEP 6**に振り分けられました。履修登録などはなく、月曜から金曜までの午前授業で週20時間の授業時間となっています。**DEP 6**では、1クラス17人でベトナム人、コロンビア人、中国人、日本人の4国籍の授業で、中国人の生徒が多めの割合でした。授業は講義形式で先生が黒板の前で進めていく形式です。**Focus on vocabulary**という大学指定の教科書が貸し出しされ、アカデミックライティングとリーディングを中心に学ぶので、授業でのスピーキングはあまりなかったです。

2学期目は**DEP 6**の終了テストをパスした際に**DEP 6**にこのまま滞在するか、それともコースを変えて**ETP**というコースに移るかを先生から尋ねられました。**GELI**の**DEP7**は現地大学へ進学する生徒しか進めない決まりがあるためです。**NUFS**の先生方にメールで相談をして、今後は**ETP**を受講することとなりました。**ETP**を受講するために、新たな語学試験や履修登録ではなく、**DEP6**同様に月曜から金曜までの午前授業で週20時間の授業時間となっています。**ETP**では、1クラス8人で韓国人、コロンビア人、中国人、日本人、ブラジル人の5国籍の授業でそれぞれ1~2人のバランスが良い割合でした。少人数のため、先生を中心にした席の形で授業はディスカッション形式で進めていく形式です。**IELTS**のテスト対策を中心に学ぶので、**IELTS**公式テキストブックを使用して4技能をバランスよく学ぶことができます。ディスカッション形式のため、スピーキングの練習をする機会に恵まれていました。**GELI**には、図書館に多くの自習室が準備されていたり、大学にパソコンを持ってこなくて大丈夫なようにパソコンの設備があったりと学習環境が充実しています。

### II. 生活状況

滞在形態はホームステイで、2年前の学科の海外研修でお世話になった家族に再びお世話になっています。ホストマザーに再び連絡を取り、指示に従って現地大学のホームステイサイトを通じてアプライしました。夕食後に、家族でお茶を飲む習慣があるのでその日の出来事を話したりして、スピーキングの改善につながっています。大学への通学方法は、バスを使って20分ほどです。乗り換えなどはなく、バスの本数も多いためとても通いやすいです。食事は朝昼夜の3食に加えてモーニングティーが含まれています。朝食は家にある食材で済ますため、基本的にシリアルかパンにコーヒーの組み合わせでした。昼食として平日はお弁当を毎朝ホストマザーが準備してくれました。土日は、家族でサラダとサンドイッチなどを食べていました。基本的にホストマザーの作る夕食でした。ホストマザーはスコットランド出身のためイギリス料理が多く、たまに私と一緒に日本のカレーを作りました。買い物は近くに**garden city**という大きなショッピングセンターがあるので、そこで全てが揃います。アジアンフードが揃う**sunnybank plaza**が近くにあるので、日本食などを簡単に揃えることが可能です。また、**DAISO**があるので、日本の製品を買い揃えることが出来ます。休日は現地で出来た中国人や韓国人の友達と出かけたり、ホストファミリーと海へ行ったり、お菓子作りをして過ごしました。

留学種別	認定
留学先大学	グリフィス大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### ・ ELICOS

- ・ 16人 中国 韓国 日本 エクワドル
- ・ 4時間×5日
- ・ Oxford EAP
- ・ グループワーク
- ・ 図書館 24時間利用可 教室の冷房の効きが強め

### II. 生活状況

ホームステイ 清潔 料理おいしい ホストファミリーと会話する機会多 門限あり 鍵はもらえない

徒歩通学 15~20分

ホストファミリーが用意する食事 持ち込み不可

休日は友達と出かけるまたは友達の家で集まる プール bbq など

留学種別	TESS II
留学先大学	サザンクロス大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

EAP (English for Academic Purposes)を学部に入る前に 10 週間受けます。クラス分けがあり EAP1.1, EAP1.2...のように分けられます。

コース内容...大学で学部生になった時に必要なスキルを学びます。引用の仕方(Harvard Referencing Style)、SCU の学習サイトを使ったオンライン課題、ショートエッセイ (500 字程度)、個人プレゼン (5 分程度)、Annotated Bibliography、リサーチレポート (1000 字程度)、グループプレゼン (16~20 分程度)

最終週になると卒業試験があり SCU 独自の IELTS 方式でリーディング・ライティング・リスニングテストがあります。そのほかにもノートテイキングのテストもあります。私のような EAP から学部に入る学生 (Career Start) は 5.0 以上のスコアが必要です。

クラス構成...21 人 (日本、中国、台湾、インド、インドネシア)

時間割...私は午後クラスをとっていたので 13:30~18:10 の時間割でした。1 コマ 1 時間 30 分で 15 分の休憩があります。

教材...基本的に毎回授業でハンドアウトが配られます。教科書はありません。

授業形式...4 人 1 組のグループとして受けます。ペアワークや自分の意見を言う場面もよくあります。各国籍で考えが異なるので日本人としての意見を求められることが良くあります。

学習環境...EAP 学生も図書館など大学の設備は自由に使用できます。24 時間開放してある学習スペースもあります。コンピュータールームもありますが、印刷にはお金がかかるので注意が必要です。

### II. 生活状況

ホームステイは NUFSS 指定の仲介サイト AHN によって決まります。シャワーやトイレ、キッチン、洗濯機、インターネットなどの設備は整っています。私は 2 か月ほど滞在してからホストの長期不在のため引っ越しをしました。その際の新しい家の手配やホームステイ費用の受け継ぎは AHN が行うので問題ありません。

通学方法は基本的にバスになります。Go Card という IC カードでクイーンズランド州のバス、トラム、電車、フェリーに乗ることができます。注意点は EAP の学生は学割の「適用外」ということです。EAP を卒業し正規学部生としての学生証がもらえると学割が開始となり半額で利用できます。

ゴールドコーストキャンパスで勉強するなら大きなショッピングセンターがあるので買い物や映画鑑賞には困らないと思います。

休日にはたくさんあるビーチで遊んだり買い物に行ったりできますし、ブリスベンに 1, 2 時間で行くともできます。町中にバスケットコートや体育館などありますしそういった場所で過ごす人とのお会いもあるのでお勧めします。

留学種別	TESS II
留学先大学	サザンクロス大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

**EAP(英語学校)** 主にアカデミックの内容例えばエッセイの正しい書き方であったり、学部へ行ったときの課題の助けになることを **10Week** やります。クラスは午前午後の部と別れていて自分は午後でした。一クラス **20** 人ほどで国籍は **9割 Chinese** です。ほかのクラスも同様だったと思います。ですが **Session** ごとにその割合は変わると思います。もっと多国籍だったり日本人ばかりだったりいろいろです。月曜から金曜まで **1時半から 6時**までみっちりです。課題も毎週あるので退屈してる暇はないです。教科書はないです。プリント等は配られます。小規模クラスなので一人一人の存在価値はでかいのでさぼりは許されません。学校は週七で **24** 時間空いているので週末等も夜まで課題に取り組むことも多いかと。これから学部が始まります。自分は授業は週3です。

### II. 生活状況

#### ホームステイ

父母インターナショナル生徒 **2人犬2匹**

朝夜は出してもらえる。

バスは自分のところは早く閉まってしまうのでチャリかスケボが必要になります。買い物はチャリとバスでどこでもいけます。

週末はサッカーしたりほかの都市行ったり、勉強したりゲームしたりビーチいったり何でもできます。

留学種別	TESS II
留学先大学	サザンクロス大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### ・ Language and learning in your Discipline

大学の授業に必要なアカデミックリーディングやライティングについて。クラス人数は 20 人ほど。ほとんどが中国人留学生。指定教科書はなく、授業内容のシラバスやスライドは学校のサイトからダウンロード。チュートリアル形式。

#### ・ Tourism in Pacific Asia

アジア圏の観光業について。観光業が経済や環境に与える影響についても学んだ。クラス人数は 8 人ほど。日本人と中国人。指定教科書はなく、授業内容のシラバスやスライドは学校のサイトからダウンロード。チュートリアル形式ではあったが、この授業はどちらかというと講義のように話を聞いている方が多かった。

#### ・ Facility and Risk Management for Hospitality Operations

ホテルやレストランなどのサービス業で起こりうるリスクの把握の仕方、それに対応する方法についての授業。クラス人数は 8 人ほど。ほとんど中国人留学生。指定教科書はなく、授業内容のシラバスやスライドは学校のサイトからダウンロード。チュートリアル形式。オンラインの学生ではないので、録音されたレクチャーを見て、翌日の授業に備える。

#### ・ 1 週間の時間割

月曜日から木曜日まで 1 日 1 科目

#### ・ Australia, Asia and the World

オーストラリアから見るアジアについて。オーストラリアにおける **multiculturalism** や **cosmopolitanism** の定義について考えるという内容。クラス人数 25 人ほど。自分を含め 3 人以外オーストラリア人。指定教科書はなく、授業内容のシラバスやスライドは学校のサイトからダウンロード。毎週授業内容に関する本を読むよう言われたが、その本もサイトからダウンロードできるようになっていた。チュートリアルとレクチャー。レクチャーも学校で受けることができた。

#### ・ 学校の設備について

留学生に優しい機能がたくさん備わっていると思う。図書館に行けば参照の仕方を教えてくれたり、予約をすればアカデミックサポートを受けることができる。また、**studiosity** というツールを無料で利用することができ、課題を提出する前に文法や適切な単語を使っているかなど確認してくれる。

### II. 生活状況

#### ・ ホームステイの環境

1 つ目のホームステイはみんなが違う国籍だったのでいい経験にはなりましたが、歓迎されていない感じ（ただ住まわしてあげているだけという感じ）でホストとの会話も全然なく、ホームステイしている意味がないなと思っていました。現在は 2 つ目のホームステイ先なのですが、とても歓迎してくれてよくしてくれています。会話も弾みますし、気にかけてくれるのでとても過

ごしやすく、勉強するにもいい環境です。

- ・通学方法

バスで **40** 分くらい

- ・食事や買い物

平日は朝食と夕食の2食、土日は3食プランなので基本はホストが用意してくれたものを食べています。平日のお昼はパンとチーズ、ハムなど買ってサンドイッチをつくって学校に持っていくことがほとんどです。

- ・休日の過ごし方

ショッピングによく出かけます。課題の提出物が近い時は、課題に集中して取り組むこともあります。

留学種別	TESS II
留学先大学	サンシャインコースト大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

ELP コースの授業は月から金毎日8時40分から15時まででした。学習内容は主に二つあって、一つは IELTS テストに向けての授業でリーディングやリスニングなどやりました。もう一つは、アカデミックの論文を書くことでした。成績の評価方法は、課題、プレゼンテーションとテストで決められます。すべての合計の点数が 65%を超えていれば ELP コースを合格できます。

クラスは11人いて、中国人と日本人しかいなかったです。使用する教科書はあっちで配られます。しかし、教科書に書き込めません。先生たちがとても優しく丁寧に教えてくれるのでとても勉強しやすかったです。クリスマス時はイベントなどがありとても楽しいです。さらに自習室もあり、決められた日にいけばそこに先生がいるのでいろいろ宿題のことや勉強のことで手伝ってくれます。

### II. 生活状況

ホームステイと寮の二つを経験しました。ホームステイは少し気に入らなかったのが寮に変えました。ホームステイはいろいろ厳しくてルールなどがたくさんありました。しかし、良いホームステイにいた友達もいました。ホームステイは本当に運なのでいい家族が当たるか次第と思います。寮は基本男子二人と女子二人でシェアします。オフィスと相談したら女子だけにしてくれます。キッチンだけシェアして自分の部屋とお風呂があります。自分のルームメイトはとても汚いのでいろいろと悩んできました。そういうときは寮のオフィスで相談できます。寮は大学まで徒歩約10分だけなのでとても近くで便利です。食事は自分で作らないといけないので大学の近くのスーパーでお買い物をしています。私の住んでいるところは結構田舎なので休日は家で過ごすときが多いです。バスの数も少ないけど時間があつたらいろんなところに行けます。しかし、バス15分ぐらいで海にいけるし、バス40分ぐらいで大きなショッピングモールがあるので時々そこで過ごしています。サンシャインコーストはとても自然がきれいだし海もきれいなので落ち着いている場所が好きな人におすすめです。大学のキャンパス内にもカンガルーがあちこちいるのでとても自然豊かな場所だと思います。

留学種別	TESS II
留学先大学	サンシャインコースト大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

前半は、**English of Academic Purposes 2 (EAP2)** というコースでした。授業内容は週5日のうち2日は **IELTS** にもとづいたライティング、リーディング、リスニングの練習で、残りの3日はアカデミックなライティングやリサーチがメインでした。授業で扱う英語のレベルはそれほど高くはなかったが、リサーチペーパーなどの課題で街に出てインタビューをしたり、そのデータをまとめたりと、大変だと感じることもありました。クラスは十数人のクラスで、そのうち4人が日本からの学生、残りは中国からの学生と偏りがありました。授業は毎朝 **8:40** から **15:00** まであり、教科書は大学から貸し出されたものを使ったので買う必要はなかったです。自習室や図書館など勉強出来る場所はあるが冷房が効きすぎていることがあるので上着が必要だった。

### II. 生活状況

ホームステイのホストは **50** 過ぎの夫婦で、よく面倒を見てくれたし、子供もいない家庭だったので静かに落ち着いて勉強できる環境だった。エアコンもついていて、遠慮せず使えばいいと言ってくれた。**2** 人とも料理が上手で食事が口合わないということもなかった。大学までは自転車で約 **15** 分の道のりだったが、平坦な道だったので特に困ることはなかった。買い物が必要な時は、大学から歩いて **5** 分くらいのところにあるスーパーで済ませていた。休日は海などいろいろな所へホストが連れて行ってくれたし、クリスマスもホストやその友達とオーストラリアの過ごし方ができてよい経験だったと思う。

留学種別	TESS II
留学先大学	セントラルクイーンズランド大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

ELICOS (英語コース) では、大学の授業で必要なスキルを向上させるため、講義を想定した内容の授業を受ける。Reading では、学術的なボキャブラリーや英字論文の読解力の向上を目的としている。Listening では、大学の講義のオーディオを聴き取り、内容を理解することを目標としている。Speaking では、プレゼンテーションやセミナーディスカッションを期末テストとし、技術を磨く。Writing では、レポートの書き方、ルール、引用方法など、細かく指導を受け、テストでは時間制限付きで短いエッセイを書く。EAP2 (Advanced) コースでは、期末に1500字の Research Essay を書き、提出する。

クラスには約5~10人の生徒がおり、国籍は、中国人が大半を占める。他には、コロンビア人、タイ人、インド人、スリランカ人、台湾人、ブラジル人など。アジアからの生徒が多い傾向にあり、ブリスベンキャンパスには日本人学生はめったに来ない。実際に、私がブリスベンキャンパス在学中に、私以外に日本人がいたことはない。

1週間5日間(月~金)までの午前中4時間のみ授業がある。場合によっては午後クラスを選択することができる。

教材は、EAP 1 (Upper intermediate) コースでは、"Oxford EAP Intermediate"を使用(購入必須)し、EAP 2 では"Oxford EAP Upper Intermediate"を使用。EAP 2 では教材の購入は不必要である。

授業内では、教師が頻繁に生徒に対して意見や解答を求めることが多いため、コミュニケーションが多くとられる。また、Speaking のテスト前に何度も練習の機会があり、教師からのアドバイスを得られる機会が多分にある。

学習設備は十分備わっており、パソコン室も夜9時まで開いている。教室の空調は自分で調節できないため、いつもやや寒い。キャンパスが小規模のため、教師や他の学生との距離が近く、コミュニケーションを多くとれる。

### II. 生活状況

ホームステイでは、大学からバスで15分ほどのところで、バス停が家の真ん前であったため、とても便利だった。都会から少し離れたところに位置しており、自然豊かであったため、虫が多かった。

シェアルームに関しては、自分で探して見つけた。徒歩10分のところに大学がある。設備はシェアルームによって様々だが、私の場合、水道光熱費、トイレトペーパー代、洗濯洗剤代などすべて家賃に含まれているため、支払いが楽である。また、調理器具も揃っている。ルームメイトは韓国人と台湾人。最大5人まで。

食事は主に自炊。スーパーが近いので、学校帰りに寄って買い出しをし、家で自炊する。日用品や衣類などはすべて近くのショッピングモールでできるので、不便はない。ダイソーがあるので、よくそこに行く。

休日は Brisbane 周辺の観光地へ行くことが多い。Gold Coast や Byron bay など、ビーチに行くことが多い。また、Brisbane には人工ビーチもあるので、たまに行く。あとは課題をやったり映画を見たりしている。たまにルームメイトたちと各国の料理を作りあって、ごはん会をしている。

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	セントラルクイーンズランド大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

最初の5週間は **General English4** を受けています。ナフスのコアイングリッシュのような授業です。基本的には日本でやったことの復習なので難しくありません。クラスは9人で、日本人が3人、ラオス人が1人、中国人が4人です。時間割等はなく、一日4時間同じ先生が毎日教える担任制のような感じですが、先生によってかなり授業の雰囲気や内容が違います。私の先生はとても親切で優しく仲のいいアットホームな空気を作ってくれるのはいいのですが、逆に授業の雰囲気が緩すぎるなあと感じることもあります。留学生全員で20人程度の小さな学校なので、特にこれといって目立つ設備はありません。自習室はありませんが、教室を自由に使用してくれるので、放課後は教室か図書館で勉強しています。留学生用のコンピュータラボがあり、そこでは印刷し放題なのでとても助かります。

### II. 生活状況

ホームステイでとても親切なおばあさんと、正規留学生の中国人とベトナム人と暮らしています。わたしのホストマザーは親切なので毎日学校まで送ってくれて、帰りは25分くらいかけて歩いて帰ります。私はかなり近い方で、ホームステイが遠い子は片道45分くらいかけて歩いたり、一日に3.4本しかないバスに乗ったりしています。田舎で特に週末は公共交通機関がないのでとても不便で、車を持っている友達がいないとどこにも行けません、週末は友達に海に連れていってもらったり、山に行ったり、森に行ったり、キャンプに出かけたりします。私は自然がそこまで好きではないのですが、田舎すぎて自然に関するアクティビティばかりなので、自然を楽しんでいます。カフェに行く文化がない代わりに、誰かの家に集まってモーニングティーやアフタヌーンティーをすることもあります。かなり田舎でときどき退屈してしまうくらいですが、日本と違い誰もせかせかせかしていないのがいいところです。

留学種別	TESS II
留学先大学	タスマニア大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

これまでは **ELC** で英語を学んできました。私は **Level4,5,6** の三つを通して学習してきました。内容としては、リーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの4技能を学びました。**Level4** の時は8人ほどで、中国人が一番多く、その次に日本人、ベトナム人、エジプト人がいました。授業は4技能の中でもスピーキング、ディスカッションが多かったなと思います。**Level5** は10人ほどの人数のクラスが2組ありました。国籍はそこまで変わらず、中国人が大半を占めていました。**Level6** は16人で、イラン人と台湾人が新しく入ってきました。クラスメイトはそこまで大きく変わりませんでした。授業は二時間のクラスが2セッションあり、人セッションの中に4技能がの約二つが組み合さっていました。基本的に人数も少ないので教師にも質問がしやすく話しやすい環境だと思いました。教科書は大学で購入した **Work class textbook** と **Academic word lists** を使いました。

### II. 生活状況

ホームステイは比較的暮らしやすく、清潔でした。家から大学は少し遠く1時間30分弱、バスで通学しました。休日は基本的に家で宿題をするか、ホストファミリーとマーケットに行くか、友達と遊ぶかという感じです。友達と遊ぶ場合はバスが結構早く終わってしまうので、5時か6時には家に帰る感じでした。食事は基本的に家で食べて、お昼は弁当を持ってくか、友達とカフェに行きました。タスマニアに来た始めのころは寒く、冬服をそんなに持っていなかったのので服を買ったりしました。買い物をするときは物価が高いので、できるだけセールの時に行くのが結構安く買えたししました。

留学種別	TESS II
留学先大学	タスマニア大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私は現在英語コースに通っているのですが、授業内容は主に英語のリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングです。授業は月曜日から金曜まで一日4時間で、2時間ずつに分かれており、間に25分の休憩があります。クラス人数は大体15人～20人程度で、国籍はほとんどが中国でその他日本、エジプト、インド、コロンビアなど多国籍なクラスになっています。教科書は大学指定の物を使っており、トピックはストレスやテクノロジー、環境問題など様々で、テストはIELTSがベースとなっています。授業は参加型で、クラス全体が積極的に質問をしたり発言をしやすい環境になっているので、私も積極的に授業に参加出来ています。学校には図書館があるので、放課後は図書館へ行き、勉強をしたり宿題をしています。タスマニア大学は勉強に最適な場だと思います。

### II. 生活状況

タスマニアでは充実した生活を過ごせています。私が住んでいるところは大学から約1時間のところにあり普段はホームステイの母に中間のバスストップまで車で送ってもらい、そこからバスに乗り学校へ向かいます。買い物へシティーまで行くには、自宅からバスで約45分かかり、最終のバスが6時なので、たまに不便だなと感じますが、慣れればあまり苦ではありません。ホームステイは母と娘とNUFSから来ている学生もう1人の日本人学生と暮らしており、休日にはマーケットへ連れて行ってもらったりと、とてもよくしてもらっています。食事は、朝は各自で、昼と夜はホストマザーが用意してくれます。週末の過ごし方は、シティーに買い物へ行ったり、マーケットへ行ったり、家でホストと過ごしたりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	タスマニア大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

語学コースでは主にエッセイなどの書き方や授業を聞きながらノートテイキングの練習をしました。

クラス人数は10名前後です。国籍は様々でエジプトやイランのクラスメイトもいましたが、基本的にはアジア人が多くほとんどが中国人です。

1週間ごとのタイムテーブルがありますが、週によってやることは異なります。

テキストは大学が用意したものをレベル毎に買います。

学部での授業は講義形と、ゼミ形式のものをとっています。

ジェンダー学を中心に日本や日本でのジェンダーなどの授業を取っています。

人数は30~40名程度で、ほぼ全員が現地生です。

図書館は自由に使えるパソコンや机がたくさんありますが、学期中はほとんど埋まっています。

図書館は24時間空いていて、中で飲食も可能です。

### II. 生活状況

ホームステイの環境はかなり良いと思います。ネイティブと日常的に会話し、また家族の会話を聞くことでスピーキング、リスニングが効果的に向上したと感じます。

通学方法は主にバスです。私はマザーが大学職員の為朝は車で送ってもらうことが多いです。

食事は朝昼は家にあるものを使って自分で用意しています。

休日は基本的に家でファミリーと過ごすか友達とマーケットに行ったりして過ごしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ニューカッスル大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

ELICOS の中には、EAP(English Academic Program)、Upper Intermediate、Intermediate、Elementary の4つのレベルがあって、最初の5週は Upper Intermediate、その後は EAP を受講しています。EAP は Upper Intermediate よりも、学部授業を受ける人に特化された授業で、内容は英語のレクチャーを聞いてノートテイキング、エッセイの書き方などで、トピックは immigration、alternative medicine などとアカデミックです。1クラス 20人弱で、半分が中国人、4割日本人、残りの1割がサウジアラビア人、韓国人などがいます。私はシフト A なので朝の授業は 9:00~11:00 で、そこから2時間のお昼と自習の時間がある、午後の授業は 13:00~15:00 までです。シフト B だと、11:00~13:00、15:00~17:00 になっています。教科書は主にライティングとリーディングの2冊と、先生が配るプリントを使って授業します。授業形式は、NUFS の Core English や Advanced Topic in English に似ていて、ずっと座って授業を聞くだけという雰囲気ではなく、ゲームやさまざまなアクティビティーがあります。わからなかったらすぐに質問するという雰囲気です。大学は木々に囲まれていて、ジム、プール、カフェ、バーなどがあります。また、図書館は24時間空いている部屋もあるので、いつでも自習する環境が整っています。

### II. 生活状況

私はホームステイをしていて、私の他に違う大学の日本人が一人住んでいます。ホストファミリーは、ホストマザーが1人で、平日は仕事、土日にも家にはいないことが多いですが、とても優しい人で、ご飯の時はみんなで楽しく会話しています。プールがついているお家もあります。私の家から学校までは、徒歩10分弱の駅から電車で通っています。学校の駅から留学生が勉強する校舎まで歩いて15分ぐらいかかるので、通学時間は大体1時間弱です。ニューカッスルには、大きいショッピングモールが複数あり、バスで簡単に行くことができます。休日は、ショッピングモールに行ったり、ビーチに行っています。大きなビーチは3つあって、バスで行くことができます。また、シドニーまで電車で3時間ぐらいでいけます。特に日曜日は\$2.6でいけるので、土曜日はニューカッスル市内、日曜日はシドニーで過ごすことが多いです。

留学種別	TESS II
留学先大学	ニューカッスル大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私が選択している授業は現時点では Introduction to Linguistics 1 ,Academic Language Skills for International Students,JAPANESE SOCIETY AND THE WORLD,Society and Culture: A Sociological Introduction です。

順に追って内容を説明すると最初に言語学についてを大体1クラス 100人以上で受けるもので国籍は詳しくはわかりませんが現地のオーストラリア人がほとんどのように思えます。アジア系の生徒はあまり目立ちませんでした。次のものは留学生用に用意された授業で語学学校の延長戦のようなものです。1クラス大体25人ほどで受ける小規模のクラスです。このクラスの国籍は様々で中国人等のアジア系の生徒からドイツ、ノルウェーなどのヨーロッパ系の生徒もいます。次の日本の文化について学ぶ授業ではこのクラスはオンラインで学んでいるため生徒の人数国籍までは分かりません。日本の文化を授業形式で学ぶだけでなく後に日本のドラマから日本の文化を学ぶカリキュラムも組み込まれているようです。最後の Society and Culture に関しては最初に社会について学んだ後にグループに分かれて自分が興味のあるものをグループに分かれ追及し後に発表するような形となっています。こちらも大人数のクラスで100人以上の生徒がいるものと思われます。人数が多いものはすべて講義形式です。大学の学習環境に関しては自習室といったものは用意されていないものの図書室にたくさんのパソコンが用意されており飲食も自由なので朝早くから夜遅くまでたくさんの生徒がこもって勉強しているイメージです。私も実際に頻繁に利用しています。

### II. 生活状況

私が住んでいるシェアハウスのハウスメイトは比較的穏やかで優しい人が多いので現時点では特に何のトラブルもなく過ごせております。通学方法は徒歩25分ほどなので毎日歩いて通っています。食事に関しては友人とご飯を食べに出かけたり料理したりしています。買い物に関しては最近では食べ物ばかりになってしまっています。休日は友人と出かけることがほとんどで少し前までは頻繁に海に遊びに行っていました。海以外の休日の過ごし方になると後はショッピングなどです。あと最近では友達とお昼ご飯を作ったりジムで体を動かすなど日本では経験したことのないようなことばかりで楽しい毎日を過ごしております。日曜になると2.7ドルでニューサウスウェールズ州の公共交通機関が使い放題になるのでシドニーに片道3時間かけて遊びに行っています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ニューカッスル大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

前半の **ELICOS** では初めに **Upper Intermediate** で5週間 **Reading, Writing, Listening, Speaking** の授業を受けて、5週目で次のレベルの **EAP (English for Academic Purposes)**へ上がるためのテストが4技能分あり、それに受かった後10週間 **EAP** で学部に進むためのコースを受けました。授業内容に関しては、**Upper Intermediate** では4技能満遍なく扱っていて教科書を使いながら少人数のグループで話し合ったりすることが多かったのですが、**EAP** に上がったからは特に **Reading, Writing** に焦点を置いて、内容もひたすら **Academic** な文章を読んだりエッセイを書く練習をしていたため、何回かグループ活動はあったけど比較的個人での作業が増えました。**Upper Intermediate** ではクラスの人数は20人で国籍は中国人が9人、日本人7人、サウジアラビア人2人、韓国人1人、ボツワナ人1人で、**EAP** では全員で15人で、中国人7人、日本人3人、インド人3人、バングラデシュから1人、チェコから1人でした。どのレベルのクラスにいても授業は9時から始まって11時までの間に5分間の休憩があり、11時から13時まで2時間空いてこの間にお昼ご飯を食べたり **Self study** をする時間になっていて、毎週この時間帯に英語を使った **Activity** などが開かれています。午後は13時から授業で間に5分間の休憩を挟んで15時に授業は終わります。**ELICOS** で勉強をする留学生は大学のキャンパス内にある **Language Centre** という建物内で授業を受けることになります。この建物内に教室やパソコン室があり基本的に全教室にスライドのスクリーンが設置されていて、授業で毎回スクリーンを使って授業をします。この **Language Centre** の近くに図書館があり、パソコンが自由に使えるスペースだったり私語禁止のエリアや会話をしていても良いエリアに分けられたり、たくさんの数の席があって学習ができる環境が整えられています。また、一部のスペースが24時間使える場所になっていて時間を気にせず勉強をすることもできます。

### II. 生活状況

ホームステイ先は大学から7キロほど離れたところにあり、ホームステイ用の部屋が3つあったけど、基本的にホストマザーと自分の2人で生活していました。途中で1ヶ月間だけ中国人2人と韓国人2人がホームステイをしに来たことがありました。大学までは家の近くのバス停から乗り換えなしで大学までいけるバスが通っているそうでしたが、僕は自分の自転車を持って来ていたため毎日20分ほどかけて通学していました。ホームステイを申し込む際に、朝昼夜の3食付きか朝夜の2食付きかを選んで自分は3食付きにしていたので、朝はトーストとヨーグルトかシリアルを食べて、昼はサンドウィッチとフルーツを持たせてもらい、夜は18時ごろに食べるという決まりがあったので18時ごろに夜ご飯を食べて、日本と違って1つのお皿に何種類かのものがのっている感じで、何皿もお皿にのって出される感じとは異なっていました。休日は家から20分ほど歩いたところに大きなショッピングセンターがあったので、服や日用品、食料品など買いに出かけていました。その近くに40キロほどのサイクリングロードがあるため、サイクリングをしたりもしていました。また、ニューカッスルはビーチが有名でバスでビーチまで行けるため、泳ぎに行ったり自転車でビーチまで行ってリラックスをしたりもしていました。特に日曜日はNSW州内の公共交通機関がかなり安く利用できるため、片道電車で3時間ほどかけてシドニーへ観光や買い物に行ったりしていました。

留学種別	TESS II
留学先大学	ニューカッスル大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

授業は1日午前、午後2時間づつ、1週間で合計20時間行われます。授業内容は1週間に決まった1つのトピックについて、教科書をメインに進められます。教科書は **Making Connections 3** を使用しており、授業ではリーディングとライティングを集中的に勉強しますが、リスニングやスピーキングの時間はあえてあまりとられていない印象です。授業中では生徒が発言をする様子が伺えます。クラスの人数は約20人程の少人数ですが、途中から生徒の出入りがよくあるので人数は変動します。ランゲージセンターはほとんどが日本人、中国人、韓国人でその他にはサウジアラビア人、インド人、バングラディッシュ人など全体で20か国ほどの国籍が集まっています。大学には2つ図書館があり、そこで勉強する生徒が多いです。パソコンや本の種類が豊富で施設も大きいため勉強に最適な場所と言えるでしょう。さらに図書館内にはカフェなどの施設が充実しており、勉強目当てでない学生も集まる様子が伺えます。

### II. 生活状況

私のホームステイ先は学校からバスで1時間程度かかる場所です。ホストファミリーの構成は、ファザーとマザーと2人の日本人、韓国人の留学生です。私は1日3食分の契約をしており、休日の昼食以外はホストファミリーに作ってもらっています。ホストマザーは栄養士でもあることから食事は非常においしく、通常のオーストラリアの食事よりも健康的なものと言えるでしょう。家は基本的に清潔で虫もそれほどいません。洗濯は週に1回が目安で、それに加えシーツなども毎週洗っています。ホームステイ先の近くにショッピングセンターがあるため平日でも気軽に行くことができます。休日は外に出かけることが多く、今の季節、天気良ければビーチへ行ったり、フードフェスティバルなどに参加したり、様々な国の料理を食べに行くなどします。また最近では2週間に1度ほどの頻度でシドニーに行くことが多いです。

留学種別	TESS II
留学先大学	ニューカッスル大学
留学先国・地域名	オーストラリア
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

留学前半は語学学校で大学で英語を使って授業を受けることに備えるための準備をしました。クラスの人数は約20名で中国人4割、日本人3割、サウジアラビア人2割、その他が1割程度でした。授業は平日毎日午前9時から11時と午後1時から3時の計4時間で、授業形式は講義形式とディスカッション形式で進められました。大学の設備は、24時間利用可能な自習スペース付きの図書館が特に魅力的でよく利用しています。二時間ある昼休みには曜日ごとに自由参加のクラスで会話の練習や、発音の練習等を行うクラスがあり自身のスキルアップのために役立ちました。先生たちは、個々の生徒のいいところを見つけて褒めて伸ばそうとする姿勢が感じられ個人的には学習意欲の向上の助けになりました。

### II. 生活状況

宿舎は今現在はホームステイで滞在しています。私のステイ先は40代の男性が1人と猫が2匹で、ホームステイの生徒用の部屋が4つあるところでした。生徒は少ないときは自分含めて2人で、多いときは4人になることもありました。ホストファザーが仕事から帰ってくるのが午後7時過ぎな為、ファザーと顔を合わせるのは夕食の際だけでした。週末はファザーはパートナーと出かけるか寝ていることが多く、あまり英会話の練習にはなりませんでした。そのため、積極的に外出をするように心がけ、イベントや友達からの誘いには必ず参加しました。今期から始まる授業は今までとキャンパスが異なり通学に1時間以上かかることと、前記のように家においても孤独感を感じたり退屈なことが多いので、現在シェアハウスへの引っ越しを模索中です。

留学種別	認定
留学先大学	アルゴマ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018 年度 2 期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私は ESL のプログラムを受けていて人数はクラスによってバラつきがありますが、私のクラスは中でも多い方で 15 人の生徒がいます。国籍は様々ですが全体的に見るとアジアの国々の生徒が半数以上を占めています。1 週間の授業時間割は 1 日に 2~4 コマで編成されており各授業 90 分で行われています。教科書につきましては、学内の書店で購入したものを使っており基本的にはその教科書をベースに授業は行われますが、日によってはプリントが配られてペアワークだったり、グループ活動だったり、全く教科書を使わない日もあります。授業形式はクラスの規模が小さいので主にペアワークかグループ活動を通して全員参加型の授業です。学内には勉強するには十分かつ快適なスペースがたくさんあります。しかしコンピューター室で印刷をする際に毎回プリンターに学生証をかざしてログインする必要があるのは学生にとってやや面倒だと思います。

### II. 生活状況

私はホストファミリーと共に生活をしています。家に着いた時から彼らは気さくに話しかけてくれて、家族の一員として受け入れてくれているのでなにも不満はありません。何か問題がある際は、親身に話を聞いて助けてくれますし、私が過ごしやすいように尽くしてくれています。またプライベートな時間も尊重してくれるのでとても感謝しています。通学はステイ先が大学まで徒歩約 5 分なので毎日歩いて登校しています。食事は野菜や鶏肉中心のヘルシーな料理だったり時にはハンバーガーやピザなどのジャンクフードが食卓に並んだり日によって異なりますので楽しく美味しく頂いています。買い物をする際は主に市のバスを利用してダウンタウンまで行きそこで必要なものを揃えるといった感じですが、日用品などはホストファミリーに頼めば買ってくれます。休日は友達と出かけたり家で子ども達と遊んだりしてリフレッシュしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	アルゴマ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

ESL コースの level4 の授業を受けており、writing, research skills, reading, listening and note taking, speaking and oral presentation skills, grammar の 6 種類の授業をほぼフルコマで受講しています。writing では主にアカデミックな文章を essay として書けるようになるトレーニングを行い、research skills では文献などの引用時に関する注意事項を学び、writing にも活かしています。reading では discussion やプレゼンも含みながらアカデミックな資料を critical に読む訓練を行っています。listening では ted talks を用いながらサブタイトルなしの英語音声のみでリスニング能力の向上を図っています。speaking では発音のみならず、body language の重要性も学びながらより実践的な授業を受けています。grammar では一通りの文法事項を備えた上で、更なる深い理解を得るためによりネイティブからの視点を用いた授業が展開されています。クラス人数は 15 人程度で国籍は日本人が半分くらいで残りは中国人、シリア人 1 名で構成されています。使用教科書は writing 時の real writing と grammar 時の self study 用のワークのみです。その他の授業は先生から受け取るプリントが主です。授業形式は講義形式ですが、発言の機会は多めです。図書館で勉学に励む学生が多いため、大学での学習環境は整っていると言えます。

### II. 生活状況

ホームステイの環境は快適です。自分の部屋が確保されており、自由に過ごすことが出来ています。また、ホストファミリーも親切でとても優しいです。通学方法はバスです。食事は夜はホストが作ってくれて、朝は自分で用意し、昼は夜の残りか自分で作ります。買い物は近くのモールで済ませています。休日は平日がハードスケジュールなために家でゆっくりするか、図書館などで課題をこなしています。たまにホストや友達と出掛けたりします。

留学種別	TESS II
留学先大学	アルゴマ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

学部授業

主に30名前後

アジア、ドイツ、カナダ、フランス

講義形式

図書館が主に学生が集まって勉強する場となっており、地下はクワイエットルームになっているため集中して勉強できる環境です。

### II. 生活状況

私が滞在している寮は一つの家を5人でシェアしているシェアハウスのようなものです。設備に関しては住みやすく、特に問題はありません。寮から大学までは徒歩5分もかからないくらいなのでとても便利です。1、2週間に1回買い出しに行き自炊をしています。休日は友達と出かけるか、勉強をして過ごしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	アルゴマ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私は **ESL** コースを履修しています。**ESL** は最初にプレースメントテストを実施し、クラス分けされます。レベル1～5まであり、私を含め三人の **NUFS** 生がレベル4に在籍しています。1レベル1クラスで、レベル4は14人（日本：7、中国：6、シリア：1※授業によって1～2人少ない場合があります。）で構成されています。時間割【月曜1限 Grammar、2限 Listening & Note Taking、3限 Research Skills、4限 Reading、火曜1限 Grammar、2限 Speaking Oral Presentation、3限 Reading、4限 Research Skills、水曜1限 Listening & Note Taking、2限 Grammar、3限 Writing（この時間は2グループに分かれて少人数授業となります）、木曜1限 Oral Presentation、2限 Grammar、3限4限 Writing、金曜1限 Writing、2限 Grammar】Writingの授業のみ教科書（タイトル：Real Writing）を使用します。1冊100カナダドル以上はしました。Grammarではワークブックを購入します。こちらはおそらく45カナダドル程度だったかと思います。授業は基本講義形式のなかで様々なハンドアウトに取り組むもの（主にWriting、Research Skills、Reading）とペアワークやグループワークを中心とするもの（Grammar、Oral Presentation、LINT）があります。大学内には4つのPC室があり、図書館にも生徒が自由に利用できるPCがたくさんあります。主に自習は図書館でする留学生が多いです。図書館はQuiet zoneと話せるエリアに分かれています。

### II. 生活状況

私はホームステイをしています。ホストファミリーの家族構成は【祖母、母、父、姉、妹、犬】です。とても親切で色々なアクティビティに誘ってくれます。ですが私の課題があまりにも多すぎるため、かなりの確率でどうしても断らざるを得ません。それでも嫌な顔せず楽しく接してくれます。私専用の部屋が1部屋、ホストシスターと共有のバスルーム、おばあちゃんは地下で生活しています。ホストファザーは7日間勤務したら7日間休みとなります。通学は基本どの家もバスまたは徒歩、雪の時期でなければ自転車の人もあります。私は毎朝7：40に家を出て7分ほど歩いてバス停へ到着します。そこから15分ほどバスに乗ると、到着します。スーパーマーケットは田舎なので、平日でもバスは30分に1本しかありません。土日になると1時間に1本しかないので出かけるのがとても大変です。食事は3食食べられます。最初に朝食昼食もホストマザーが毎日用意してあげるよと言ってくれましたが私が断り、朝昼のみ自分で準備しています。昼は大体残りの夕飯の残りを詰めて持っていくことが多いです。スーパーにいっしょに行ったら食べたい食材やお菓子、飲み物など何でも買ってくれます。休日はホストファミリーと過ごしたり近くのモールで買い物したりもしますが、友人のステイ先などで遊んでお泊りすることが多いです。とはいっても、私の在籍するレベル4はESLの中でも抜きんで忙しいスケジュールと課題の量なので、ほとんどの場合台がI区の図書館で勉強したりしています。勉強の息抜きに学内ジムのサウナへよく行ったりします。

留学種別	認定
留学先大学	アルゴマ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

授業期間前にアルゴマ大学で試験を受けました。試験結果によってクラス編成が行われ、履修登録は自分で行う必要がありませんでした。ESL の授業期間は 9 月 4 日から 12 月 14 日までの 15 週間でした。一週間の時間割は、平日 8:30 から 16:00 まで、Grammar 4 コマ、Speaking & Listening 4 コマ、Reading & Writing 5 コマ、Study Hall 2 コマ、Game Time 1 コマの計 16 コマでした。Grammar は宿題用の教材として「FUNDAMENTALS OF ENGLISH GRAMMAR」を使いパワーポイントの講義式でした。頻繁にグループを作って黒板に回答する参加型の授業でもありました。Speaking & Listening は「Q : Skills for Success SPEAKING AND LISTENING」をもとに講義の後、生徒同士が意見交換する時間がありました。Reading & Writing の教材は「Q : Skills for Success READING AND WRITING」とプリントです。ディスカッションする機会が多かったです。Study Hall は、他の授業でわからないところを克服するためと質問するための時間でした。Game Time は、北米のポピュラーなゲームを経験する息抜きの時間でした。クラスは日本人 6 人、韓国人 2 人、中国人 6 人、メキシコ人 1 人、ブラジル人 1 人の計 15 人でした。日本人と中国人が大半を占めていましたが日本人同士でも、私のまわりは英語で会話していました。夜 10 時まで空いている大学の図書館や空き教室、カフェなどで勉強していました。勉強する場所で不自由な思いはしませんでした。

### II. 生活状況

ホームステイ生活は、とても快適で毎日勉強に集中できています。私のホストはイタリアンで、カナダ料理だけでなく、おいしいイタリア料理を作ってくれることが多いです。洗濯は乾燥機を使うので短時間ですみます。一方、日本と比べると電気が暗いので目が疲れやすいことがありました。通学時間はバスと徒歩で 20 分です。雪の時は滑りやすく注意が必要でしたが、凍った水たまりを滑るのがちょっとした楽しみでもありました。休みの日は、パーティに参加することが多かったです。ホストは気さくな方で家に人を呼ぶのが好きな人でした。毎週日曜日はマザーの連れ添いとして教会に行きました。慎ましく華やかな教会には多くの人が通っていて、私も顔見知りが増えていきました。

留学種別	TESS II
留学先大学	アルゴマ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私は、現在アルゴマ大学の ESL の授業を受講しています。アルゴマ大学の ESL は、オリエンテーションで行われる学力テストでレベルごとに、英語の基礎を学ぶ Level2 から、アカデミックの授業と ESL の授業をどちらも受講する Level5 に分けられます。私はこの中で Level4 の授業を受講しており、内容としては文法、プレゼンテーション、リスニング、リーディング、ライティング、リサーチスキルの 6 つの科目を 1 週間で受講しています。クラスの人数は、現在は日本人が 7 人、中国人が 5 人、シリア人が 1 人の 13 人の少人数制ですが、各セメスター、各レベルごとに人数、国籍の変動はあります。1 週間の時間割としては、月曜日に、文法、リスニング、リサーチスキルズ、リーディングの 4 コマ、火曜日は、文法、プレゼンテーション、リーディング、リサーチスキルズの 4 コマ、水曜日は、文法、リスニング、ライティングの 3 コマ、木曜日は、プレゼンテーション、文法、ライティングが 2 コマの 4 コマ、金曜日はライティング、文法の 2 コマになります。基本的に 1 時間目が 8:30 から始まり、11:30 からお昼休憩が 1 時間半あり、午後の授業は 13:00 から始まり、4 時間目は 16:00 に終わります。教科書は、ライティングのみ購入し、その他の教科は、プリントが配られるか、パワーポイントメインの授業スタイルです。文法においては、教科書はないのですが、文法ワークを購入する必要があります。授業形式は、全体的に少人数制のクラスで Nufs の授業形式とほとんど変わりません。学習環境としては、図書館が平日は朝の 8 : 00 から 22:00、休日は朝の 8 : 00 から 17:00 まで開館しており、フロアは、静かに勉強できるフロアと、会話をしながら勉強できるフロアの二つに分かれており、自分の用途に合わせて選べます。

### II. 生活状況

私は、現在ホームステイをしています。ホームステイ先は、ホームステイを申し込む際にアンケートに答え、それを元に学校側がホームステイ先を決定する形です。私のホームステイ先では、基本的なルール(シャワーの使用時間、消灯時間、夕食の有無の連絡など)が決められており、それに従う形で生活をしています。食事は、朝ごはん、お昼ご飯は基本的に自分で用意し、夜ご飯を用意してくれます。夜ご飯の時間は、食事をとりながら、ホストファミリーと 1 日の出来事などを情報交換しています。また、お昼はサンドイッチか、前日の残り物を持って学校に行っています。通学方法としては、ワンセメスター\$180 のバスパスを購入し、バスを使って通学しています。朝の 8:00 に授業が始まるので、7:30 に家の近くのバス停から乗り、約 25 分間でバスのターミナルに到着し、そこから違うバスに乗り換え、15 分乗ると授業の始まる約 15 分前に大学へ到着します。休日は、基本的に宿題が沢山出るので、図書館で宿題をすることが多いです。服や雑貨、日用品などはダウンタウンのモールで揃えることが出来るので、買い物はダウンタウンに行くか、古着屋さん等に行きます。買い物以外だと、友達のアパートに遊びに行ったり、ちょっとしたパーティーをしたり、ESL や大学が開催するイベントなどにも参加しています。

留学種別	認定
留学先大学	オカナガンカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

コース内容 : Reading, Writing, Discussion (すべて ESL)

**Reading** は教科書の文章を読み、教科書の設問を授業内にとり、ユニットに関する質問をクラス内で

話し合い、理解を深める。ボキャブラリーを増やすためのワークシートも時々行う。

**Writing** では文法事項を学ぶ時間が多いが、パラグラフを作成したり、短いエッセイを作成する。

**Discussion** では、リスニングとスピーキングを教科書を使って行われる。プレゼンテーションも

行う。あるトピックについてグループディスカッションを行う。

クラスの数、国籍 : 各クラス 20 人程度。日本、韓国、中国、ベトナム、台湾などのアジア圏からの生徒が多い。インド人も多い。一部、カナダのフランス語圏から来たカナダ人もいる。

一週間の時間割 : **Reading, Writing** が週 3 コマ(それぞれ 1 時間 50 分×2、50 分×1)、**Discussion** が週 4 コマ (2 時間 20 分×4)

使用教科書 : **Reading: Pathway 2, Focus 3**

**Writing: Great Writing 3**

**Discussion: Inside listening and speaking 3, Contemporary topics 3**

授業形式 : ほとんどゼミ形式に近いが、**Writing** は講義形式に近いときもある。日本の授業のように挙手をしたり、教師が当てたりすることはなく、質問やわかったことは積極的に発言できる。

大学の環境 : 廊下などにおいてある、自由に使えるテーブルや椅子の数が充実している。図書館も広く、学習スペース、コンピューターの数も充実している。自習スペースに困ったことはない。グループワークのために借りられる教室も数多く用意されている。クラスの担当の教師とも近い距離なので、わからないことがあっても質問しやすい。留学生向けのカウンセラーには日本人の方もいるので、不安なことがあったり、英語では説明しづらいことも相談しやすい。

### II. 生活状況

ホームステイの環境は自分以外に、現在は中国人の生徒が一人と、ジンバブエ人の生徒が一人いる。ホストファミリーもとても親切な方たちでとても充実している。積極的に話しかけてくれるので、英語を話す機会が増えている。ホストマザーはもともとフランス人の方なので、カナダの文化や生活以外にもフランスの文化に触れることもできる。

通学方法はバス。ケロウナには公共交通機関はバスしかない。

食事はすべてホストマザーが用意してくれている。昼食は時々自分で作ることもある。買い物は足りなくなった日用品を買いに行くことが多い。

休日は基本的にホストファミリーや、友達、友達のホストファミリーとどこかに出かけることが多いが、課題などやることがある日は、一日中家にいることもある。ファミリーとホームメイトのみんなで映画を見ることもある。もちろん、字幕などはないので、リスニング能力を鍛えることもできる。

その他気づいたこと : 学校生活では、様々な国籍の人と関わる機会が多いので考え方や行動に驚かされることもある。例えば、積極的にどんだんが話しかけてくれる人が多い。授業中も日本人よりは他の国の生徒のほうが積極的に発言する。これは見習わなければと思い、日本人やアジア圏以外の国籍の生徒とも積極的に話すようになった。

留学種別	認定
留学先大学	カルガリー大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### ・授業内容

**Grammar、Reading&Writing、Speaking&Listening** の3種類の科目を受けました。

- ・クラス人数 約 15人
- ・国籍 日本人の学生が大学単位で来ていたので、ほとんどのクラスの5～8割が日本人でした。

他に人数が多かったのは、台湾、韓国、コロンビアからの留学生でした。

#### ・一週間の時間割

月・水曜日 **Grammar 9:00～10:20、Reading&Writing 10:30～12:00、Speaking&Listening 13:00～15:00**

火・木曜日 **Grammar 9:15～10:50、Reading&Writing 11:00～12:00、Speaking&Listening 14:00～16:00**

金曜日 **Grammar 9:00～10:20、Reading&Writing 10:30～12:00**

- ・授業形式 講義形式 先生の説明を聞くほかに、グループやペアでディスカッションや色々なアクティビティ（クイズやゲームなど）をしていました。また週に1日、コンピューター（主に **My english lab** というサイト）を

使って授業の内容に沿って自主学習を行う日がありました。

#### ・大学の学習環境、自習室、教室の設備

**ESL** の学生が使う建物には仕切りがある机やグループで勉強するためのスペースがあります。

また、学部生と同じように図書館を使うことができ、自習しやすい環境が整っていると感じました。

### II. 生活状況

#### ・ホームステイの環境

ホストファミリーの家族構成はホストファザー、マザー、シスター2人

ハウスメイト1人（韓国人）

ホストファミリーは親切でしたが、仕事や学校で忙しくあまり話す機会がない、夕食をたまにしか作ってもらえない（カルガリー大学のホームステイのルールで、原則夕食はホストファミリーが作るようになっていました）などの問題があり、12月中旬にホームステイの担当者の方と相談し、変更することになりました。ハウスメイトとは一緒に買い物に行ったり料理を作ったりして楽しく過ごすことができました。門限はなかったのですが、洗濯する日や台所を掃除する日が1人ひとり決められていました。

#### ・通学方法

バス約 10分（ホームステイからバス停までは徒歩）、路面電車約 10分（大学の側に駅がある）

#### ・食事

基本的に3食ともホームステイ先にある材料を使って自分で作っていました。

#### ・休日の過ごし方

友人と買い物、ダウンタウンを散策

図書館か家で宿題をする

留学種別	認定
留学先大学	キャピラノ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

コース名 **English for Academic Purposes**

レベルはすべてで 5 つあり、上から 2 つのレベルのコース生は学部授業も同時に受けられる。クラス人数は平均 20 人程度。国籍はクラスによって偏りがあつたりして異なる。私のクラスには、日本、中国、ベトナム、ロシア、イラン、サウジアラビア、ブラジル、メキシコの生徒が在籍している。

現在受講しているのは 5 レベル中、真ん中のレベルで、上のレベルほど学部授業との兼ね合いで授業時間数が少なくなる。月曜 8:30~14:00、火曜 13:00~16:00、水曜 8:30~11:30、木曜 8:30~16:00、金曜は授業なしという日程。

使用教科書はリーディング用の **moseic2** という教材と、ライティング用の **Longman Academic Writing Series 4** の 2 冊を使用。2 冊で 7000 円ほど。

授業は先生の進行を中心に質問や発言を自由にできる雰囲気に参加型。グループワークもある。週に平均 3 つテストがある。

設備はとてもいい。自習室としては図書館がよくつかわれており、開放的な場所と静かな場所が隔離されているので利用しやすい。

### II. 生活状況

ホームステイで生活している。フィリピン家庭で、兄弟 2 人と留学生在がわたしを含め 3 人。ホストマザーの親戚も数人同居している。両親は共働きで忙しい家庭。

家から学校へはバスで 1 本、30 分程度の距離で、便利な場所にある。

食事は朝、夜ともに家族とは食べない。時間が合えばほかの留学生と一緒に夕食をとることもある。食事内容は基本的に米と肉が多く、野菜は不足気味なので時々、自分でスーパーや学校でスープやサラダを購入してバランスをとるようにしている。便利な場所にあるので近場でほとんどのものは揃う。週末は基本的に家にいることが多いが、一人や友人と出かけることもある。

留学種別	認定
留学先大学	キャピラノ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

グラマー、ライティング、リーディング、リスニング、スピーキング、ボキャブラリークラスの人数は15~20人、中国、韓国、イランが多い  
朝の8時半から4時まで授業がある  
少人数のクラスのため質問がしやすい。グループワークが多い。先生はとても優しく親しみやすい。  
図書館や自習スペースがしっかりある。  
学校自体も新しいので基本的に綺麗。

### II. 生活状況

ホームステイで過ごしています。  
マザーが出してくれるご飯は基本的に美味しい。苦手なものにははっきり言う。  
基本的に自由で、あまりルールはない。  
学校までとても近く、20分ぐらいで着く。  
外食は日本に比べると高いので、スーパーマーケットで買い物をして調理している。  
休日はクラスの友達とカフェで勉強したり、観光地を訪れたりしている。

留学種別	認定
留学先大学	クイーンズ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

・ **core** クラスというのがメイン授業で、文法、スピーキング、リスニングを教科書を用いて行います。そのほかにも週2時間のリスニング・スピーキングクラスや週1時間のディスカッション・ポキャブラリークラス、エレクトィブといった選択で音楽や体育などを選び英語で学ぶ授業があります。

・ クラスの人数は8人といった少人数クラスで、国籍は中国と日本です。学校のほとんどの国籍が中国と日本です。

・ 月曜 **core class** × 2

火曜 **Lab Spoken class** × 2 **core class** × 2

水曜 **core class** × 2 **vocabulary class** **discussion class**

木曜 **core class** × 2 **elective class**

金曜 **core class** × 2

・ 使用教科書 **Q skills lesson 2**

・ 図書館は私たち付属語学学校生のキャンパスに一つ、バスに乗って10分程度のメインキャンパスにも一つあり、どちらも自由に利用できます。設備もとても良く勉強する環境はとても良いと思います。

### II. 生活状況

通学方法はバスを利用しています。私たち学生は、学生証をバス運転手に提示するだけで無料でキングストン市内のバスに乗車できます。そのため交通費がかからず、資金節約になります。

ホームステイの環境は完璧と言ってもいいほどです。過去に何人か学生を受け入れているうえ、子供が三人いるのでとても面倒見が良いです。部屋も全て綺麗にしてあり、お風呂なども自分用があるのでストレスがたまりにくいです。

食事は朝昼晩、三食ついています。朝は自分でパンを焼いたり、シリアルを食べたりと簡単に済ませます。昼食はホストファミリーが作ってくださるお弁当を持って行き、夜は家で家族とともに食事をします。

休日はスクールアクティビティに参加したり、友達とカフェや買い物に出かけます。

留学種別	認定
留学先大学	サイモンフレイザー大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### ○コース内容

**Oral Skills-** 発音、日常会話、プレゼンテーション

**Listening Practice-** 映画、テレビ番組、IELTS 教材を使ったリスニング練習

**Literature-** ポエム、小説、伝記、有名な作家

**Canadian Studies-** カナダの文化、生活、政治、地理

**Composition-** エッセイ、手紙などの書き方

**News Media-** 新聞、テレビ、ネットのニュースを使ったディスカッションや調査

**Global citizenship (選択) -** 世界の経済、情勢、問題、環境などを取り上げグローバルな人材になるためのディスカッション、プレゼンテーション

**Business Communication (選択) -** ビジネスの仕組み、レター、インタビュー、コミュニケーション、ロールプレイ、プレゼンテーション

#### ○クラス人数、国籍

15-17人 8割中国 2割日本 その他 イラン、タイ、台湾、韓国

#### ○時間割 (1時間 100分)

月 oral, Listening, Literature

火 canadian, literature, composition

水 oral, listening, news

木 canadian, news, composition

金 選択 (300分)

#### ○使用教材

教科書は使用せず、すべてプリントまたはインターネットを使用

#### ○授業形式

講義、ロールプレイ、ディスカッション、1 term に 3、4回校外授業

#### ○大学の学習環境

図書館、コンピューター室の利用は自由。ハーバーセンターという大きなビルの中に学校があり、カフェや学習スペースも充実している。先生のオフィスにも出入りが自由にできていつでも質問や相談ができる。

### II. 生活状況

#### ○宿舎の設備

私の学校は寮を持っておらず、エイジェントの紹介により IH という語学学校の寮（形式はシェアハウスのように）で生活をしています。来たばかりの9月は人数も国籍も多様で20人ほどで生活していましたが、今はピークがすぎ10人ほどで生活していますが7割が日本人です。特にルールはなく1人部屋で自由な生活が送れています。時には文化の違いに戸惑ったり、人の食材を勝手に使うといったマナーのない行動をする人もいますが、ほとんどの人とはうまくコミュニケーションが取れており、食事を共にしたり、休日は一緒に過ごしたりしています。一度私の部屋が地下にあったため浸水が起きてしまったり、水漏れやトイレのつまりなどが起こるので家は古いと思われれます。一緒に生活しているオーナーのような人がいて何かあればすぐに対応してくれます。トイレトペーパーや洗剤、食器類などはオーナーが補充をしてくれ、その他の必要なものは自己負担です。共有スペースは週に1度日曜に掃除をみんなでしします。キッチ

ンやバスルームの利用時間の決まりはなく好きな時に使えます。洗濯機と乾燥機は一台ずつあり、夜の 10 時までなら利用可能です。家には WIFI がありますが、接続の悪い時や部屋があります。

○通学方法

家から 5 分弱歩いたところにあるバス停から 40 分ほどで学校の目の前のバス停まで行けます。

○食事や買い物

主に自炊で、ランチにも弁当を持参しています。歩いて 5 分のオーガニック系のスーパーマーケットやバスで 10 分ほどのマーケットをよく利用しています。

○休日の過ごし方

主に出かけています。学校の友人やシェアメイトなどと観光地に行ったり、様々の国の料理を食べに行ったり、映画やイベントにも行っています。

留学種別	認定
留学先大学	セネカカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### ?コース内容

授業では主に **MLA** 方式のエッセイの書き方について学び、クラスでカンバセーションを行いながら内容理解を深めていく内容となっています。加えて時にリーディングを行なっています。

#### ?クラス人数、国籍

クラスの人数は大体 **10-20** で私のクラスは15人くらいいます。学校自体アジア系が多く目立ちますが、私のクラスは国際色豊かで、トルコ人、中国人、韓国人、ロシア人、イラン人、ベトナム人、ウクライナ人がいます。日本人は私を含めて2人です。

#### ?1週間の時間割

月曜日と水曜日に午前中の授業が **1.5h** コマあり、毎日午後1時半から4時もしくは5時まで授業があります。

#### ?使用教科書

使用している教科書は二種類あり、“**compass2**”と“**writing clearly**”です。

#### ?授業形式

授業形式は講義というよりもグループワークが多いのでどちらかというとゼミ形式に近いと思います。

#### ?大学の学習環境、自習室、教室の設備

学習環境はとても整っていて、とても自主学習しやすい環境です。というのもここにいる学生のほとんどが勉強熱心なため、多くの学生が図書館やパソコンフロアなどで勉強をしています。至る所に勉強が出来るテーブルが設置されており、学習環境や自習環境はとても優れていると思います。

### II. 生活状況

#### ?ホームステイ

私はホームステイですがとてもいい環境で暮らすことができます。私のホストファミリーは母、父、私と同じ年の息子と中学生の娘の4人家族ですが、私はベースメントに住んでいるため母以外滅多に見かけることはありません。ですがホストマザーはとても親切で私の洗濯やご飯、部屋の掃除までやってくれるので私は勉学に集中することができています。私の他に日本人の女の子の留学生在が1人住んでいます。帰宅時間遅くなってもご飯を置いておいてくださるしベースメントに暮らしているためプライベートのトイレ、シャワールームがありとても快適です。

#### ?通学方法

私は徒歩で8分のところにバス停があるのでそこからバスを2つ使い学校に通っています。ですがカナダのバスは時刻アプリで調べてもこなかったり次のバスが20分後なんてこともざらにあるので通学は少し大変です。私の家から学校までだいたい40分かかります。

#### ?食事や買い物

朝食、昼食、夜食の三食をホストマザーが作ってくださるため食事は主にあまり買いません。ですが自分でプラスでなにか欲しい時は **H mart** という日韓系のスーパーで買ったり、安くて有名な食料品スーパーで調達しています。衣類や生活用品などは近くのモールかダウンタウンまで行くとトロントの有名なイートンセンターがあるのでそこでショッピングを楽しみます。

#### ?休日の過ごし方

休日はクラスの子や友達とご飯に行ったりお買い物をします。なにも予定がない日は学校に行き勉強をするか私は学校にあるジムに通っているためジムに行ったりしています。学校自体日本人がとても少ないのでジムで作った友達や、同じ ELI の子などレベルが違ってフレンドリーな子が多いため学校に行けば誰かに会うことができるのでスピーキングの練習にもなりとてもいい環境だと思っています。

留学種別	TESSIV
留学先大学	セネカカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

前期は ELI の Level7 と Level8 を受講しました。朝の授業はレベル関係なく受講できる英語コースで、Level7 の時はプレゼンのみを重点とした授業、Level8 の時は「Growth Mindset VS Fixed Mindset」と「Team work」をテーマにリスニング、ディスカッションが主な授業でした。午後の授業はレベル別に別れており、Level7 の時の授業内容は「Cause and Effect」がテーマでそれに関連したリスニングやリーディング、最終的には5段落のライティングを書くことをゴールに展開されて行きました。その他、カナダの各州についてそれぞれのグループでプレゼンをしたり、授業の中でグループディスカッションをしたりしました。Level8 の時は MLA Format で Essay を書くことに重点を置かれており、授業の中でライティングをすることが多かったように思います。プレゼンの代わりに、ディベートを行いました。どちらのレベルも毎週1コマは文法だけに重点をおく授業でした。ただ、他のクラスにも友人が多くおり、話を聞くと、先生によって授業内容が全くと言っていいほど違っていたように感じます。また、ラボワークという授業外でコンピューターを使って行う課題があり、毎週与えられた分の課題をこなす必要がありました。発音やリスニングを重点においた課題で、自分の声を録音して提出する必要があります。授業外で行う必要があるので自分で時間を見つけてやる必要がありました。

クラスの人数は20人ほどで、日本人は多くて2人、1人またはいないことがほとんどでした。中国国籍またはベトナム国籍の人が大半を占めていました。その次に多いのがイラン国籍の人でした。ロシアやウクライナ国籍、韓国国籍の方は数人でした。

1週間の授業時間割は、午前から始まる日が週に2回、終わる時間は4時～5時で日によって違いました。

使用教科書は Level7・8 とともに同じものを使用しました。Reading の本が一冊、Listening と Speaking が一緒になっているものが一冊、Grammar が一冊です。

授業形式は講義形式でした。大学の学習環境はとても整っていると思います。とても広くコンピューターが完備されている場所があり、24時間開いているので課題を残ってやったりするのに最適だと思います。また、先ほど書きましたラボワークという課題をするためのラボルームという部屋が ELI の生徒専用であり、そこに行けば、ELI 卒業のアシスタントの生徒が何人かいるのでわからないことを質問したり友達がたくさんできたりしました。また ELI の生徒専用のイベントなどもそこで知ることができたりするので、とてもよかったですと思います。

### II. 生活状況

宿舎は大学に付属している寮に住んでいるのですが、設備や環境はとてもいいと思います。歩いて5分ほどで校舎につきますしとても安全だと思います。入り口もカードがないと入れないのでセキュリティもしっかりしています。ルールもしっかり定められています。10分ほど歩いたところにスーパーマーケットやドラッグストアもあるので便利です。部屋は2人で共同のキッチンとシャワーを使うのですが、個人の部屋は別々なのでプライベート空間がしっかりあります。テレビもついているので Netflix などを使って洋画を見ながら英語の学習が可能です。キッチンには電子レンジと冷蔵庫しか家電がついていないため、料理をしたくなったら1階の共有キッチンに行くか、自分でコンロなどを買う必要があります。たまたまですが12階の部屋に住んでいるので、夜景も綺麗です。1階には Subway とコンビニがあるのでここに住んでいて特に困ることはないと思います。テスト期間はここに住んでいない人、ゲストの宿泊が禁止になるので、騒がしくて困るということもないのでとてもいい環境に住んでいると思っています。

通学方法は徒歩です。次のセメスターからバスで通学する必要があるのですが学生証を使って無料で乗ることができますし、宿舎からもそこまで遠くありません。

食事は学校の中にあるカフェテリアで購入したり、家で自炊したりします。買い物は近くのスーパーマーケットに行くか、最寄りの駅（バスで30分ほど）の日本食を取り扱っているスーパーマーケットに行っています。もう一つの最寄りの駅（バスで20分ほど）に大きなモールがあるのでそこで服などの買い物をしたりします。

休日は気分によって変わりますが友達と遊びに行ったり、学校にあるジムに通ったり、学校主催のイベントに参加したりしています。観光地に出かけたりするイベントもあるので、楽しく休日を過ごせていると思います。

留学種別	TESSIV
留学先大学	セネカカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

- ・ Service Leadership : 接客において大切なこと

Communicating Across Contexts : 英語のリーディングやライティング

Flight Attendant-Policies Lecture : フライトアテンダントになるにあたって必要な知識

Flight Att. Aircraft Safety Lecture : フライトアテンダントの安全面に関する仕事について

Airline Destinations Lecture : カナダとアメリカの地理とエアポートコード

Ground Operations Lecture : グランドスタッフの仕事について

・平均20人から30人。大半はカナダ国籍だが、出身国はフィリピンや韓国などの生徒が半分を占めている。日本人は私1人だけである。

・月曜日 8:00-10:40 火曜日 14:25-17:05 水曜日 休み 木曜日 11:40-14:20, 16:15-18:55  
金曜日 8:00-10:40, 10:45-13:25

- ・ iPad, Guest Service gold, CUSTOMER SERVICE

- ・ 講義形式

・ 図書館やパソコン室は広くたくさんの方が利用している。いくつかの教室には飛行機内の座席があり、実際にそれを使いながら授業が行われる。

### II. 生活状況

・ キッチンとバスルームが共同の二人部屋。個人の部屋にはテレビ、勉強机、いす、ベッド、棚がある。共同洗濯機が各偶数階に設置されている。(有料) コンビニエンスストアとサブウェイがある。

- ・ シャトルバスで片道約15分

- ・ 自炊、外食、学校のカフェテリア

徒歩10分ほどの距離にあるスーパーマーケットで食料品を買う

- ・ 友達と出かける、課題やテスト勉強をする

留学種別	TESSIV
留学先大学	セネカカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

コース内容 時間割

ELI 週5日授業 レベル6以上は午後から授業開始

13:30～17:00までの時間でクラスや曜日によって時間割が異なる。

1学期を7週間ごとで前期と後期で分けている。

中間には1週間の休暇がある。

通常クラスとは別で朝の英語クラスが週2回1～2時間程度である。

クラス人数

20人程度 基本的に他国からの生徒

中国とベトナムが多い印象

そのほかにも韓国やイラン、アラブ諸国などの生徒が在籍

授業形態

担任の先生による授業

スピーキング、リスニング、リーディング、ライティング、文法を万遍なく行う。

特にライティングに重きを置いており、各レベルごとに書くエッセイの主題が設定されている。

教科書

リーディング1冊、リスニング・スピーキング1冊、文法1冊

大学の学習環境

パソコンが多い

### II. 生活状況

宿舎の設備

寮 大規模なホテルのような仕様

15階建

24時間対応フロントデスク

サブウェイ（ファストフード店）と簡易スーパーが併設

各階にラウンジ等が存在

ゲストも宿泊可能

2人共同使用

簡易キッチンスペース、バスルームが共用

電子レンジ、冷蔵庫、キッチンテーブル、シンク、棚がキッチンスペースに設置済み

1人1部屋のベッドルーム

ダブルサイズベッド1台、大きめの机と椅子、テレビ1台、電話1台(Free local calls)、引き出し、簡易クローゼット

洗濯機と乾燥機が有料で利用可能

定期的にルームクリーニング有

通学方法

徒歩

食事や買い物

近所のスーパーで食品を購入

部屋で調理する等

休日の過ごし方  
気分次第

留学種別	TESS II
留学先大学	セルカークカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

Reading-world literature  
 Advanced Writing  
 Business communication  
 Volunteer internship  
 Teaching language learning  
 TSOL 101 teaching methodology  
 TSOL 110 teaching grammar  
 Academic language studies in

クラス人数 8人程度

1週間の時間割

月：4コマ

火：2コマ+ボランティア

水：3コマ

木：3コマ

金：ボランティア

授業形式：基本的に少人数クラスです。発言機会が多く与えられるため、充実しています。

学習状況：図書館が7時までなのと、日曜日は閉館なのが少し残念ですが、朝7時から開館しているため使いやすいくとも感じます。また、学校自体は遅くまで入ることができるため便利です。

### II. 生活状況

宿舎：学生寮で学校から徒歩3分という近さです。キッチン用品や寝具は持っていきませんが、レンタルのものがあるため不自由はしていません。また、毎週木曜日にグローセリーショッピング用のバンを出してくれるので買い物にも行くことができます。基本的には自炊生活ですが、寮の友人たちとご飯を作りあうこともあります。ホームステイとはまた違って、寮には様々な国籍の学生がいるので食文化を楽しむことができます。寮には **RA** という学生スタッフがいるため、何か困ったことがあった時には相談にのってくれるので安心して寮生活を送ることができています。日常生活のサポートだけでなく、様々なイベントの計画もしてくれます。休日は近くの公園へサイクリングに行ったり、学校のジムでスポーツをしたりします。また、**cultural assistant** の人たちが様々なイベントを用意してくださったので休日も充実していました。バンフという有名な観光地への旅行までも計画してくださり、同じ **ELP** の学生たちと大切な思い出を作ることができました。また、ネルソンという町へショッピングをしに行くこともありました。毎週金曜日には近くの施設でホッケーの試合を見に行ったり、アイススケートをしに行くこともあります。

留学種別	TESS II
留学先大学	セルカークカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018 年度 2 期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

留学生用のコースを履修していて、1 クラス平均で約 8 人です。日本人、ベトナム人、中国人、カナダ人(ケベック出身)がクラスにいます。1 週間で全部で 22 時間授業があり、リーディング、ライティング、文法、コミュニケーション、ボランティア、ディスカッションのクラスがあります。教科書は、文法とライティングだけあります。全部の授業はアクティビティがほとんどで、講義形式のものはほとんどありません。図書館は朝早くから夕方まで毎日空いているので勉強するために使えます。また半年のうちに、100 枚までコピーできるので十分です。図書館の中に勉強できるスペースがあり、さらにピットというフリースペースがあるので、勉強もおしゃべりもできます。教室もとくに不備はありません。

### II. 生活状況

ホストファミリーはとても優しいです。食事は美味しいし、きちんと作ってくれます。ホストマザーは時間があればケーキを焼いてくれたり、パイを焼いてくれます。また自分でランチを詰めるので、ほぼ毎日夜ご飯の残りを持っていきます。学校まではバスを使って通学しています。メインストリートが工事中なので少し時間はかかりますが、とくに問題ありません。大幅に遅れることもとくに有りません。食事はホストマザーが作ってくれるので家で食べています。買い物はキャッスルガーにあまりお店はないので、となりの市に行ったり、旅行に行ったりしています。休日は、アイススケートに行ったり、ホッケーの試合を見に行ったり、家族にアメリカに連れて行ってもらったりしました。またホストファミリーの親戚に会いに行くこともありました。日曜日はバスがないので、ホストファミリーに頼むか、家で課題をしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	セルカークカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

今期はリーディング、ライティングを **ESL** で受講しています。アジアからの留学生もしくはケベック州からの留学生からなる **10** 人程度のクラスで学習しています。また、アカウンティングと **English 60** の **2** つの学部の授業を受けています。

アカウンティングの授業は講義形式ですが、教師と生徒の距離が近くゼミのようにいつでも質問などをすることができます。また、**30** 人程度の生徒がいますがその半数以上はインド人です。

**English 60** では外大でいう「アカデミックスキルズ」の英語版みたいなもので **15** 人程度の様々な国からの留学生、もしくは現地の学生が受講しています。

### II. 生活状況

ホームステイから学校までのバスがほとんどなく、学校開始時刻、終了時刻のバスがないためホストファミリーが学校まで送迎してくれます。最近はや暖かくなり自転車に乗れるようになったため、休日は学校まで自転車で行き、学校のジムで汗を流しています。

金曜日はスケジュール上、授業がないため生活必需品を買いに街まで出かけたり、友達が受講している **ESL** のクラスに勝手に参加したりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	セルカークカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

まず初めにテストを受けそこからレベル1～5に分けられる。自分はレベル5だったので少しハードだった。エッセイの書き方や実際に書くライティングや短いストーリーを読んだり、意見を発表するリーディング。特徴的だったのがコミュニケーションの授業で、グループを作り、架空の企業を1からつくりあげるものだった。その企業の宣伝ポスターや従業員募集などのチラシを作成し、最後にはプレゼンテーションをするものだった。そのほかにも、セミナーと呼ばれるクラスをとることができ、「自分はビジネスイディオムをとった。さらに幸運にも、TESOLのクラスをとることができた。

どのクラスでも少人数で行われ、様々な国籍の人（カナダ、韓国、グアテマラ、中国、フィリピンやベトナムなど）とかかわることができた。日本人が時期によって50人を超えた時があった。人によるが、毎日1～3つの授業があり、50分や2時間のクラスがあった。早いときは昼前に終わるが遅いときは5時に終わった。

教科書は基本的に分厚く、1万円超えたものもあった。内容が濃いので自主学習のときには大いに役だった。

授業形式は基本的にゼミ形式であった。一つの問いに対しグループやペアで話し合い、まとめて発表するものだった。

大学の規模が小さいので基本自主学習といったら図書館や寮でするしかなかったが図書館は毎日混雑していた。しかし特に困ったことはないのでもやる気があれば場所は関係ない。

### II. 生活状況

寮の設備は非常に良かった。一人八畳くらいの部屋でキッチンもあり、バスルームなども清潔だった。またコモンスペースと呼ばれるところでは寮のみんなが集まって料理をしたり、ゲームやイベント事に参加したりと交流を楽しむことができる。寮から学校は徒歩三分なのでホームステイの人たちより早く起きなくて済む。忘れ物もすぐ取りに行ける。

食事は基本自炊。料理経験は全くなかったので最初は苦労したが徐々に料理スキルは上がっていくのでお勧めしたい。たまに友達が作ってくれたり、教えてくれるのでそこも各国の食文化を知ることができる。買い物は最初の月は部屋に何も無いのと何を買えばいいのだろうと悩み多額をつかってしまった。毎週木曜日にバンが出ているのでそれに乗って近くのスーパーに行ける。休日は課題に追われるかバスにのって隣町に行くか寮でみんなと映画を見たり、非常にゆったりとした休日を過ごしている。

留学種別	認定
留学先大学	セルカークカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018 年度 2 期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

授業内容は **Reading Grammar communication Writing** が必須となっており、日本(ほぼ 8 割)、韓国中国ケベックメキシコなどの国籍で 20 人ほどの少人数クラス。一コマが 2 時間で日本とは違い週に何度も必須の授業がある。ほかに 2 科目発音やカナダの文化、ボランティアなどの選択科目がある。授業内容とレベルはほぼナフスと同じである。**Reading Grammar** では 2 週間に一回くらいの頻度でチャプターテストがある。**communication** では 2 週間に一回の頻度で簡単なプレゼンから長いプレゼンまで行う。**Writing** の授業は、ナフスと同じ形式で **outline**、**first draft**、**second draft**、**final draft** と書いていく。どの授業も学生が積極的に発言することがほとんどで先生側から指名されることはあまりない。大学内は **ELP** 以外の学生も多くいて自然の中にあるため空気がとても綺麗。図書館にはパソコン、コピー機、自習室があり勉強する環境が整っている。

### II. 生活状況

ホームステイ先はホストファザーがカナダ人、ホストマミーはフィリピン人で子どもが 2 人いる。私の他に韓国人の留学生がいる。部屋はとても広く生活に困ることはない。家からバスで 30 分ほどで学校につく。ホームステイ先には **WiFi** があり、夕食以外は自分で用意している。洗濯も自分で行う。キャッスルガーは田舎のためお店も少なく買い物できるところが限られているため衣類はあまり買ってない。週末は日曜日はバスがないためホストファミリーの子どもとテレビゲームや映画をみたり一緒に遊んで過ごしている。ホストファミリーの友達とホームパーティをすることもある。週に一回くらいの頻度で友達と外食をする。

留学種別	認定
留学先大学	センテニアルカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私は Centennial College にて Hospitality Foundations プログラム、決められた5つの授業を履修しています。

①Life Skills&Job Readiness は就職するためのレジュメやカバーレターの書き方、面接の練習など就活に必要なスキル、②World Geo では地球の身体的な学習をしました。③Developed Communication Skills ではおもにリーディング④Food Safety, Smart Serve and First Aid ではアルコール取り扱いの免許、応急処置の免許など異なる 3 つの Certifications を取りました。⑤Introduction to Math では料理、マネジメントに関係する数学を学びました。

クラスの人数は授業にもよりますが、少ないクラスで約15人、多いクラスで40人程です。私が知っている中ではネイティブの生徒、メキシコ人、インド人、ポルトガル人が多く、日本人は私一人です。1コマ2-3時間の授業が毎日1-2コマあります。使用している教科書はリーディングの本、地図帳などですが、多くの授業はオンラインの教材を使用しています。Life Skills の授業を除いてすべて講義形式となっています。学習環境はとてもいいです。とくに図書館はたくさん、コンピューター、グループスタディールーム、一人ひとり仕切ったあるエリアがあります。

### II. 生活状況

私は初めの1か月はフィリピン人の家族のもとでホームステイして過ごしていましたが、夜遅くに電気をつけて勉強してはいけないというルールがありました。私はそのころはまだ授業、課題がなかったので困ることはなかったのですが、一緒にホームステイをしていた生徒がとても困っていました。また、一日中誰かの怒鳴り声が聞こえる、差別ととられることをいわれたりして一か月もたたずに大学の寮に移ることにしました。寮はとても居心地がいいです。寮に移ってから初めは十分な食料やレパートリーが少なく食事が偏っていましたが、今は作れる料理も増え、健康なメニューで生活しています。休日は課題をするか、友達と NBA を観に行ったり一緒にご飯を食べたりして過ごしています。

留学種別	認定
留学先大学	トロント大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

コース内容は、**English Plus** (1ヶ月) と **Academic English**(3ヶ月)を前半期間と見なし、中間報告させていただきます。主に、殆どの **ESL** を受ける学生は、この二つのコースになります。高い **TOFLE** もしくは、**IELT** をお持ちの方は他のコースも取得可能です。内容は、前者が英会話に重点が置かれ、文法や言い回し表現が教えられます。多量なデータからの教材になるので、過去の使用された授業内容を使いまわしているように感じました。それは後者も同じです。特に学問的要素は含まれず、実戦形式を中心に英語練習を行います。後者では主に、学問内容に重点が置かれています。例えば、健康や動物のコミュニケーション並びに、環境問題が取り上げられます。その仕組みを理解する為に、**Ted Talk** が多く使われます。基本的に、前者と違って実戦練習はありません。然し、このコース (3ヶ月) では、週に一回 **Project day** という団体学習期間が組み込まれています。新しいクラスメイトとチーム編成を行い、調査を進めます。最後のテスト期間に、プレゼンテーション形式で発表会があります。教材は全てプリントが配れる為、購入する教材はゼロです。

授業スケジュールについては、**English Plus** と **Academic English** によって異なります。**English Plus** では、午前中授業になります (9時10分から12時50分)。**Academic English** では午後授業となります (13時から17時)。然し、金曜日のみ時間が違い、**Academic English** については14時から17時の3時間に短縮されます。主に、ただただ金曜日だからというのが主な推測です。

国籍割合については、夏季シーズンということもあり、関西学院大学、中京大学、桜美林大学、龍谷大学といった多くの大学から3ヶ月留学で、八月末の **English Plus** から **Academic English** (前期) と時期がかぶる為、殆どが日本人です。その中には、大人層 (30代から40代) も少人数参加しています。2番目に多いのは、中国・韓国・台湾といったアジア圏内から来られる人が残りの割合を占めています。残りは、ロシア・スペイン・フランスとかなり極僅かですが同じコースを取っていました (あくまでも自分自身がいた時期によるもの)。それによる一つのクラスの人数は、15から20人程度でした。途中からクラスのレベルを落とすもしくは、あげる人もいるので、その場の状況によって変動します。

大学での自主勉強環境は他の建物に比べると立地の良いところに建てられていると感じます。**ESL** を受ける **OISE** という建物には、地下鉄と直結している上に、図書館 (9am から 21pm) が設備されているので自主勉強環境が整っている印象を受けました。

### II. 生活状況

生活環境は、ホームステイしています。ダウンタウンの中心地から離れた場所に住んでいて、路線図から言うと、端っこ辺りに住んでいます。比較的に、駅からも徒歩で行ける距離 (およそ13分) です。然し、家の近くにバス停があるので、バスを利用して5分あたりで着けます。そこから電車通学になります。

家庭環境は、快適な暮らしをさせて頂いているように感じます。食事も満足し、地下が留学生用の空間となっているのでプライベートも考慮されています。普段は、ホストマザーの妹さんが同じフロアで共同していますが、今は冬季休暇で不在の為、ルームメイトと二人です。こちらの家庭は、長い年月ものホームステイを運営している為、主に日本人を受け入れているようです。その為、私が来てから日本人としか会っていません。特に不満という点はありませんが、お互い (ルームメイトと家庭) との壁は大きいです。最低限 (頼まれたことを含む) のことはやり

ますという感じがします。クリスマスや休日などでは、特に家族とルームメイトとみんなで出かけることは全く、自由に過ごしてくださいと感じています。プライベートの時間を重視したいという人は、いい環境だと思います。買い物は必要最低限のもの（シャンプーやボディークリームなど）だけを購入するだけで特にありません。他には、欲しい物や外食に出費する程度です。ここ周辺には、生活に必要となる銀行、ショッピングモールやスーパーマーケットが近くにあるので、買い物に不十分することはありませんでした。

休日は、カナダでできた現地の友達に時間割くようにしています。もちろん、日本人との娯楽にも費やします。特に予定ない日は、図書館へ行って勉強するか、予定管理をしています。主に、平日と休日に関わらず、参加させて頂いている部活動に参加するようにしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースアイランドカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

○コース内容（授業の内容）

#### ESL

##### ①Writing

- ・エッセイの書き方(paragraph, introduction, conclusion, outline,)
- ・エッセイの種類(case-effect, compare-contrast, process )
- ・要約
- ・Paraphrase
- ・文法（関節疑問文、接続語など）

##### Reading

- ・読解問題
- ・同義語、対義語、派生語、連語

##### ②Listening

- ・教科書付属の講義の聞き取りと演習
- ・YouTube を使って聞き取り（TED や弁論大会など）

##### Speaking

- ・プレゼンテーション
- ・ディスカッション
- ・即興スピーチ

##### ③Grammar

- ・受け身、名詞節、形容詞節、動名詞と不定詞、接続詞、副詞節、仮定法

○クラス人数、国籍

16～17人（クラスが一つキャンセルされた為、本来であればもう少し少ない）  
ベトナム、中国、タイ、アラブ、ブラジル、日本

○一週間の授業時間割

月：Writing & Reading(8:30~11:30) Listening & Speaking(13:00~16:00)

火：Grammar(13:00~16:00)

水：Writing & Reading(8:30~11:30) Listening & Speaking(13:00~16:00)

木：Listening & Speaking(13:00~16:00)

金：Writing & Reading(8:30~11:30)

○使用教科書

Longman Academic Writing Series Fifth Edition

Focus on Vocabulary2

Understanding And Using English Grammar Fifth Edition

○授業形式

講義形式

○環境

良い

## II. 生活状況

### ○ホームステイの環境

- ・ホストファミリーが韓国人（夫婦2人）
- ・中国人高校生2人が一緒にホームステイ
- ・英語にはあまり触れられない
- ・韓国人は韓国語、中国人は中国語を話すので家の中では孤独感を感じた。
- ・夜中の12時から朝6時まではWi-Fiが切られるため携帯が使えなくなる（以前ステイしていた中国人が夜通しゲームをして不登校になったため）→勉強に支障

\*引っ越しました

### ○通学方法

自転車、徒歩、バス

### ○食事、買い物

- ・ホームステイの食事は主に韓国料理。時々中華料理と日本食が出る。
- ・外食はほぼしない
- ・買い物は、古着屋さんが充実

### ○休日の過ごし方

- ・課題
- ・カナダ国内へ旅行
- ・楽器の練習
- ・ダウンタウンへ行く

留学種別	TESS II
留学先大学	ノースアイランドカレッジ
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

履修した授業は以下の3科目

・ **listening & speaking**(1 コマ 90 分・講義)

聞き取り・音読・発音練習・プレゼンテーション等

教材:YouTube 等

授業日:月曜午後・水曜午後・木曜午前

生徒:中国人 7 人・ベトナム人 7 人・日本人 3 人・ブラジル人 1 人・アラブ人 1 人

・ **writing & reading**(1 コマ 90 分・講義)

パラグラフ・エッセイの書き方・読解問題・文法

教材:Focus on vocabulary 2 (Mastering the academic word list)

授業日:月曜午前・水曜午前・金曜午前

生徒:中国人 7 人・ベトナム人 7 人・日本人 3 人・ブラジル人 1 人・アラブ人 1 人・タイ人 1 人

・ **grammar**(1 コマ 90 分・講義)

関係代名詞・仮定法・不定詞/動名詞

教材:Understanding and using English grammar

授業日:火曜午後

生徒:中国人 7 人・ベトナム人 7 人・日本人 3 人・ブラジル人 1 人・アラブ人 1 人・タイ人 1 人

教室や設備等について

学部を履修する生徒とは離れた建物にて。

清潔感もあまりなく、空調設備が良くない。

コンピュータは図書室等に多数そろっているが、書籍は比較的少ない。

### II. 生活状況

ホームステイ先について

両親と娘の3人暮らしで留学生は私を含め2人でお互いに日本人でした。カレッジからは徒歩30分でしたが、天気の良い日は基本的にホストから借りた自転車で通学をしていました。10分ほどでした。二階建ての一階に留学生が住む形式で、食事の時間は二階へ上がり、それ以外の時間帯は基本的に個人の部屋で生活をしていました。特に干渉されることもありませんでしたが、週に一度ほどハウスキーパーが私の部屋も掃除をしていたので少し気がかりではありました。設備としては、一階にもテレビや冷蔵庫があり、自由に使用を許可されており、とても生活しやすいと感じました。食事に関してもホストは基本的に料理が上手で、毎日美味しいご飯をいただけたと思います。白米やラーメンなどの日本食を食べる家庭だったので、それほど食文化に困ることもありませんでした。

休日の過ごし方については、友達とバスでダウンタウンに行き、お喋りをしたりセカンドハンドストアで洋服等を買ったりしていました。私の住む町には電車が通っていないため、移動手段はバス・自転車・徒歩が基本でした。

留学種別	認定
留学先大学	ブリティッシュコロンビア大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

Vancouver English Experience Program, VEEP

400 Intermediate 1 -2

Integrated Skills Course, 16人中日本人12人、韓国人1人、サウジアラビア人1人、中国人2人

Integrated Project Course, 16人中日本人12人、韓国人1人、台湾人1人、中国人1人、サウジアラビア人1人

月曜一木曜

morning class 8:30-12:00

afternoon class 13:00-14:40

金曜

workshop 9:00-12:00

午前中の授業は基本的に座って先生の話聞く形式です。

午後の授業はプレゼンしたり教室を出ていろんなところへ行ってインタビューしたりします。

私の教室がある建物は朝8時半から夕方5時までしか開いていませんがキャンパスが広く図書館が8つほどあり夜中まであいているので勉強する場所には困りません。クラスのある建物内にもパソコン室兼自習室があります。Wi-Fiも通っているのでネットも使えます。

### II. 生活状況

ホームステイ先は学校から徒歩とバスで1時間15分程かかり毎朝起きるのが大変です。ホストファミリーはベトナム人でとても優しいですが干渉してくることはなく、家ではみんな基本的にベトナム語で会話していて私と話すときだけ英語です。ベトナムの訛りが強く、1回では聞き取れないことがよくあります。

部屋は2階に1人部屋がありトイレとお風呂は4人で共用なので朝時間がかぶると大変です。

ご飯は3食付きで、朝は自分でパンを焼いたりシリアルを食べたりします。昼は昨日かおととの残り物を自分で詰めて持っていきます。夜は早く帰れば家族で食べますが夕ご飯の時間が4時半なのでなかなか一緒に食べられることはありません。

門限やきっちりしたルールはありませんが家族が多いためお湯が出なくなりお風呂に入れないことがあったり電気の使いすぎで停電することがあります。

4人家族にルームメイトが1人います。半地下を旅行者向けに貸し出していたり、家族の知り合いや親戚が長期で泊まりに来たりするので家に何人いるのか把握することが難しいです。

3食付いてるし、家にあるものは何でも食べていいルールなので自分で買い物に行くことはあまりありませんが、徒歩10分程のところにアジア系のスーパーがあり多少高いですが何でも買うことができます。一駅先には大型のスーパーもあり買い物で困ることはありません。

休日は学校の友達と遊びに出かけます。名古屋くらいの大きな都市なので遊ぶところに困ることはありません。ホストファミリーがどこかへ連れて行ってくれる事はまずありません。

留学種別	認定
留学先大学	ヨーク大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

コース内容 : Academic Program Course

クラス : 16人 (中国人 10人、日本人 5人、イラン人 1人)

時間割 : 1週間で Reading, Writing, Speaking, Grammar をやります。

教科書 : Cause&Effect 3(Reading) 、 Open Window(Grammar)

授業 : ゼミ形式

大学について : NEXUS というパソコン室に英語で書かれた物語本が沢山置いてあり、自由に借りることができます。学校内にレストランや美容院、ネイルサロンなどがあり、とても便利です。名古屋外大の PUT のような英会話の時間が授業外にあり、スピーキングの練習ができます。

### II. 生活状況

ホームステイ : マンションの最上階にホームステイしています。家のルールは特に決まりはなく、自由です。衣類の洗濯はマンションの共同洗濯機を使っています。ホームステイ代とは別にお金がかかるのが少し嫌です。

通学方法 : バス (約 40分) 家の目の前にバス停があるので、とても便利です。1ヶ月定期を購入しています。(CA\$116.75)

食事や買い物 : 朝、昼は家にあるもので自分で作り、夜はマザーが作ってくれます。たまに夜ごはんがファストフードのときがあります。

休日 : トロントの観光地に行ったり、ショッピングモールに行ったり、1日勉強する日もつくっています。

留学種別	TESS II
留学先大学	レイクヘッド大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私は、AEP (Academic English Program)に参加しています。授業の内容としては、MLA方式のエッセイの書き方、プレゼンのやり方などをメインに学んでいます。また、リーディングの授業では教育、健康、暮らしなど様々なトピックに関するアカデミックな文章を読み、クラスメイトと話し合いながら、自分たちの考えを発表するといった授業が行われています。授業形式は、グループワークが重視されています。またクラスの人数は17人で、17人中15人が中国人、バングラデシュ人が1人といたクラスです。私は15:00から21:00まで1日5時間、授業があります。使用している教科書は、Reading&WritingとListening&Speakingの2冊です。レイクヘッド大学は、勉強できる環境がとてもそろっており、図書館やカフェなど自習できるスペースがたくさんあります。また、10月から気温が寒くなっていますが、大学内は快適です。

### II. 生活状況

私はホームステイプログラムに参加しています。私のホームステイ先にはホストファザー、ホストマザー、そして1歳の女の子がいます。また、ペットとして犬と猫が一匹ずついます。ホームステイの環境はとてもよく、プライバシーも尊重されており、何も困ったことなく生活できています。週末にはホストファミリーの方々にカナダの有名な場所に連れて行ってもらったりなど、楽しく過ごせています。ホームステイ先は学校から少し離れており、バスで約40分かけて毎日通学しています。家の目の前にバス停があるのでとても便利です。また、食事に関しては、ホストファミリーがすべて用意してくださいます。たまに週末には私が日本食を提供して一緒に食べたりしとても充実した生活を送っています。買い物は学校の友達といたり、週末にホストファミリーに連れて行ってもらったりなど様々です。私が困っていたら、ホストファミリーの方々がすぐに助けてくれるので、何の困難もなく充実した留学生活を送ることができています。

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	レイクヘッド大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

授業形式は、ワークショップまたは講義+チューターの2パターンしかありません。教科書は大体購入ですが、こちらの教科書代は結構高いので、だいたいの方は **ebook** で済ませています。環境面では充実していて、カフェテリア以外にもいくつかカフェがキャンパス内にあり、図書館も地下は24/7で **365** 日空いている上に静かなので集中しやすいです。現在はビジネス科目二科目、心理学一科目、複言語一科目で、週に4日通っています。

### II. 生活状況

**unicentral** と **varsity** があります。どちらもシェアハウス形式で4人で過ごします。私は **unicentral** で過ごしていますが、洗濯機完備、各自部屋にバスルームとトイレが完備しています。学校から徒歩圏内です。応募したときはこの2つしか知らなかったですが、**student villege** と学校関連のアパートがあるのでしっかり調べたほうがいいです。全般的にシェアハウスは色々なトラブルがあります。食事や買い物面では、基本物価が高いです。週に50ドル以上行くことが普通だと思います。バスの出入りは頻繁なので、交通面では困ることがないと思います。車で15分圏内にビーチがあり、20分圏内には主要ショッピングモールがあります。

留学種別	TESS II
留学先大学	レイクヘッド大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

コース名：Academic English Program。Reading、Writing、Listening、Speaking の4つのスキルを学ぶ。

一クラスの人気はバラバラだが、20人以下の少人数クラスで、私のクラスは11人（中国人8人、イラク人1人、日本人自分のみ）。

月曜から金曜の15時～18時はReading&Writing、月曜～木曜の19時～21時はListening&Speakingの授業で、18時～19時は夕食休憩。

使用教科書はどちらの授業もOXFORD Q:Skills for Success 4 SECOND EDITIONを使って、1週間～2週間で1UNITを終わらせる。基本的には教科書に沿った授業で、各トピックについて2～3人グループでディスカッションをし、その後クラスで意見を共有し合う形。Writingの授業では先生から出された問いに対して3～5文程度の意見をそれぞれホワイトボードに書き、生徒同士で文法を直し合ったり、750wordsのエッセイ提出が3回あった。Speakingの授業では、トピックについてペアで意見を出し合い、その後5分程度クラス全員の前でディスカッションする。また3回のプレゼンテーションがあり、最初の2回は個人プレゼン（7～8分）、最後は2～3人グループでプレゼン（15分程度）があった。各UNITが終わるごとにUNITテストがあり、学期末にFINAL EXAMがある。

図書館はいつも人でいっぱいだが、パソコンも自習机もたくさんあるのでいつでも使える。また毎週金曜日に自分のエッセイやプレゼンなどの勉強をサポートしてくれるFREE WALK-IN ESL CLINICというのが設けられている。

### II. 生活状況

ホームステイの環境は快適で、基本的にはルールがなく、シャワーの時間帯や長さも自由。家から徒歩7分ほどのバス停から約20分（乗り継ぎなし）で学校に行けたのでとても便利だった。しかし30分に一本しかバスが来ない。

私の授業が15時～21時で、ホストファミリーは朝8時に出勤、16時頃に帰宅するので、平日はなかなか一緒に過ごす時間が取れなかった。なので、週末に買い物やお出かけ、近所の方とご飯を食べたりして、できるだけ一緒に過ごした。

最寄りのバス停のすぐそばにスーパーマーケット、薬局、コーヒーショップがあり、ショッピングモールはバスで30分の所にあったので学校の前に寄ることも多かった。

友人の多いホストファミリーなので、たくさんのカナダ人と知り合えて、英語の話す機会も多く、カナダのこともたくさん教えてもらえるので、とてもいい環境だと思う。

留学種別	TESS II
留学先大学	レスブリッジ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### Dhillon School of Business

自分が受けた授業は全て30名ほどのクラス構成で先生との距離も近く、発言もしやすい環境でした。

#### ・ International Management (国際マネジメント、講義形式)

他国からの留学生、大学院生、現地学生など幅広い生徒が受講していました。

3つのテストと最終プレゼン(4~6名ほどのグループ)で評価

国際ビジネスを名古屋外大で学んでいたこともありとてもやりがいのある授業でした。現地の学生は積極的に手をあげて発言しているのが印象的でした。教授の英語の発音が聞き取りずらく理解するのに必死でした。1コマ75分で各授業 週2回でした。

#### ・ Introductory to Accounting (初級会計、講義形式、CPA取得に向けてのイントロダクション)

留学生は自分だけでした。他は全て現地学生でした。将来カナダで会計士になるということも視野に入れているため非常に参考になった。

随時理解できているかを自分自身で確認しないとどんどん置いてきぼりになる。チューター制度があったためわからないところはチューターに質問できた。3つのテストとグループワークでした。1コマ75分で各授業 週2回でした。

#### ・ Canadian Culture and Management (カナダの文化と経営、講義形式)

こちらは留学生のための授業で必須科目でした。週に1回で約3時間の授業でした。

非常にフレンドリーな教授で伝統ダンスを踊ったりレスブリッジの政治家やホッケープレーヤーがゲストスピーカーであったりなど楽しい授業でした。

2回のテストとグループプレゼンテーションとエッセイで評価。

-----  
**※Marketing (マーケティング 講義形式)** こちらは最終テストの前に単位を取ることが厳しいと判断したため放棄しました。

1コマ75分で各授業 週2回でした。

各授業ひたすら先生が話をしている授業でした。留学生もちらほら見受けられました。

3回のテストとファイナルプレゼンテーションでの評価。他の授業は50%以上でパスできるのに対しこちらの授業は最低60%必要であり、各テストの範囲が非常に広くテストで良い点数を取れなかった。現地の学生でも厳しそうにしていたので運が悪かったと思う反面、現地学生以上の勉強が必要であったと反省。

#### 学習環境

各建物には勉強するスペースがあり、勉強場所には困らなかった。図書館には **Quiet Place** があり集中できた。

グループルームをオンラインで予約できるためグループワークの際に非常に役に立った。

### II. 生活状況

キャンパス内にある寮に住んでいます。ルームメートは自分以外に3人おり、皆常識のある人でとても快適に過ごしている。

キッチン、バスルーム、自分の部屋含めて全てが清潔で完璧な状況です。

徒歩5分で教室には行けるた非常に便利。非常に風が強く天候に左右されやすい街です。

徒歩で行ける範囲に最低限必要なものは手に入り、バスは15分、30分おきに朝から夜まであるため買い物には困らないです。

日本同様オンラインショッピングで最悪なんでも手に入ります。日本食レストランもたくさんあり日本食が恋しくなることもありません。

休日は友人とバーに行ったりホッケーゲームを見に行ったり様々です。あまり観光する場所はありませんが、友人と遊びに行くには困らない程度に映画館や日本庭園などがあります。

留学種別	TESS II
留学先大学	レスブリッジ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

EAP のコースで、現在受講しているクラスは、コミュニケーションのクラスと、reading&writing のクラスで、コミュニケーションのクラスの授業内容は、グループでディスカッションをしたり、プレゼンテーションをしたりと、自分の意見を人に伝える場面が、非常に多いです。reading&writing のクラスの方は、外大で受けている writing のクラスとほぼ同じ内容ですが、エッセイの書き方について、より細かく深く学ぶため、理解が深まり、留学する前と比べて、エッセイを書くのが得意になりました。

クラスの人気は、両方のクラスともに15人程度で、国籍は、日本、韓国、バングラデシュ、インドです。授業は、週4日あり、1つのクラスが3時間近く続く日もあるので、最初は慣れるのに苦労するかもしれません。

大学の環境はとてもよく、特に図書館には、静かに勉強したい人用の階があるので、集中して勉強したいときには、とても便利です。

宿題に関しては、量は少ないですが、毎日とっていいほど出ますし、週末をはさむ場合は、よりたくさん出されます。

### II. 生活状況

私の住んでいる寮（寮といっても、学外、一軒家、シェアハウスです。）は、食器や調理器具など、消耗品以外は何でもそろっていますし、とても綺麗ですが、他の寮では、そうでないところもあり、当たり外れがあるかもしれません。

Wi-Fi が完備しており、携帯は日本同様に使えます。繋がりにくいと感じたことはありません。大学から寮まで、歩きだと20分ほど、バスだと5分ほどで大学に着きます。

買い物は週に1回程度で、歩いて15分ほどのところにあるショッパーに行っています。品揃えはあまり良くなく、少々割高ですが、歩いていける範囲にはそこしかないなので、使っています。

1日3回料理するのは大変なので、冷凍食品に頼ったり、週末に時間があるときは、何かストックを作るようにしています。

休日は、宿題をしたり、近くの公園に行ったり、ルームメイトとパーティをしたりしています。

留学種別	TESS II
留学先大学	レスブリッジ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### ①スペイン語(SPAN 1100) :

スペイン語の中級以降のレベルの文法、リスニングやグループワークを中心とした授業で、主に授業はスペイン語のみで行われる。

クラスの人数は 17 名程で自分以外は全員カナダ人。

毎週月曜と水曜に午後 4 時から午後 5 時 15 分の 75 分の授業が行われる。

教科書は?Hola, amigos!

授業はレクチャー形式

#### ②社会学(SOCI 1000) :

主にカナダの社会を取り巻く状況や社会的問題を各パートごとに学ぶ。

クラスの人数は約 150~200 名程度で大方はカナダ人だが様々な国籍が混じる。

月曜水曜金曜の週 3 回、午前 9 時から午前 9 時 50 分までの 50 分授業。

教科書は Elements of Sociology

授業はレクチャー形式

#### ③言語学 (LING 2300) :

言語の成り立ちや、音を IPA を用いて実際に示したり、言語を歴史的観点から観察する。

クラスの人数は約 50 人程度で大方はカナダ人だが様々な国籍が混じる。

毎週火曜と木曜に午前 9 時 25 分から午前 10 時 40 分までの 75 分間の授業が行われる。

教科書はなく、教授が作成したスライドで学ぶ。

授業はレクチャー形式。

#### ④マネジメント (MGT 3680) (留学生のみが受けることができるカナダについて学ぶ授業) :

カナダの歴史、経済、政治、文化など様々な観点からカナダという国を学ぶ授業。

クラスの人数は約 35 名程、ヨーロッパ圏、アジア、南アメリカ、インドなど様々な国から来た留学生たちで構成されている。

毎週火曜の午後 6 時から午後 8 時 50 分の 170 分間の授業。

教科書はなく、教授作成のスライドで学ぶ。

レクチャー形式で、たまにゲストスピーカーを招く。フィールドトリップも行われた。最後にはグループでプレゼンテーションをしたり、長い文章を作成する。

大学の学習環境はとても整っている印象を受ける。テスト期間になると大勢の学生が図書館に籠る。

### II. 生活状況

宿舎は自分とカナダ人の 2 人で 3 階建ての大学の宿舎に住んでいる。来た当初は家具はあったが、家電製品が冷蔵庫とオープン付きの電気コンロしかなく、ルームメイトも留学生の場合すべて自分たちで購入する必要があるため、無駄にお金がかかってしまう。自分の場合はルームメイトがカナダ人だったため、彼女がすべて持ち込んでくれて、それらを共有している。

内装自体はとてもきれいで満足しており、部屋もバスルームも広く、キッチンも広いためストレスをまったく感じない。

大学の敷地内にあるため通学方法は徒歩で、最短 3 分、最長でも 10 分程度で大学の施設に到着することができる。

食事は自炊を毎日しており、外食は 5 回程度したのみ。買い物といえば食料品を買いにスーパー

一にしか最近は言っておらず、ネットで各スーパーのチラシを調べて安いところを回り節約している。

休日は午後から図書館に行ったり自室で課題やテスト勉強をする。

留学種別	TESS II
留学先大学	レスブリッジ大学
留学先国・地域名	カナダ
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### 1. Reading/Writing class

・APA スタイルを利用したエッセイの書き方を段階にわけて詳しく学ぶ。Introduction, Body, Conclusion に含まれるべき要素や重要な文の書き方や構成を文献から探すだけでなく、自分でも書けるようにスキルを身に着ける。合計3つの異なるエッセイを書き、だんだん内容も濃く長いものになっていく。

一冊の小説を章ごとにしっかり理解、Critical questions に対する短文での答え方を学ぶ。またペアでそれぞれ一つか二つの章を担当し、先生となって単語の説明やほかの生徒からの質問への返答、ディスカッションの進行をする。パートナーとどのような質問にも答えられるよう、事前に準備をするため非常に理解を深めることができる。

- ・16人 日本、韓国、中国、台湾
- ・火、木：8:00-10:40 水、金：8:00-9:50
- ・講義、Discussion、Writing
- ・Coursepack (大学の教材)、HOMES
- ・教室の壁に沿って一列に机が並んでいる。みんながしっかり先生を見ることができる。

#### 2. Communication Class

・教科書に沿って短い講義を聞いてリスニング力をつけるとともに、内容の理解を深める。他の映像やニュースも利用して常に Undergraduate class に向けてのリスニング力を入れる。またディスカッションやプレゼンテーションを通して、ほかの人をどう引き付けるか、どのように自分が言いたいことを伝えるのか、そのためのポイントを学ぶ。

- ・10人 日本、韓国、中国、台湾
- ・火、木：10:50-13:30 水、金：10:00-11:50
- ・University Success
- ・ゼミ形式
- ・プロジェクターがある普通の教室

### II. 生活状況

2階建てで下の階が私と一人のルームメイトの基本的な共有スペースとなっている。トイレ、シャワー、洗面所は一か所に入っており、バスタブはない。家族は上の階に住む。みんなで映画をみるプロジェクターがある。レスブリッジでは典型的な家の形だと思う。環境は非常に良い。共同スペースが多いため、みんなで会話を楽しむ時間が多くある。それぞれが読書や課題をそこでしていることもある。通学は市のバス。朝昼は自分で簡単に用意したシリアルやサンドウィッチで、夜は家族と一緒に食べる。夜ご飯の時間に家に帰れない時も、伝えれば私の分のプレートを置いておいてくれる。買い物は大学からのバスで行ける範囲にスーパー、モール、薬局、レストランといろいろあるため便利で、私は十分満足している。しかしバスは1時間に2回の巡回であるため、時間の調整を少し大変だ。休日は大学で勉強したり友達と遊んだり、家で映画を見て過ごしている。

留学種別	TESS II
留学先大学	ウエルバ大学
留学先国・地域名	スペイン
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

- ・コース内容（授業内容）：経済学、経営学、統計学
- ・クラス人数、国籍：20～80人 授業によって様々（教室の大きさの関係もあるため、履修は先着順のため早めに履修を行わないと人気のものは取れない）
- ・一週間の授業時間割：（1週間に8コマ 1コマ2時間）
- ・使用教科書：（基本的には moodle で資料配布、スペイン語の授業はレベル別の教科書が必要）
- ・授業形式（講義形式、ゼミ形式等）：全て講義形式
- ・大学の学習環境、自習室、教室の設備：calmen（大きいほうのキャンパス）には図書館の中に自習するスペースがあるが marced（小さいほうのキャンパス）には数か所机と椅子が置いてあるのみで、図書館を利用する際は探している本を伝えるだけで中には入れない  
教室は授業時間外は基本施錠されるため空き教室は利用できない

### II. 生活状況

- ・宿舎の設備、環境：最初の1か月はユースホステル：キッチン1か所で40人ほどの学生でシェア、洗濯機や乾燥機にお金がかかる、朝食付き、
- ・ホームステイの環境：部屋、小さなリビングルーム、バスルームが与えられた、city center にも近く大変便利
- ・通学方法：基本的には歩きか自転車、時々バス利用
- ・食事や買い物：小さな町だがスーパーはたくさんある、基本的には自炊
- ・休日の過ごし方：空港が近いので旅行、ヨーロッパ内はLCCが多くあるため格安で様々な場所に行ける、友達と出かける、課題

留学種別	TESS II
留学先大学	レイフアンカルロス大学
留学先国・地域名	スペイン
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

マネジメント・マーケティング系の授業を主に履修していました。マネジメントの授業を1つ、マーケティングの授業を2つ、観光産業の授業を1つ履修していました。どの授業も人数が多く、30人ほどの授業から100人前後の授業もあります。また、国籍は現地学生が半分ほどで、留学生の国籍はドイツやフランスなどEU圏の学生と中国の学生が多いように感じられます。やる気のある学生が多いので授業内での発言が盛んな印象が強いです。私が1週間に履修していた授業時間数は14時間と少ないですが授業時間外でグループワークを行っていたので授業時間よりもグループワークに費やす時間のほうが多かったです。私が履修していたすべての授業ではグループワークが成績評価のうちの1つなので日本よりもグループワークが重要視されていると感じました。普段の授業は講義形式で、先生がスライドを使ってレクチャーするスタイルが主流です。成績評価では授業内での発言が求められることや、6 - 8ページのレポートの提出もあります。授業内で教科書を利用することはなかったのですが、グループワークを行う上で自主的に学習しなければいけない内容を学んだり授業で学んだことをもっと詳しく勉強したりするとき教科書が必要になりました。キャンパス自体はとて小さく、教室棟、図書館、研究室棟しかないので自習するとしたら図書館で勉強するしかありません。

### II. 生活状況

私はキャンパス内にある学生寮で暮らしていますが、95パーセント以上が現地学生なので積極的にかかわろうとすればスペイン人の友人を作ることも難しくありません。二人部屋と一人部屋のどちらかを選択できます。部屋にはシャワー・トイレとキッチン（コンロなし）があるので設備はとても整っています。また、週に一回部屋の掃除をしてもらえるので掃除用具を全部揃える必要はありません。洗濯機・乾燥機は共用のものが3つずつありますが洗濯乾燥で5ユーロかかります。キャンパス内にある寮なので私は徒歩で通っていますが、マドリードの中心地に住んでいてもメトロで通うことができます。ひと月20ユーロの定期があるので中心地に住んでいる学生はそれを利用している人がほとんどです。食事は寮のご飯1食と、電子レンジ調理器を日本から持ってきているのでそれを使って自炊しています。買い物はキャンパスの隣にあるコマーシャルセンターで済ませることができます。服や雑貨などは中心地に行かないと揃えられません。休日は大学の友人と留学生交流団体のイベントに参加したりマドリードの観光地を巡ったりしています。マドリード周辺にも観光都市があるので時々マドリードから出て観光したりもします。外食しようとするとかかなり高くつくので外食は控えたほうがいいのかもかもしれません。

留学種別	認定
留学先大学	オークランドインスティテュートオブスタディーズ
留学先国・地域名	ニュージーランド
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

13～15人程度の少人数クラスで午前授業と午後授業で異なる内容を勉強しています。クラスの国籍は日本人が私を含め2人、他クラスメイトは中国、チリ、タイ、カザフスタン、ブラジル、モンゴル、サウジアラビア、コロンビアなどの国出身の生徒です。学校全体では中国とタイ出身の学生が圧倒的に多い印象があります。授業は基本的にゼミ形式で発言する機会が多いです。教科書を使って授業を進めています。大学は外国人用のキャンパスがあり、学部コースの学生はほかのキャンパスで学んでいます。日本人スタッフも大学に在中しています。

### II. 生活状況

私のホームステイ先では学生を積極的に受け入れているので、私のほかに、アメリカ人、ロシア人、ネパール人の学生と一緒に暮らしており、大学外でも英語を使用する良い機会となっています。個々に部屋とシャワー室が与えられているので比較的生活しやすいです。ホームステイ先は大学から徒歩15分、オークランド中心の町までも電車で20分と便利な場所にあります。食事は朝晩ホームステイ先でファミリーととります。昼食はホームステイ先にあるものから自分で調理して持って行くようになっていきます。休日は、市外に旅行へ行ったり、クラスメイトと食事をしたりして過ごしています。

留学種別	認定
留学先大学	カーン大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018 年度 2 期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私は **B1** のクラスに所属しており、授業内容は **ecrite** と **oral**、文法、発音などフランス語的な授業と、地理やプレゼン、遺産、文学などフランスの様々な分野を学ぶ授業があります。どれもつねに同じクラスメイト、20人で受講します。インドネシアや韓国、ベトナムなど、アジア人が半分程、その他はシリアやアメリカ、メキシコ、リビアなどです。一週間に **19.5** 時間、1日あたり二限から三限分です。教科書は一冊だけ購入し、あとは配布されるプリントなどを使用します。授業は小さな教室で、聴くというより会話するというイメージがあります。皆聞きたいことは、その時に聞きますし、先生もそれに対して易しいフランス語で答えてくれます。それでもわからないときも勿論ありますが、わからないと伝えればこちらがわかるというまで丁寧に説明してくれます。逆に、わからない、理解できないと伝えなければ、理解できないまま授業は進んでいきます。

### II. 生活状況

私はホームステイをしています。バスで五分、徒歩だと **30** 分の所にあり、ホストファザーとマザー、たまにホストファザーの子供がきます。「**vous** ではなく **tu** で話してね、家族なんだから」と言ってくれる優しい家族です。一人部屋で、休日はホストファミリーと料理を作ったりもします。学校主催のイベントや観光などにも参加しました。朝はパンと紅茶が主で、昼は学食で済ませます。夜は家でキッシュやピザ、ラタトゥイユなどです。デザートもたまに手作りのものをだしてくれます。誕生日の日の夕食は私が好きなキッシュとケーキを作ってお祝いしてくれました。

留学種別	認定
留学先大学	カーン大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

外国人向けのフランス語学習コース

20名ほどで受けている。

?dito という教材を用いる

プリント授業が主。

クラスの年齢層は高く、学生でない人もいる。

国籍は大半が日本人。なぜかと言うと、クラスわけには文法面を考慮してのクラス別けがされたが、日本人は文法ができて聞き取りができないという理由で多くの日本人学生がクラスのレベルを下げたからである。そのしわ寄せが私のクラスに来て、日本人の数が多くなった。国籍は日本人の次に多いのがイランで、その次は英語圏からのよう。

授業形式は講義式であり、主にコミュニケーションを大事にしている。発言することが重要とされており、よくそれで授業が止まることもあるが、その反面気になったことはすぐ質問できるという環境は整っている。クラスによって異なるが、定期テストもある。テストを行わない授業もあるがその場合プレゼンなどで成績がつけられるという。発音の授業では機材を使って先生が一人一人にアドバイスをする時間もあり、とても濃い時間となる。会話の授業では、ペアワークも多く様々な場面での会話の練習をする事が出来る。例えば、ホテルの予約を取るとか、賃貸物件を探すクライアントとスタッフの会話など。フランスの文化や地理、歴史などの授業では、フランス独自の文化や食事、フランスの歴史などについて学び、その際自分で調べたり、プレゼンを作ったりと、特にノルマンディー地方については詳しく学ぶことが出来る。ただ、キリスト教が広く浸透しているフランスの文化は日本人やその他の宗教の人達には理解し難いこともあるようで説明を受けても納得仕切らず終わることもあるがその際は自力で調べている。

自習室は寮にある。学校では図書館を利用できる。

### II. 生活状況

寮

バスで 20 分かかるため定期(月 35?)を通す。

寮の設備について。

シャワー、キッチン共同。冷蔵庫も共同キッチンの中にあっただ、今は各部屋に備え付けられた。しかし、友人の中には依然としてキッチン内に自分の冷蔵庫がある人もいるので、同じ敷地内でも建物によって格差がある。格差といえば、部屋ごとにも内装が違うことはよくある。私の部屋には窓があるが、隣の人の部屋にはない。また、入居時に備え付けられていたベッドのシーツの種類も違うなど、小さいことかもしれないが決して皆同じとは言い難い状況である。

そしてカーン大学には寮がいくつかあり、私の住んでいる寮は 1 番遠く、そして古いため、不便なことも多い。例えば 2 番目に古い寮の子は、部屋にシャワーが備え付けられている。このように寮によってスペックが違うので、気になる人は事前に調べる事が重要。あまり大声では言えないが私の建物は決して綺麗とは言いがたく、学校からも遠いため、定期代もかかるし不便な点はおおい。

寮にはコインランドリーがあり、そこで洗濯乾燥までできるが、曜日や時間によっては使用中でどこも埋まっていて待ちがあることがよくある。そして、コインしか使えないため、ランドリーを利用するために小銭を用意することが不可欠である。基本的に洗濯一回が 2.5?、乾燥機一回が 1?である。週に一度する程度。

近くに大型スーパーがあるため食材などはそこで調達。自炊もできるが、調理器具は自分で揃えなければならない。なので私は友達と一緒に購入した。また決して物価は安いとは言えないので、スーパーはいくつもまわり、1番手頃な価格のスーパーを利用している。

食料じゃない日用品などを買うときは、大学の近くの市街地へ行き、そこで購入する。そこには高級スーパーがあったり、市役所、郵便局、銀行など生活の軸となる場所がおおくある。雑貨屋も多く、友人の多くはよくそこで買い物する。

放課後は市街地へ行ったり、友達と夕飯を作ったりしている。課題が多いときは学校の図書館や寮の自習室で作業したりしている。

休日は近くを散歩したり友達とバスで遠出したりする。しかし、日曜は店も開いていないので家にいることがほとんど。なので日曜に洗濯をしたりする。

ネット環境について。

カーンについて3日ほど、インターネットが使えなかった。寮にWi-Fiが設置されておらず、学校でも使えなかった。そのせいでSIMカードを購入したものの、ロック解除ができておらず、意味を成さなかった。結局自ら学校に直談判し、そこでパスワードなどを教えてもらったので、無事に接続できたが、最初のWi-Fiは接続が弱く、夜寝て朝には切れていることがほとんどだった。滞在して途中でWi-Fiが新しいものに切り替わり、それになってからはほとんど切れることはなくなったが、不意に繋がらないことがある。そのときはしばらく時間を置かなくてはならない。

留学種別	認定
留学先大学	カーン大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

文法、会話やグループワークが中心の授業、地理、文学、世界遺産、プレゼンテーション、アトリエ、発音の計8個の授業

約20人程度

国籍：日本、アメリカ、ベトナム、インドネシア、モンゴル、韓国、リビア、シリア、中国、クエートなど

アジア人とアラブ系が大半を占めている

1コマ90分で大体1日3コマ

教科書を一冊町の本屋で購入しましたが、それ以外はプリントが配布されるのでそれを使って授業しています。

文法の授業は講義形式だか、その他の授業はグループワークが多い

私は大学付属の語学学校に通っているのので図書館は1つ。大学の図書館へも生徒カードを使って利用することができる。

平日の放課後やテスト期間は勉強する生徒で溢れており、とても刺激をもらうことができる。

### II. 生活状況

5畳ほど(トイレ、机、ベッド、洗面台、物置棚、スタンド電気、クローゼット、作業台小、暖房) シャワールーム、キッチン共同、またキッチンに個人の冷蔵庫が備わっている

大学まではバスで20分(約3キロ)

近くに大きなスーパーやカフェなどがあり、生活には不便しない

バス停も寮の目の前

学生寮には学習室、洗濯室、パソコン室、プレイルーム、ジムなどが備わっており、多くの学生が利用するので友達を作るいい機会になっている。

平日は、学校が終わった後図書館で勉強するか、フランス人の友達に授業で分からなかったところを聞いたりして過ごしている。その他は家事などに時間が取られてしまうので平日は隙間時間を使って勉強するようにしている。

休日は大学主催の行事に参加(ウェルカムパーティ、モンサンミッシェル、ハロウィンパーティなど)したり、大学の友達と街へ出かけたりしている。街まではバスで25分ほど。課題やレポートが多いので、平日で終わらなかった分は土日にまとめてやることも多い。

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	グルノーブルアルプ大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

1 期目は **UGA** (グルノーブルアルプ大学) から 4 つ授業を履修しました。 **Sciences-Po Grenoble**(グルノーブル政治学院)からも授業の履修は可能でしたが履修しませんでした。語学の授業を履修する予定でしたがそういった授業は **UGA** にありませんでした。学部の担当の方になぜ去年はあった語学の授業がないか聞いたところ、毎年授業は変わるから今年は無いと言われました。他の学生に聞いても語学の授業がなくて困っていると嘆いていました。フランス語は独学しかありませんでした。しかし語学学校の **CUEF** があるのでそこでの履修は可能でしたが **CUEF** の存在に気付いたのが遅く、履修できませんでした。 **CUEF** は単位ももらえず授業料を払う必要がありますが国際交流部の方に尋ねたところ単位はもらえなくても帰国後に単位互換できるみたいで費用についても半年分は **NUFS** が負担してくれるみたいです。履修する授業はすべての学部から選べるので留学前に自分が学びたいことをはっきりさせておくべきです。学部選びも重要です。選んだ学部から **51%**以上の授業を履修する必要があるので学部選びはしっかり考えてください。インターネットで授業や学部について調べられるのでしっかり情報収集してください。

私は **Initiation aux méthodes d'analyse littéraire, Culture et expression, Théories des critiques, Economie et politique de la communication** という授業を履修しました。 **Initiation-**は長文を読んで問題に答えたり、批評の書き方などを勉強しました。これは留学生向けの授業のため、正規の学生は履修していません。授業は当然フランス語で行われます。次に **Culture-**はフランスの **18** 世紀の歴史について学びました。この授業は正規留学生も履修しています。この授業はスライドを使わず、板書もあまりしない授業であまり理解できませんでした。次に **Théorie-**文字の起源や文字と社会について学びました。教授はバカンス前と後で変わりました。板書はなくスライドはバカンス後の教授のみ使用してくれました。前半の教授は時々動画や写真などを見せながら説明をしてくれました。 **Economie-**は **SNS** が経済に与える影響などについて学びました。毎回スライドを見ながら解説されました。 **Théorie-, Economie-**は **L3** の生徒と一緒に受けていたので難しすぎました。

授業ごとにクリスマス前にテストが終わる授業と年明けにテストがある授業があるので半期留学の人は帰国のこともあるのでそのことも考えておくといいかもしれません。学習環境はすごく整っています。図書館がいくつもあり **22** 時まで開いているところもあります。後期はもっと勉学に励みます。

### II. 生活状況

私は **Colocation** なのでキッチンもシャワーもトイレも部屋にありました。食器類も揃っていたので買わずに済みました。グルノーブルには様々な寮がありシャワー、トイレが自分の部屋にありキッチンだけ共有の寮やシャワー、トイレ、キッチン全てが共有の寮もあります。初めて部屋に着いたときはとても汚かったので留学生活は掃除から始まりました。これはどこの寮も同じだったみたいです。雑巾一枚持ってきておくといいかもしれません。

通学はトラムを使います。トラムの定期はバスにも利用できるのでトラムでいけない時(デモの時はトラムが動きませんでした。)や場所はバスを利用しました。

食事は基本自炊です。外食は高いのであまり行きませんでした。タコスが安いので自炊する時間がないときはタコスを食べました。自炊についても米をアジアスーパーで買い、鍋で炊いています。電子レンジで炊飯できる物が百均にあるみたいなので持ってくるのもいいかもしれませ

ん（電子レンジは現地で購入してください）。食料品の買い物はとても大きいスーパーで安く買えるのでよく通っています。野菜は月曜日以外毎日行われている市場が街中でやっているのそこで買っています。スーパーでも野菜は買えますが市場だと端数を負けてもらえることがあるのでお得です。それ以外の買い物は街中に行けば揃います。バス 1 時間ほどでリヨンに行けるのでそこで買うのもいいです。私はいくつか必要なものは買わずに日本で使っていたものを送ってもらいました。

洗濯についてですが洗濯機は部屋にはありません。基本、寮の敷地内にランドリーがありますが私の寮にはないので近くの寮まで毎回通っています。ランドリーで乾燥機もありますが毎回利用すると金がかかるので物干しロープとハンガーを買い洗濯物を部屋に干しています。

休日は部屋の中でゴロゴロしたり友達と出かけたり映画を観たりしています。映画は日本より安く映画館によってシネパスがあります。授業がない日にフランス語を聞く練習で映画を見に行くことが多いです。

携帯についてですが **free** というところで **sim** カードを買いました。月に **20?**のプランを利用しています。しかし普段使っているスマホの **sim** ロック解除し忘れていたので新しいスマホを買いそのスマホに **sim** カードを入れ使っています。普段のスマホは **wifi** 無しでは使えないので購入したスマホからテザリングして普段のスマホを外で使っています。

グルノーブルは娯楽が何もないので本当に困ります。暇つぶしができるものを持ってくるといいかもしれません。きっと勉強には向いている街だと思います。

個人的にあったら便利だと思うものは菜箸や持ち運び可能な箸、エコバッグ、洗濯ネットなどです。

留学種別	TESSⅢ
留学先大学	ジャンムランリヨン第3大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### Facult? langue

日仏訳 文学史 日本文化 日本語文法 日本語表現 FLE (フランス語文法) フランス文化  
 少人数制授業は 20~30 人

大人数授業は 50~60 人

月曜日 フランス文化 文学史

火曜日 全休

水曜日 FLE 日本語文法

木曜日 3年仏日訳 日本語表現

金曜日 2年日仏訳 2年仏日訳

教材はすべて大学のポータルから

すべて講義形式

図書館は平日夜 22 時まで空いているし席数も多いので勉強しやすい。

### II. 生活状況

15 m<sup>2</sup>の la r?sidence priv?e に住んでいてバス、トイレ、キッチン (コンロ 2 つ)、冷蔵庫などと生活に必要な最低限のものが備え付けられています。管理人さんも日中はオフィスにいらっしゃるので相談もしやすいです。

私が住んでいる寮は大学まで徒歩 15 分、トラムに乗って 5 分で行けるのでとても便利です。基本的には自炊をされていて寮や大学の近くにもスーパーがありますし、大学の最寄りのトラムから 1 本で La PartDieu という大きなデパートのような商業施設もあり、大抵のものは近場で帰るのでとても便利ですが、日曜日は大体 12 時半~13 時にスーパーは閉まってしまうので、それだけが少し不便かなと思います。

授業後や休日は大学の友達と話したり、授業の予習復習をしたりしています。また、フランスでは映画が日本より安く観られるので映画館に行くことが多いです。

留学種別	TESS II
留学先大学	ジャンムランリヨン第3大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

リヨン第3大学では、FLE (Français Langue étrangère) と ICF (Initiation à la Culture Française) という留学生用授業2つが必修でした。FLEは週1回2時間の授業で、先生から配布された教材を使ってフランス語文法を勉強しました。レベル別でクラス分けされ、私が受けていたB1クラスには20人ほどいました。クラスによって異なりますが、アジア圏の子は少なく、ヨーロッパ圏から来た子が多かったです。ICFは週1回1時間の授業で、フランスの文化や経済について講義形式で学びます。大学のポータルサイトに各単元のレジュメが掲載されるので、そちらを各々コピーして授業を受けていました。そのほかの授業は大学の正規授業を自由に履修できました。こちらは小人数授業 (TD) と大人数授業 (CM) があり、私はTDの日仏翻訳、仏日翻訳を2・3年どちらもと、CMの *japonais histoire culturelle moderne* を履修しました。TDの授業は、日本語を勉強しているフランス人と一緒に受けるので、分からないことがあれば、お互いに教えあっています。CMの授業は日本の文化などについて勉強します。教材はなく、先生が言ったことをノートにメモします。

大学内には大きい図書館があります。自習スペースや数人で作業するスペースも多いですが、大抵埋まっていて、みんな勉強熱心なのだなと思わされます。他にも、*Maison de langue* という自習スペースがあります。そこにはパソコンとフランス語の教材などがあるので、リスニングの練習もできます。

### II. 生活状況

私は、*Les Studios Lumiere* というアパートで生活しています。大学から徒歩3分程なので、朝早い授業の時は助かっています。家賃は、リヨン第3大学から紹介された *residence* の中では少し高めですが、電気代込みで580€です。Wi-Fiも繋がっていて、時々接続が悪いですが、基本は問題ありません。部屋にはキッチン・トイレ・シャワーが各部屋についています。前に住んでいた方々が残していったものもたくさんあったので、私の場合は物を買そろえる必要がなくてよかったです。共同スペースなどはないので、同じ寮の留学生との交流はないです。地下には洗濯機があるので3€で洗濯できます。徒歩20分くらい歩くと大きいショッピングモールもありますし、その中に大型スーパーもあります。野菜は徒歩10分ほどの場所で週2回開かれるマルシェで買っています。リヨンではいろいろな場所でマルシェが開かれています。トラムやメトロ、バスも多く通っていて、380€で1年間リヨ市内の交通機関乗り放題です。週末は、土曜日はデモの影響で、日曜日は大抵のお店は閉まっているので家にいることが多いです。

留学種別	認定
留学先大学	ストラスブール大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

授業内容は主にフランス語の語学の授業とフランスの社会や歴史について学ぶ授業と選択授業の3つに分かれています。選択授業は8講義程の中から自分が受講したいものを2つ選ぶという仕組みでした。私はガストロノミー、英仏翻訳の講義を取りました。フランスの社会についての授業と選択の授業は週に1度でした。

また、クラスが決まっているのは語学の授業だけで、私のクラスは20人弱で国籍もバラバラでした。授業は週に12時間でした。担当する先生によって使う教材が異なるみたいなのですが、私のクラスはeditoというものを使用していました。授業は教科書に沿って文法の解説が行われ、その後教科書や問題集の問題を解くという形でした。また、グループ活動も多く、グループ内で意見を述べたり習った文法を使って文章を考えたりするといったことが行われました。私の語学学校は大学内にあるのですが、語学学校として他の校舎と孤立しているので設備はとても良いと思います。大勢の人が集まれる大講堂も語学学校内にあり、校舎も4階建てで多くの教室があります。しかし、語学学校内に自習室がないためテスト週間などはストラスブール大学の図書館に行くことが多いです。図書館には自習用のスペースが多くあります。また、学生証を持っていれば語学学校の生徒でも本を借りることができるため便利です。

### II. 生活状況

私は寮で生活しています。私の寮はほとんどがフランス人の学生です。私の部屋は一人部屋でシャワーとトイレは部屋の中にあります。部屋は広くはないですが生活するために支障はありません。少し不便だと思うことはシャワーがとても狭いこととシャワーヘッドがついていないことです。また、部屋の中に小さな電子コンロがあるのですが部屋の中で料理を作ることが禁止されているためパスタをゆでたりご飯を炊いたりすることしかできません。しかし、学生が住むための環境は優れていると思います。寮内に自習室、スポーツジム、食堂があり利用することができます。食堂は学生証を持っていれば3.2ユーロで食事できます。また、定期的に寮のイベントもあり他の学生と交流することもできます。

普段私は歩いて通学しています。距離は1キロほどで15分ぐらいです。

食事は家で済ませることが多いです。寮の近くにディスカウントスーパーがあるので食料品は大体そのお店で買います。外食も寮の食堂も行くことは少ないです。日用品や洋服を買う時は学校の近くにあるショッピングモールか街の中心部の大通りに行きます。欲しいものはどちらかに行けばほとんど見つけることができます。

休日は子どもに日本語を教える補習校のボランティアに参加したり、歩いて街を散策しています。たまに、日帰りで近くの地方や村を旅行することもあります。

留学種別	認定
留学先大学	トゥールーズカトリック大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

**Institut Catholique De Toulouse** 大学は学期制ではなく、生徒が学びたい期間を選択することができます。毎月クラスメイトが入れ替わり、2ヶ月ごとに担当して下さる先生がかわります。月曜日から木曜日は8時30分から12時15分、金曜日は9時から12時までです。授業形式は講義式です。教科書はなく、与えられたプリントの問題を解き、先生が解説することが大半ですが、授業に関するゲーム、また自分たちで考えた演劇をして、楽しくフランス語を学ぶことが出来ました。また少人数制のクラスなので授業中に先生に質問することがたやすい環境でした。9月、10月はA2レベルから始まり、最初の講師の方はJulietteでした。10人程度のクラスで、主に過去分詞、半過去、COD/COI、否定形の表現、前置詞、スポーツに関するボキャブラリーを学びました。クラスメイトの国籍は、ポーランド、南アフリカ、ルワンダ、アイルランド、アメリカ、スロバキア、ベトナムそして日本です。また年齢層は18~50歳と幅広かったのですが、クラスメイト全員が優しく、クラス全体が良い雰囲気でした。9月の初めてには新入生歓迎会があり、たくさんの友達が出来ました。9月の終わりにフランス人生徒との合同授業があり、フランスと日本の文化的違いについて話し合いました。彼らの話すフランス語はとても速く全てを理解することは難しかったですが、貴重な体験でした。10月も10人程のクラスで、主に仮定法、**en, il dit que**~, 時間に関する前置詞、フルーツや感情に関するボキャブラリーを学びました。クラスメイトの国は、ポーランド、メキシコ、ルワンダ、アイルランド、アメリカ、スロバキア、日本でした。年齢層は非常に若く10,20代が多かったです。自習をするときには、よく図書館を利用しています。図書館は大きくはないですが、フランス語を学ぶための教材が豊富にあります。宿題で分からない問題があったときは、フランス人の友達に助けてもらっています。10月の終わりには留学生だけのパーティーがあり、お菓子を持ち寄りました。また1週間の休暇があり、友達と旅行に出かけました。11月はクラスが替わり、B1レベルに上がることができ、担当教師はCarineでした。クラスメイトは5,6人で、テーマは仕事、法廷、科学技術を学び、文法では大過去、仮定法、未来形、受け身を学びました。11月は一冊の小説を読むことが宿題として出され、毎日まず理解できない単語を調べ、それから内容理解に入っていたので結構な時間をその宿題に費やしました。クラスメイトの国籍はスロバキア、アメリカ、アイルランド、メキシコ、ドイツ、ニカラグア、ガーナそしてトルコでした。11月の初めには国際交流パーティーが開催され、国ごとにそれぞれの伝統的な食べ物や衣装を持ち寄りました。日本チームはおにぎりとお梅干しと折り紙を持参しました。喜ばしいことに、海苔付きのおにぎりとお梅干しは美味しいと意外にも好評で、折り紙教室は多くの方が来てくださり、日本文化を誇らしく思いました。

### II. 生活状況

私の住む寮はとても広く6つの建物に分かれています。キッチンとシャワー付きの部屋でオートロック式なので安全で、家賃は270?と高くありません。同じ階にNUFSの友人も住んでいるので安心です。

寮から大学までは、バスと地下鉄を使って約20分で着きます。

寮から徒歩10分のところにAuchanという安くて大きなスーパーマーケットがあるので、そのスーパーマーケットを普段から利用しています。フランスは野菜や果物が日本と比べて非常に安いので、毎週日曜日は市場に行くことが多いです。

衣服や雑貨などはセンター街であるCapitoleやJean Jauresで購入をしています。そこは学校からとても近いので、学校帰りのよく買い物をします。

週末はガロンヌ川のそばで友達とピクニックをしたり、日本に関するイベントに参加したり、移動式遊園地に行ったり、最新の映画を見たりしています。

食事は自炊と外食が半分半分くらいです。自炊はバゲットやパスタを食べることが多く、外食ではついついピザやタコスなどといったファストフードを食べてしまいがちなので、来月はフランスの伝統的な料理を食べに行きたいと思っています。

留学種別	TESS II
留学先大学	トゥールーズジャンジョレス大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私は **DEFLE** の授業を受けています。**DEFLE** の授業は主に文法や作文、オーラル、リスニングです。すべて 1 コマ 2 時間の授業なので日本の 90 分授業よりかなり長く感じ、最初は慣れるのが大変でした。また、クラス分けは履修登録期間にパソコンでテストを受け、その結果によって振り分けられます。クラスには交換留学生以外のフランス語を学びたい大人の方々が多く、人数は 1 クラス 25 人程度で構成されています。年齢や国籍は様々で、アメリカやシリア、エチオピア、スペイン、ロシア、韓国、中国など様々な国の人たちと交流できます。また、他の大学から来ている日本人も多いです。授業内容として、文法は日本と変わりませんがオーラルは大変に感じます。授業ごとに異なる会話の題材を与えられ、ランダムで決められたクラスメイトと一緒に決められた時間内に会話文を考え、全員の前で発表します。日本でやったことのない授業に最初は戸惑いを感じましたが、少しずつですが慣れました。先生方はとても親切で作文の添削やわからない質問に対する説明を丁寧に行ってくださいます。また、大学には学部ごとの図書館と大きな図書館があるのでとても快適に自習を行うことができます。大学の建物もどちらかというところ、綺麗だと思います。

### II. 生活状況

私は **CHAPOU** という寮に住んでいます。部屋は小さいですが綺麗で、キッチンやシャワー、トイレもついているので快適に過ごせています。しかし大学からは離れているため、バスとメトロを利用して 40 分ほどかけて通学しています。バス、メトロ、トラムが一緒になった定期券が月 12? と安く、どこへでもラクに行くことができるので助かっています。また、交通機関を利用せずに寮から市街地まで歩いていくこともできます。授業終わりにはよく友達と映画を見に行ったり、ご飯を食べに行ったりします。しかし、外食より自炊するほうが安く済むので基本的には自炊をしています。寮の近くに **Auchan** というスーパーがあり、とても便利です。土日は旅行や買い物、勉強、家事をして過ごしています。毎週日曜日にはバスに乗ってマルシェへ買い物に出かけることが習慣になっています。マルシェには野菜や果物、チーズや魚だけでなくパスタやパン、スパイス、骨董品など様々なお店が並びます。買い食いできるお店も多くあるのでとても楽しく買い物ができます。また、大学にオーキンという日本語学科の団体があるので彼らが企画してくれるイベントに参加するなど、楽しく過ごしています。

留学種別	認定
留学先大学	トゥールーズジャンジョレス大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

主に読解 発音 口語 書き取り

15人 チリ バングラデシュ シリア スペイン デンマーク 韓国 アメリカ イラン  
エジプト カンボジア ガーナ トルコ コロンビア

月曜日 14時～16時 会話表現

火曜日 8時半～9時半 会話表現 9時半～11時半 文法 11時半～12時半 会話表現

水曜日 8時半～9時半 リスニング 9時半～10時半 会話表現 10時半～12時半 フランス  
の歴史

木曜日 8時半～10時半 発音矯正、リスニング 10時半～11時半 作文 11時半～12時半  
文法

金曜日 10時半～11時半 作文 11時半～12時半 文法

毎授業にプリントが配られます。

ゼミ形式

学習環境や自習室はあり、設備もきれいなので学習に適しています。

また交流が盛んであるため、フランス語が上達しやすいです。

### II. 生活状況

宿舎の設備はととてもよく、スタッフも24時間体制なので、セキュリティも万全です。また、  
中心街にあるので、スーパーも近いので便利です。

通学方法は地下鉄で、約15分かかります。

食事は朝、晩はついていて、昼は大学の学食を利用しています。

休日は国際交流ができる場所があるのでそこでフランス語をおしえてもらっています。

留学種別	認定
留学先大学	パリ第4大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私は、文法の授業、発音の授業そして文学講座を受けています。文法の授業は週4回2.5時間ずつで水曜日はお休みです。指定された教科書やプリントを使って授業が進みます。クラスは15人程度で、私の場合日本人が他3人ほど、中国人やベトナム人、アメリカ人やスペイン人など色々います。年齢は私よりみんな5個以上年上だったりしますが、敬語の概念とかあんまりないので普通に喋ってます。日本でのフランス語の授業と形式はあまり変わらず、教科書の文書を読んで問題を解いたり、クラスメイトと意見を出し合ったり、たまに確認テストがあったりしています。発音の授業は隔週で週5回1時間ずつ。日本人、中国人、韓国人のアジア限定?のクラスで15人程度です。教科書はなく、先生が文書を書いてそれをノートにとります。それを前半30分で終えてから、1人1つずつヘッドホンと録音機がある部屋に移動して先生に続いて文書を発音、それを録音して聞いてまた練習する感じです。先生が毎回発音チェックをしに回るのでとても練習になります。文学講座は週1各1.5時間ずつで自分の受けたいコマを選んで事前登録はなく毎回名簿に名前を書いて出席を取ります。私は、**Un autre regarde sur Paris** というパリ市内の色々なことを学ぶ講義と **Mode et soci?t?** というファッションの歴史の講義を取っています。学校内はWi-Fiも快適でパソコン室や自習室も綺麗でいいです。

### II. 生活状況

- ・学校に寮はないので私はホームステイをしています。ほかのクラスメイトはシェアハウスや一人暮らしをしている人が多いです。ホームステイ先は立地が良く人通りも多いところなので治安も悪くありません。部屋やキッチン、お風呂場も綺麗です。洗濯機はとても良い方で困ったらすぐ助けてくれます。

- ・学校までは電車で20分ほどです。

- ・レストランは高いのであまり外食はしません。自炊したりファストフードを食べたりすることが多いです。パリ市内は観光地もたくさんあるし、ショッピングするところも多いので週末は外に出かけることが多いです。

- ・学生ビザを持っていると大体の観光地や美術館は無料で入れることが多いのでとても活用しています。あとは古着屋巡りしたり、公園でのんびりしたり、友達とカフェしたりしてます。

留学種別	認定
留学先大学	ブルゴーニュ大学附属語学学校
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

授業はほとんどがフランス語実用の授業で文法や会話、リスニングをやります。そして週に一コマだけ **civilisation** という科目があり、この授業ではフランスの地形やフランス人のマナー、生徒それぞれの母国の紹介をしたりします。

クラスは 15 人くらいで国籍は私のクラスは日本人が 1 番多く、次に韓国やスペイン語圏の国(メキシコ、コロンビア)が多いです。年齢もバラバラで、60 歳くらいのおじいさんもいれば 18 歳の高校生くらいの年齢の人もいます。最初のテストでレベル分けされますが、合わなければ授業開始から 2 週間以内であれば変更することができます。教科書は基本的には使用せず、先生からプリントが配布されます。

少人数授業なので、自分からガツガツ答えよう話そうと思えばたくさん発言する機会があります。たまに先生から指名されて順番に答えることもありますが、中には協調性がなく 人の解答権を奪う人もいるので (笑)、遠慮せず声に出した方がいいです。

ペアワークをする機会が非常に多いので

クラスの人達とはすぐに打ち解けられると思います。

教室にはショファージュがあるので、

結構暖かいです。

### II. 生活状況

留学生寮なので、色々な国から来ている人に出会えます。トイレとシャワーが部屋についていて、布団や毛布、ゴミ箱、収納棚もあります。キッチン各階に一つずつあり、共同なのでフランス語を話しながら他国の友達を作る良いチャンスだと思います。

通学は寮から駅までの徒歩とトラムで 15 分くらいで遠くはないです。

寮から歩いて行けるところに 2 つスーパーがあり、街を出るとデパートの中にも大きなスーパーがあるので便利です。

パン屋さんも寮からの最寄り駅の目の前にあって、美味しいと評判です。

休日はほとんど旅行に行くか、外国人の友達の家でホームパーティーをしています。課題が多い時は土曜は大学の図書館で勉強しています。図書館はとても広くて 本当に驚きました (笑) 勉強するスペースが多すぎるのに常に人で埋まっています。

留学種別	TESS II
留学先大学	ミッシェルドゥモンテンニュボルドー第3大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

授業は外国人向け語学学習授業で、1期はクラス分けテスト、2期は1期の成績によってクラスが分けられます。主な授業内容は読解、聴解、文法、作文、フランスの文化、地理、2期からは音声の授業と選択授業が追加され、メディアと文学の二つを選択しました。クラスは20人～25人程です。クラスメイトの出身地はアフリカ、アジア、南アメリカと様々です。1期に購入した教科書は文法問題集の1冊でしたが、2期には文法問題集、活用形問題集、活用リストの本を買うように指示が出ました。授業は主に参加型で、プレゼンやグループワークが頻繁にあります。私たちが勉強する建物にはフランス語を勉強する外国人しかいません。

### II. 生活状況

Village3のA棟に住んでいます。学校までは徒歩5分ととても便利ですが、周りにはキャンパスしかないためスーパーや買い物に行くにはトラムで20分前後の移動が必要です。建物には各階に共同キッチン（IHキッチン）があり、そこで毎日自炊をします。寮には定期的に掃除をしてくださる方が来るので清潔です（バカンス時を除く）。個人の部屋は9㎡とかなり狭いです。トイレシャワーは1つになっており、洗面所は別についています。収納やコンセントは十分にあるように感じます。休日は友達と出かけたり勉強をしたりして過ごしています。

留学種別	認定
留学先大学	ミッシェルドゥモンテンニュボルドー第3大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

DEFLE NIVEAU2 / 2

CODE CUTU/INTERCULT  
 COMPREHENSION DES ECRIT  
 PRODUCTION ORAL  
 GRAMMAIRE ORTHOGRAPHE  
 COMPREHENSION ORAL  
 CONN.CULTURELLES OBJECT  
 ECRITURE TEXTES SIMPLES

日本人4・中国人5・コロンビア人3・ブラジル人1・メキシコ人1・ロシア人1・トルコ人2・  
 ガーナ人4・韓国人1・台湾人1。エジプト人1・イラン人1

月曜なし・火曜 11~13/14.5~15.5/16.5~18.5・水曜 15.5~19・木曜なし・金曜 8.5~11.5/13.5~17.5  
 授業は全て講義形式。DEFLE の棟は他の学部とは孤立しており平屋の建物。廊下には机が設け  
 られていて、自主学習できるスペースがある。教室は15個ほど。

### II. 生活状況

シェアハウス形式。以前 nufs に留学していたフランス人と、もう1人のフランス人、計3人  
 で共同。家はアパートで個人個人に部屋があり、家具等も充実している。学校までは路面電車で  
 やく15分。朝ごはんと夜ご飯は最寄りのスーパーで買い物をしたり、レストランに行ってい  
 る。休日はカフェに行ったり、友人と出かけたりなど。

留学種別	認定
留学先大学	リヨンカトリック大学
留学先国・地域名	フランス
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

フランス語、20名ほどのクラスで国籍は様々です。日本人は私が1人で中国人がおおいです。

### II. 生活状況

ホームステイはとても過ごしやすいです。

留学種別	TESS II
留学先大学	ブリュッセル自由大学
留学先国・地域名	ベルギー
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私はブリュッセル自由大学の (**lettre traduction et communication**) 学部に所属しています。取る授業によりますが、フランス語は留学生用の授業を履修していたので、国籍は様々で1クラス約15人程度の少人数クラスでした。留学生用のフランス語の授業はすべてレベル別であるので、学期初めにレベル分けテストを受けて指定されたクラスでの履修となります。また留学生用のフランス語の授業はどれもレベルが高いです。最低で **B1** レベルのフランス語の能力が求められますが、私は **B1** では足りないと思います。 **B2** もしくは **C1** レベルのフランス語能力があると安心だと思えます。

英語は正規授業だったので、ベルギー人と履修していましたが、これも1クラス約15人程度でした。授業形式はすべて講義形式の物を受講していました。

ソルボッシュというキャンパスには大きな図書館があります。10階建てで **Wi-Fi** もあるので快適な環境で勉強が出来ます。

翻訳学部がある **ISTI** では地下に図書館がありますが、小さいです。また地下にあるため電波が届かないことがあるのと、**Wi-Fi** がないため少し不便です。

教室の設備は少し古いですが、勉強できる環境が整っています。

### II. 生活状況

私は大学に近いアパートで生活をしています。キッチン・トイレ・洗面所付きです。また地下には自習室もあって便利です。また、近くにはバス停と地下鉄の駅が2つ、スーパーも2件あるため、とてもアクセスは良いです。ソルボッシュというキャンパスへ行く時はバスで、**ISTI** というキャンパスへ行く時はトラムを使用しています。

学生は、ブリュッセル内の地下鉄とバスの定期 (1年分) を50ユーロで買えます。

食事は自炊をしています。上記でも述べましたが、近くに **Colruyt** と **Delhaize** というスーパーがあるので週に1回買い物をして自炊をしています。

**Colruyt** は他のスーパーに比べて低価格なのでおすすめです。

毎週課題が沢山出るなので、休日は家事や課題をやることが多いです。時々ベルギー国内を観光することもありました。

留学種別	TESS II
留学先大学	リエージュ大学
留学先国・地域名	ベルギー
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

大学で自分が所属している学部:**Philosophy and Literature** が英語で開講している授業と、社会科学系の学部が留学生向けに英語で開講している授業、夕方に開講されているフランス語の語学コースを受けています。

正規の授業はどれも講義形式で行われていますが、授業に、よって **20** 人程度の小さなクラスのものもあれば **100** 人以上の大きなクラスのものもあります。どの授業でも教科書はなくネットにアップされている資料を各自印刷して使用しています。またパワーポイントがどの授業でも用いられていて、先生がネットにアップしてくださるのでいつでも見返せるようになっています。語学コースは学期の初めに行われたテストの結果によってレベルごとに分けられた少人数のクラスで行われています。

### II. 生活状況

宿舎はバス、トイレ、キッチンも全て自室に付いていてアパートのような形です。プライベートが守られていると感じます。建物内には共有のランドリースペースと勉強スペース、テレビやビリヤード台、トレーニング器具などがあるリラックススペースもあります。ネット回線は通っていますが各自のへやには **WiFi** がないので自分でルータを用意する必要がありました。通学は主に徒歩ですが、**Sart-Tilman** というキャンパスで行われる授業へはバスで通っています。食事はほぼ毎食自炊をしています。買い物には徒歩圏内にあるスーパーや週末の市場を利用しています。日曜日にはレストランやカフェ以外のほとんどのお店が閉まってしまいますが、街を流れる川沿いに市場が出て、とくに野菜や果物はスーパーよりも安く買えるのでよく利用しています。

留学種別	認定
留学先大学	北京外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### ・コース内容・時間割

必修科目 口語、閲読作文、漢語 週3回300時間

口語 教科書の文章を読み出てきた単語・文法を使い、与えられたテーマで5分程度発表する。

閲読作文 教科書の文章を読み、単語の意味を細かく理解する、教科書の問題に答える。テーマに沿って作文を書き添削されたものをグループで発表。

漢語 教科書を読み、単語・文法の説明、プリント演習

選択科目 中級漢語視聞話教程、漢語口語習慣用語 週1回100時間

中級漢語視聞話教程 ドラマ《家有儿女》を見て、セリフに出てくる単語・文法の学習、セリフの音読。

漢語口語習慣用語 習慣用語の説明、単語を使って会話を作りペアと発表。

#### ・クラス

クラス18人

日本、韓国、スウェーデン、インド、ハンガリー、スロバキア、ミャンマー、ドイツ、インドネシア、エジプト、フランス、スペイン、ロシア

#### ・使用教科書

口語 北京大学出版社 作者蔡云凌 《准高???口?》

閲読作文 北京大学出版社 作者?立新 《????与写作教程》

漢語 北京大学出版社博雅?? 李琪作者 《中?冲刺篇》

中級漢語視聞話教程 世界??出版公司《 家有儿女 1》

??用? 北京?言大学 沈建? 《??口???用?》

#### ・授業形式

講義形式

#### ・学習環境

図書館は広くパソコンを使う学生のためにコンセントが用意されていたり、会議ルームがあるためプレゼンテーションの話し合いをすることができます。

北京の冬はとても寒いですが、暖房がついているため快適に過ごすことができます。

### II. 生活状況

#### ・宿舎の設備

わたしは国交楼という留学生専用宿舎の中で1番設備が良い寮でトイレ・シャワー完備の1人部屋を借りています。教室からも近く快適に過ごしています。

#### ・食事

普段は学校の食堂を利用しています。1食10元程度です。土日はクラスメイトや中国人と外食をするときもあります。

#### ・休日の過ごし方

勉強だけでなく、クラスメイトや中国人と交流をしています。また、ボランティア活動のために他大学や北京郊外に行くことも月に何回かあります。

留学種別	TESS II
留学先大学	北京外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

必修授業は3種類あります。口語はスピーキング力をつけるための授業なので、発言したりプレゼンをしたりする機会が多いです。会話で使える単語の使い方を主に学びます。

2つ目、漢語は教科書本文を読んで単語や語法を中心に勉強していきます。

3つ目、読み書きの授業は長文読解や作文が中心です。読解の問題は HSK の問題に似ていると思います。

選択授業は、私は今期2つ取りました。私が取ったものは、中国の祝日文化を深く学ぶものや、中国語のイディオムを学んで発表する授業でした。

他にも、文化体験や経済、HSK 対策などの授業もあります。

私の必修クラスは13人でロシア、ポーランド、ウクライナ、フランス、韓国、モンゴル、アメリカ、タジキスタン、トルコの人があります。

1週間に口?、??、?写の必修授業が3コマずつあります(1コマ50分+50分)。

教室の設備はとてもいいと思います。

図書館は静かで暖かいですし、すごく大きいので学習しやすいと思います。ただ、中国人学生はとても真面目なので、普段もそうですがテスト期間は特に席がほとんど無いこともあります。

### II. 生活状況

私が住んでいる国交楼は教室や食堂やスーパーにも近いですし、共同キッチンやトイレも清潔なので設備は良いですし、セキュリティも問題ないと思います。

食事は学食がとても安いので、学食で食べれば1食10元前後で済みます。メニューも数えきれないほど多く、量も多いのでとてもお得です。外食やデリバリーもたくさん種類があつて学食に比べれば高くなりますが、日本と比べると基本的にどれも安いと思います。

学校周辺にもたくさん店があるので全く困りません。

休日はよく友人と出かけたりしますが、北京は広いので北京市内だけでもたくさん観光地やショッピングモールがあつて全然飽きないと思います。地下鉄で5元前後で割と色々な所に行けるのでお金はそんなにかからないです。

留学種別	認定
留学先大学	復旦大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

授業内容：5種類の授業が週合計10コマ（精?4，泛?1，写作1，听力2，口?2）  
学期のはじめにクラス分けテストがあり、A～Jのレベルにあったクラスに振り分けられる。  
クラスは15人ほど、国籍は様々だが、比較的韓国人・日本人が多い。  
それぞれの授業に一冊ずつ教科書があり、中間までに1冊、期末までに1冊のペースで進むため、一学期に合計10冊の教科書を勉強する。  
テストは中間・期末の二回、60点を合格点とする。  
授業形式は講義形式。実践的な内容で、発言する機会がとても多く、自分の意見を述べることも多い。毎日課題あり。  
大学はとてもきれい。暖房・冷房やウォーターサーバーも完備されている。  
図書館や自習室も充実しており、熱心な学生が多いため休日でも本科生でいっぱいになる。

### II. 生活状況

私が住む宿舎は学校内にある宿舎ではないが、学校付属の留学生宿舎である。  
大学からは徒歩10～15分。  
部屋にはシャワー、トイレ、洗面台、クローゼット、ベッド、机が設備されている。  
24時間監視カメラが作動していて、事務所に監視員さんがいる。  
また夜になると玄関の扉が閉められるのでカードキーがないと寮に入れないようになる。安全面は問題ないと思う。  
食事は学食や出前やパンなど外食がほとんど。  
休日は友達と出かけたり、勉強したり。

留学種別	TESS II
留学先大学	大連外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

#### I 勉学状況

##### コース内容（授業内容）

精読（精?）、閲読（??）、リスニングと会話（听和?）の三つの授業がありました。精読は、まず単語の使い方を例文を用いて説明され、その課で使われる文法の説明をしたあとに本文を音読していました。一つの課が終わるごとに毎回単語の小テストをしていました。小テストは先生が習った単語をそのまま言ったり、単語を使った文章を言ってくれるので、先生が言ったことを書くという小テストでした。閲読は、本文を読み本文についての問題を解くということを繰り返す授業でした。授業の初めに毎回問題を解くときのポイントが説明されました。リスニングと会話は、会話文などを聞き、それについての問題が教科書に載っていたり、先生が作ってくれていたりとするので、その問題に答える授業です。たまにその課で使われている単語だったり文法だったりを使って4人ぐらいのグループになってみんなの前でちょっとした劇をしたり、グループ内でその課の内容について話し合ったりなどもしていました。グループは2週間ごとに変わっていました。

##### クラスの数、国籍

19人のクラスで、日本・韓国・ロシア・エチオピア・アルメニア・イタリア人の子たちがいました。

##### 一週間の時間割

毎日90分の授業が2コマあり、月曜は、閲読・リスニングと会話、火曜は、精読・精読、水曜も精読・精読、木曜は、閲読・リスニングと会話、金曜は、精読・リスニングと会話でした。

##### 授業形式

講義形式です。

### II. 生活状況

#### II 生活状況

##### 宿舎の設備、環境

6人部屋で、2人部屋が3つ、トイレとシャワー室が2つ、リビング、キッチンがありました。私の部屋は、毎週土日に交代で部屋の掃除をしたり、シャワーを浴びる時間のタイムスケジュールを作ったりしていました。洗濯機は部屋にはないので、手洗いしたり、寮の向かいの建物の地下に洗濯機があるのでそこを利用していました。冷蔵庫はある部屋とない部屋があります。

##### 通学方法

徒歩10分ぐらいで教室につきます。

##### 食事や買い物

学校内に食堂やご飯のお店がたくさんあるのと、学校のそばにも食事ができるところがたくさんあります。ほぼ毎日外食です。買い物は、学校内にスーパーがいくつかあったり文具や日用品など売っているお店があります。だいたいのは学校内で揃います。

##### 休日の過ごし方

学校のバスに乗って市内に行ったり（約一時間半）、カフェで友達と勉強したり喋ったり、散歩したりしていました。

留学種別	TESS II
留学先大学	天津外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

国際交流学院留学生コース履修登録は特になく、教科書を買って自分に合うクラスで授業を受け続けると確定する。準高級 30 人ほど主にヨーロッパ、中東、週 8 コマ 800 分 講義形式 北京大学刊行発展中国語

### II. 生活状況

二人部屋シャワートイレ完備 徒歩通学五分ほど、学食もしくは自炊 部屋で勉強もしくは散歩など

留学種別	TESS II
留学先大学	天津外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

- ・コース内容：コースは初級1・2・3、中級1・2・3、準高級、高級1・2と細かくレベル分けがされています。科目は、閲読、精読、リスニング、会話の4つあります。
- ・クラス人数：コースによってばらつきますが、私の履修していたコースは50人ほどおり、南アジアの国々の方が多く、日本人は少ないです。
- ・一週間の授業時間割：金・土・日は休みで、基本的に授業は午前中にあります。
- ・使用教科書：閲読、精読、リスニング、会話それぞれ一冊ずつです。
- ・授業形式：基本的には、先生の講義を聞き、質問があればそれに先生が答えるというような形式です。
- ・大学の学習環境、自習室、教室の設備：空き教室があれば、そこで自習を行うことができます。また、図書館もあるため調べ物があれば自由に利用することが可能です。

### II. 生活状況

- ・宿舎の設備、環境：基本的には二人部屋です。部屋には、トイレ・バスルーム・洗面台・クローゼット・テレビが付いています。共同の洗濯機・キッチン・冷蔵庫もあります。
- ・通学方法・宿舎は大学の敷地内にあるため、教室棟まで歩いて5分ほどです。
- ・食事や買い物・時々自炊もしますが、基本的には外食です。また、食堂も利用することがあります。
- ・休日の過ごし方：中国人の友達と食事をしたり、買い物へ行きます。また、部屋で授業の予習復習をすることもあります。

留学種別	認定
留学先大学	天津外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

- ・授業内容：精?, 泛?, 口?, 听力, 写作
- ・25人ほど、アメリカ・エクアドル・ロシア・ブルガリア・タイ・ドイツ・イギリス・デンマーク
- ・毎日45分授業が4コマ、精?8コマ・泛?2コマ・口?4コマ・听力4コマ・写作2コマ
- ・使用教科書：拾??? 北京?言大学出版社(5教科1冊ずつ)
- ・授業形式：口?はプレゼンテーションが4回ほど、他の授業は講義形式。
- ・大学の学習環境：図書館、カフェ、空き教室、自習スペースがある。

### II. 生活状況

- ・個人の部屋が4つあり、共有スペースが1つある。
- ユニットバスは2つあり、2人で1つ使用する。ベランダがあり、洗濯機、電子レンジ等もある。
- ・通学方法：自転車または徒歩。
- ・大学付近の飲食店、校内の食堂またはデリバリー
- ・テレビ鑑賞、旅行、勉強。

留学種別	TESS II
留学先大学	西安外国語大学
留学先国・地域名	中国
留学期間	2018 年度 2 期 から 1 年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

授業内容：精読、口語、リスニング クラス人数：20名ほど。韓国、タイ、カザフスタン、イタリアなど。一週間の授業時間割：精読5コマ、口語3コマ、リスニング2コマ その他：授業の進行が全て中国語なので学習しやすい。

クラス分けの方法はテストによって決まりましたが、テストの成績はあくまでも目安なので自分のレベルに合わせてクラスを選ぶことができます。クラス選択の期間は1週間あるのでその間は自由に移動して授業の様子を知ることができます。

定期テストは中間テストと期末テストの2つがあり、中間テストはそれまでに習った範囲、期末テストは学期全体の範囲が出題されます。

### II. 生活状況

宿舎の設備、環境：停電や断水が頻繁に起こる。通学方法：徒歩 食事や買い物：食事、買い物は学校の近くに一通り揃っている。休日の過ごし方：予習、復習  
宿舎の間取りは2人1部屋でトイレとシャワーが付いています。勉強机や冷蔵庫などの備品は部屋によって付いている部屋と付いていない部屋があります。宿舎の門限は特にありません。周辺にはご飯屋や雑貨屋、日用品が売っているお店など基本的にはなんでも揃っています。服や靴、鞆などは地下鉄で1駅の場所に買いに行っていました。

留学種別	認定
留学先大学	銘伝大学
留学先国・地域名	台湾
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

観光学科に所属していましたが、交換留学生は学年、学科関係なく授業を受けることができます。しかし、英語で開講している学科は限られています。クラス構成はインターナショナルクラスだと20人程度ですが、一般のコースだと50人程度のクラスもあれば、10人ほどの少人数もあります。時間割は自分で決めるので、沢山とるか少なく取るかは自分で決めたいと思います。私は1期に17単位履修していました。教科書は基本高く、学校の近くにコピー屋さんがあるのでそこで、一冊分コピーしてもらって安くて済みます。学校環境はWiFiが完備しており、自習は図書館がおすすめです。

### II. 生活状況

宿舎は3人部屋でお風呂、トイレ付きの部屋に住んでいました。ルームメイトは名古屋外大の先輩日本人の方と住んでいました。私が決めたわけではなく、来ると国によって少し分けられていたような気がします。大体の人はルームメイトと動き回っていたように感じます。仲良くなります。通学方法は徒歩で10分ほどですが、学校が広いため早めに行くことをお勧めします。一食だいたい80元(300円以下)と安く美味しいです。寮や学校の周りには小吃店が沢山あるので色々試してみてください。休日は友人とバイクに乗って出かけることが多いです。またバスに20分ほど乗って桃園駅に行き台北に行くこともあります。台北にはバスか電車どちらでも行けます。

留学種別	TESS II
留学先大学	銘伝大学
留学先国・地域名	台湾
留学期間	2018 年度 2 期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

授業はすべての学科から選ぶことができます。華教系の授業は台湾人の生徒と一緒に受けます。人数は 50~20 人くらいで、授業によって変わります。留学生向けの中級華語は日本人、韓国人、ベトナム人がいました。留学生はアジア系の子が多くて、欧米系の子はあまり見かけなかったです。華教系から言語学・現代文学・英語リーディング、応用英文系から英語リスニング、応用日文系から日本語翻訳、留学生向けの中級華語・MSCC の授業を受けました。金曜日は取りたい授業がなかったのが全休になりました。授業はリーディング、現代文学、中級華語でプレゼンがありました。自習室にはパソコンがあり、自由に使えて便利です。図書室にもパソコンがあります。図書室は基本静かにしていなければいけません、普通の声で話せる部屋があり、そこでグループの課題や分からないところを教えてもらったりできます。学校生活で特に不満に感じることはなかったです。

### II. 生活状況

学校から寮まで徒歩 15 分くらいです。三人一部屋です。部屋に Wi-Fi はありません。寮にキッチンはありませんが、水、熱湯があります。近くに朝食屋や、火鍋屋、日本食などいろいろあります。小さいスーパー近くにあり、大きめのスーパーだと少し遠いけど歩ける距離にあります。洗濯機が屋上にあり、一回 30 台湾ドルで使えます。乾燥機は 10 分 10 台湾ドルです。布団は自分で買う必要があります。最初の Survival Tour に参加すると、スーパーに連れてってもらえたり、布団の購入を手伝ってくれて、とても助かりました。休日は映画を見に行ったり、旅行に行ったりしました。あと日本で習字をずっと習っていたので、台湾でもやりたくて自分で探して習字教室に通いました。日本にいた頃は休日をアルバイトに費やしていたので、留学して自由な時間が増えたことがとても嬉しかったです。

留学種別	TESS II
留学先大学	銘伝大学
留学先国・地域名	台湾
留学期間	2018年度2期 から 1年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

私は国際外交学科に所属しています。国際外交学科の授業の他に応用英語学科の授業を取っていて、一週間に**6**つの英語の教科と、**2**つの中国語の教科があります。英語の教科は、ライティング、リーディング、ボキャブラリー、職場英語が英語の能力を上げるもので、国際貿易、心理学は新しい知識を頭に入れていく授業です。中国語の授業では、応用的な単語と、プレゼン、作文などが主な内容です。英語の全ての教科と中国語の教科のうち一つは学部授業です。クラスの人数は多いクラスで**70**人くらい、少ないクラスだと**10**人くらいで、台湾人、韓国人、フィリピン人、ベトナム人、タイ人、香港人、中国人などアジアの国籍の人がほとんどです。教科書は二つの英語の授業で、**UNLOCK**と**Longman Academic**を使いました。授業形式はほとんどの授業が講義形式ですが、後半にディスカッションをしてクラスの仲間と意見を交換し合うものもありました。大学には大きな図書室と授業時間関係なく使えるパソコン室が二部屋あります。図書室は平日は朝から**22時00分**まで空いていて、トークルームもあるので、グループでのプレゼンテーションの準備にも使うことができます。

### II. 生活状況

私の住んでいる寮は学校から徒歩**10分**のところにあります。後ろには森があります。寮は比較的新しくてとてもきれいです。一階には管理人さんが**1人から3人**大体います。門限は**23時**で、**23時**以降は中から外には出られません。一部屋**3人**です。洗濯機と乾燥機は屋上にあり、また、同じスペースに屋根付きの洗濯物を干すスペースがあります。学校が田舎にあるので、店などはあまり多くありませんが、**5分**くらいのところにコンビニが二軒あり、スーパーも徒歩**20分**以内のところ**3軒**あるので便利です。寮にキッチンが無いので食事は朝食、昼食、夕食、すべて買ってきて食べています。休日はバスで**30分**かけて駅へ行ったり、そこから電車に乗り、台北へ行ったり、夜にはいろいろな夜市へ行ったりして遊びます。また、休日にも図書室が**17時**まで開いているので、勉強しに行くときもあります。

留学種別	認定
留学先大学	釜山外国語大学校
留学先国・地域名	韓国
留学期間	2018年度2期 から 半年

## 留学中間報告書

### I. 勉学状況

授業は日本語学部の授業3科目と英語学部の科目2科目を取り、そして韓国語と日本語で会話をするタンデムという授業を取りました。各授業週に2回あり、それぞれ2時間分、1時間分と合計3時間分の授業を受けています。授業時間は50分なので日本の大学の授業時間よりかは少ないです。しかし、授業間の休憩が10分で昼休憩の時間がないので、授業を詰めてしまうとお腹を空かせたまま授業を受けることになってしまうので、大変です。私も実際に火曜日の授業がお昼をまたいだ形式の授業で2時間続く授業を3科目入れてしまったので、大変な思いをしながら授業を受けています。

クラス人数は多くて40人近くいて平均的に20人ぐらいで授業を受けています。クラスにいる人はほとんどの授業では韓国人が多いです。教科書は指定されている授業は教科書を買って使用していますが、教科書がない授業はeclassというMoodleみたいな所から資料を印刷して資料を見ながら授業をしています。日本語学部の授業は韓国語で日本語や日本のことについて特化した授業を受けています。英語学部の授業は1つがクラスが初級、中級、上級とあり、その中で私は初級を取りました。初級なので、教科書に記載されている内容は基礎基本的な内容が多いです。また教科書に記載されている英語の文法がイギリス英語の文法なので、少しアメリカ英語と混ざってしまうことがあります。2つ目の英語の授業は、英語で様々な観光やデジタルに特化した授業を受けています。

授業は、主に講義形式でグループワークをしたり教授から質問されたら答えていくというようになっています。

授業がなく、空きコマの時はカフェや図書館へ行き、授業の復習をしたり、次の授業の予習をしたりしています。図書館は静かで勉強がしやすい環境です。中間試験や期末試験の週間になると、自習室は席が埋まっていて、学生は静かを勉強をしています。

### II. 生活状況

私は大学内の寮で生活をしています。寮内は1階から10階まであり、その中で私は3階の2人部屋でルームメイトと共に生活をしています。地下1階には食堂とコンビニ、そしてジムと洗濯室があるので、ご飯だったり、必要なものがあったりするといつも地下1階まで行って買っています。部屋の中は勉強机と椅子、ベッド、クローゼット、そしてトイレ付きのシャワー室が備え付いています。シャワーを浴びる際に便座やトイレットペーパーに水が飛ばないようにしないといけないので、少し不便だなと思いながら工夫して浴びています。また、部屋に入るのにルームカードキーが必要で、もしそのカードを抜かずに部屋から出てしまうと、エレベーターにも乗れず、さらには部屋の中にも入ることが出来なくなるので、ルームカードキーは常を持っていないといけないので大変です。さらに、冷蔵庫も部屋の中ないので、ペットボトルの飲み物を買っても常温で置くことになってしまいます。

寮には規則があって、いくつかある規則を破ると罰点がつきます。最悪の場合は強制退所になってしまうので、規則を守りながら生活をしなければいけません。

寮から授業が行われる教室のある棟までは5分あれば着くので、いつも歩いて行っています。教室のある棟まではエスカレーターがあるので、それを使用しながら登校しています。しかし、近いからという理由で寝坊をしてしまうことがあるので、起きる時間にいつも気を付けています。

食事は地下1階の食堂でご飯を食べたり、コンビニのご飯を食べたり、ペダルといって配達を

してもらった方式のご飯を食べたりしています。また、友達と授業終わりにバスに乗って違う場所まで行って夜ご飯を食べることもあります。

休日は友達と予定があればバスに乗り、電車に乗って色々な観光地に行きます。その他はコンビニでは買うことが出来ないような日用品を買う場合はバスに乗って大型スーパーまで買いに行ったり、洗濯をしたり、課題をしたりしながら過ごしています。部屋にwifiがあるので、インターネットをしたり、動画を見たりしながら課題したり、身の回りの整頓をすることもよくあります。